

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7 款 商 工 費	2,546,605,466	82,330,000	0	1,358,925,040	1,105,350,426
1 項 商 工 費	2,546,605,466	82,330,000	0	1,358,925,040	1,105,350,426
2 目 中 小 企 業 振 興 費 <中小企業の経営基盤の強化と人材育成>	183,604,535	0	0	375,600	183,228,935

1 中小企業振興対策事業費 179,844,660 円 (産業政策課・商工業振興課)

[総括]

ものづくり・夢づくり支援事業においては、制度周知に努め、知的財産権取得事業費補助金では新たに意匠権を助成対象とするなど、競争力や販売力の強化に資する支援を行った。また、企業BCP（事業継続計画）の策定を促すためのセミナーや策定経費の助成など、普及・啓発のための支援を行った。今後も地域のニーズや戦略を踏まえた新たな制度の構築・検討を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 中小企業振興助成金 165,695,490 円

助 成 金	平成 2 7 年度		平成 2 8 年度	
		185件	151,439,560円	212件

(2) ものづくり・夢づくり支援事業費 13,046,000 円

(ア) 知的財産権取得事業費補助金 1,772,000 円

補 助 金	平成 2 7 年度		平成 2 8 年度	
		9件	1,077,000円	16件

(イ) 産学共同研究等支援事業費補助金 1,216,000 円

補 助 金	平成 2 7 年度		平成 2 8 年度	
		3件	1,187,000円	3件

(ウ) 販路開拓支援事業費補助金 8,133,000 円

補 助 金	平成 2 7 年度		平成 2 8 年度	
		59件	9,478,000円	50件

(エ) 創業者支援事業費補助金 1,925,000 円

補 助 金	平成 2 7 年度		平成 2 8 年度	
		6件	1,553,000円	7件

(オ) 起業支援事業費補助金 0 円

補 助 金	平成 2 7 年度		平成 2 8 年度	
		3件	868,000円	0件

(3) 企業BCP策定支援事業費 300,000 円

(ア) 企業BCP（事業継続計画）セミナーの開催 90,000 円

セ ミ ナ ー 受 講 者 数	平成 2 7 年度		平成 2 8 年度	
		延 156人		延 150人

(イ) 企業BCP策定支援事業費補助金 210,000円

補助金	平成27年度		平成28年度	
	2件	53,000円	7件	210,000円

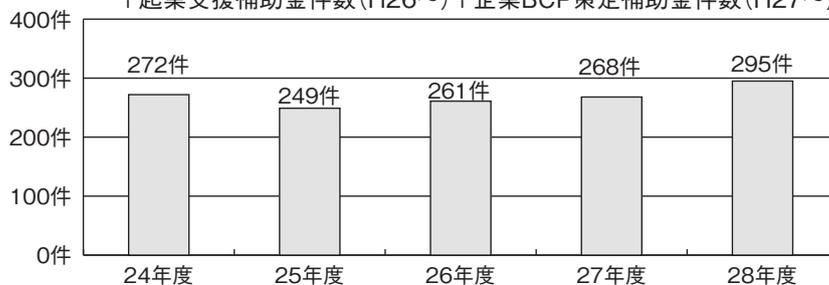
(4) とよはし製品活用支援事業費 803,170円

内容	平成27年度		平成28年度	
	刺子グッズの商品化、販売 高校生技術アイデア賞受賞作品「缶たんつぶし機」の製品化、市内小学校への導入		刺子グッズの販売 織布グッズの商品化、販売	

[指標]

指標名：中小企業振興助成金等交付件数

指標説明：振興助成金件数+国際規格等取得補助金件数(H24~27)+知的財産権取得補助金件数+産学共同研究補助金件数+販路開拓補助金件数+創業者支援補助金件数+起業支援補助金件数(H26~)+企業BCP策定補助金件数(H27~)



2 人材育成事業費 3,759,875円 (商工業振興課)

[総括]

「とよはしの匠」顕彰事業においては、優れた技能者を顕彰し、「東三河職業訓練展」などへの作品出展や、小・中学生を対象とした体験講座「匠の技術を学ぼう」を開催した。また、「高校生技術アイデア賞」事業では、高校生の優れた作品・アイデアを表彰した。今後も次世代の技能人材の育成のため、地域の優れた技能者の活用を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 「とよはしの匠」顕彰事業費 1,329,629円

被顕彰者数	平成27年度		平成28年度	
	4名		3名	

(2) 「高校生技術アイデア賞」事業費 673,052円

応募件数	平成27年度		平成28年度	
	作品部門	15件	作品部門	16件
	アイデア部門	446	アイデア部門	431

(3) 地域技能者活用事業費 557,194円

参加者数	平成27年度		平成28年度	
	16名		26名	

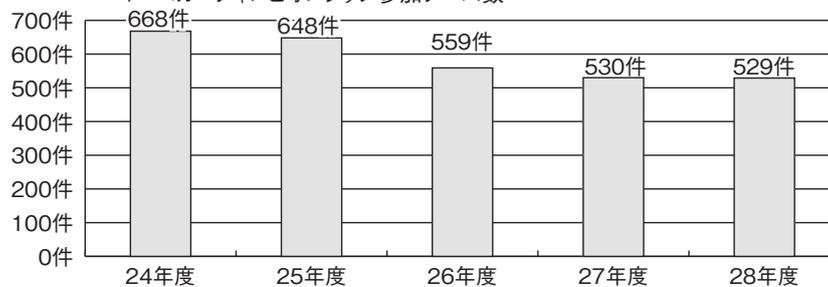
(4) エコカーチャンピオンシップ事業費補助金 1,200,000円

補 助 金	平成27年度		平成28年度	
	49チーム	1,200,000円	53チーム	1,200,000円

[指 標]

指 標 名：人材育成事業参加件数

指標説明：「とよはしの匠」応募者数+「高校生技術アイデア賞」応募件数+地域技能者活用事業参加者数  
+エコカーチャンピオンシップ参加チーム数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3 目 産 業 創 出 費 ＜製品開発力や技術力等の向上と新規産業の創出＞	191,966,960	63,980,000	0	1,519,440	126,467,520

1 サイエンス・クリエイト21計画推進事業費 191,966,960円 (産業政策課・商工業振興課)

[総括]

中小企業技術者研修事業では、新たに「ロボット開発・活用基礎講座」を開催するなど講座内容を見直し、中小企業の資質の向上に寄与した。また、新たな産業創出に向けた研究開発等に対する助成のほか、デジタル工作機械やドローン等による新しいものづくり技術の普及・人材育成を目的とした「メイカーズ・ラボとよはし」の運営に対する助成や、オープンデータを活用したビジネス創出を目的としたプラットフォームの構築を行った。さらに、ものづくり技術の育成・創出を目的とした「ものづくり博2016 in 東三河」の開催に対する助成や、地域経済の構造及び雇用の実態を把握するため「地域経済雇用実態調査」として事業所アンケートを実施した。今後も地域産業育成に向け、産業人材のキャリアアップ支援などニーズに沿った事業を検討・推進していく。

[実績及び成果]

(1) 中小企業技術者研修事業費 38,981,520円

区 分	平成27年度	平成28年度
内 容	溶接技術基礎実習講座、フリーの3Dデータ作成ソフトで学ぶ3Dプリンター基礎講座、地域産業を海外展開するための輸出手法基礎実習講座 始め21講座	溶接技術基礎実習講座、ロボット開発・活用基礎講座、フリーソフトInkscapeで学ぶレーザーカッター使い方講座 始め19講座
受 講 者 数	延 177人	延 162人

(2) イノベーション創出等支援事業補助金 35,600,000円

補 助 金	平成27年度	平成28年度
	32,662,764円	35,600,000円

(3) メイカーズ・ラボ交流促進事業補助金 13,350,000円

補 助 金	平成27年度	平成28年度
	14,452,815円	13,350,000円

(4) 次世代ものづくり研究開発促進事業補助金 8,740,000円

補 助 金	平成27年度	平成28年度
	19,590,000円	8,740,000円

(5) 新規ビジネス創造支援事業補助金 460,000円

補 助 金	平成27年度	平成28年度
	398,900円	460,000円

(6) 社会人キャリアアップ支援事業補助金 3,000,000円

補 助 金	平成27年度	平成28年度
	1,781,000円	3,000,000円

(7) 地域産業支援機能強化補助金 20,836,000円

補 助 金	平成27年度	平成28年度
	21,181,000円	20,836,000円

(8) 「ものづくり博 2016 in 東三河」開催費補助金 2,000,000 円

補 助 金	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度
	—	2,000,000円

(9) 地域経済雇用実態調査事業費 10,000,000 円

区 分	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度
内 容	—	事業所アンケートの実施

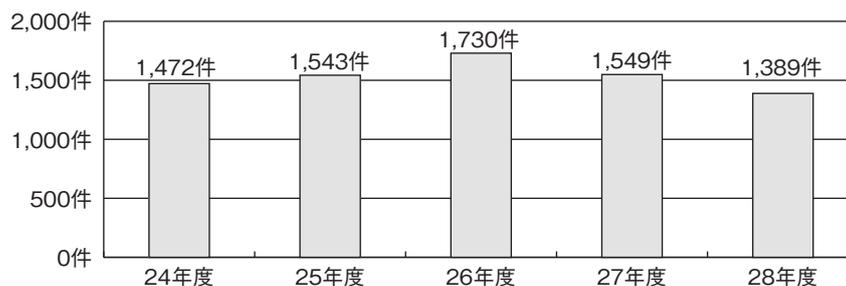
(10) オープンデータビジネス創出事業費 58,999,440 円

区 分	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度
内 容	—	データポータルサイト、公共交通運行情報システムの構築、デジタルサイネージの設置、ワークショップの開催等

[指 標]

指 標 名：豊橋サイエンスコア利用件数

指標説明：技術相談件数＋貸室利用件数＋中小企業技術者研修受講者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 企業誘致費 〈円滑な企業活動の促進と企業誘致の推進〉	195,385,457	18,050,000	0	0	177,335,457

1 企業誘致推進事業費 195,385,457円 (産業政策課)

[総括]

関西、関東及び近隣市の優良企業に対し誘致活動を行うとともに、市内の立地企業との情報交換会を開催するなど市内企業のニーズにも対応している。広域的な産業集積を活かした企業誘致を展開するため、東三河5市が連携して戦略的に企業誘致に取り組んでいる。こうした取り組みにより、新たに3区画の事業所用地の分譲に成功し、優良企業を誘致することが出来た。また、内陸用地への進出要望の高まりへの対応として、国道23号名豊道路沿線の内陸部に新たな産業用地を確保する必要がある。

[実績及び成果]

(1) 企業誘致活動事業費 11,825,457円

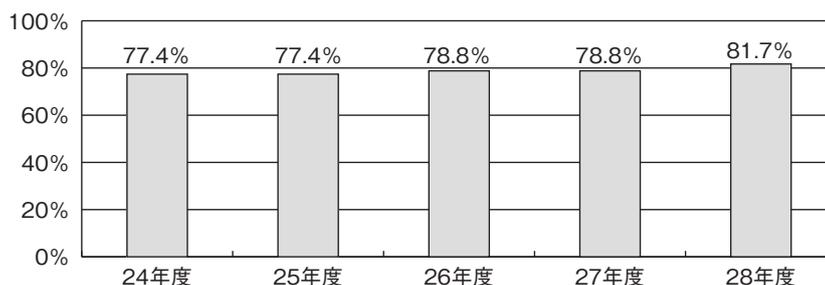
内 容		平成27年度		平成28年度	
企業誘致説明会	開催日	28.2.21(28.3.25)		28.12.21	
	場 所	大阪市(豊橋市)		大阪市	
	出席企業数	24社		25社	
立地企業情報交換会	開催日	27.8.27	28.2.4	28.8.22	29.3.10
	場 所	リサーチパーク	石巻地区	明海地区	神野地区・御津2区
	出席企業数	12社	11社	16社	10社
東三河5市企業誘致推進連絡会議	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メッセナゴヤ出展 27.11.4~7</li> <li>・ポートメッセ名古屋</li> <li>・企業連携懇談会(東京都) 28.2.22</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・メッセナゴヤ出展 28.10.26~29</li> <li>・ポートメッセ名古屋</li> <li>・企業連携懇談会(東京都) 29.1.25</li> </ul>	
展示会への出展	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際ロボット展 27.12.2~5</li> <li>東京ビッグサイト</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・IoT Japan 2016 28.10.19~21</li> <li>東京ビッグサイト</li> </ul>	

(2) 企業立地促進奨励金 183,560,000円

奨 励 金	平成27年度		平成28年度	
		35件	304,042,000円	33件

[指標]

指標名：事業所用地分譲率  
指標説明：市内5か所の事業所用地全体の分譲率(面積)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 商業振興費 ＜魅力ある商業集積の形成＞	16,325,290	0	0	0	16,325,290

1 商業振興対策事業費 16,325,290円 (商工業振興課)

[総括]

魅力ある商業地形成のため、商店街等が維持管理を行う街路灯等の電灯料や既設街路灯の省エネ化に対して助成したほか、商業団体が実施する各種イベントや外国人観光客を取り込むための環境整備、市内大学の学生が中心となって店舗を運営するサマーカレッジチャレンジショップに対する支援などを行った。今後も各種事業を実施することにより、商業等の活性化を促進していく。

[実績及び成果]

(1) 商業団体街路灯等電灯料補助金 2,768,290円

補 助 金	平成27年度		平成28年度	
		23団体	3,729,110円	24団体

(2) 商業団体共同事業補助金 1,257,000円

補 助 金	平成27年度		平成28年度	
		7団体	1,811,000円	5団体

(3) 商学連携促進事業補助金 163,000円

補 助 金	平成27年度		平成28年度	
		1団体	100,000円	1団体

(4) 商店街環境向上事業補助金 11,817,000円

補 助 金	平成27年度		平成28年度	
		10団体	7,953,000円	13団体

(5) 空き店舗活用事業補助金 320,000円

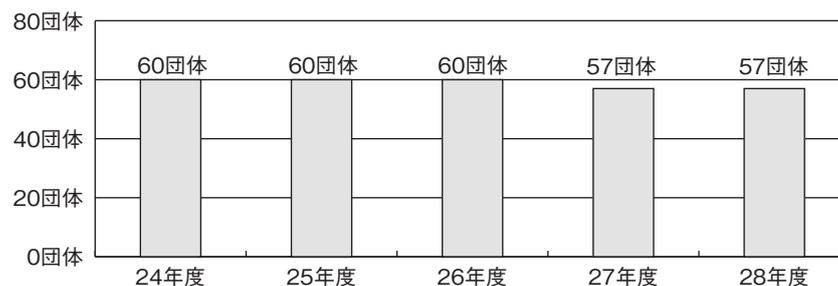
補 助 金	平成27年度		平成28年度	
		1団体	320,000円	1団体

(6) がんばる個店応援事業補助金 0円

補 助 金	平成27年度		平成28年度	
		—		0件

[指 標]

指 標 名：商店街、発展会等数  
 指標説明：法組織(商店街振興組合、商店街事業協同組合)数+任意組織(発展会等)数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 中小企業支援費 <意欲ある事業者への支援>	1,438,430,287	0	0	1,357,000,000	81,430,287

1 中小企業関係振興事業費 5,145,459円 (商工業振興課)

[総括]

豊橋筆振興協同組合が創立40周年を記念して行った伝統的工芸品豊橋筆フェアに対して助成した。また、中小企業関係団体に対する助成などを行った。今後も各種事業を実施することにより、中小企業の振興を促進していく。

[実績及び成果]

(1) 伝統的工芸品産業育成補助金 400,000円

補 助 金	平成27年度	平成28年度
		351,000円

(2) 商工業従業員永年勤続褒賞事業費 114,459円

被 褒 賞 者 数	平成27年度	平成28年度
		95名

(3) 中小企業近代化奨励金 417,000円

奨 励 金	平成27年度	平成28年度
	3件 2,046,000円	1件 417,000円

(4) 中小企業関係団体等補助金 3,214,000円

(ア) 豊橋地区中小企業団体連絡協議会補助金 81,000円

補 助 金	平成27年度	平成28年度
		110,000円

(イ) 経営改善普及事業補助金 3,000,000円

補 助 金	平成27年度	平成28年度
		3,000,000円

(ウ) 豊橋発展会連盟補助金 133,000円

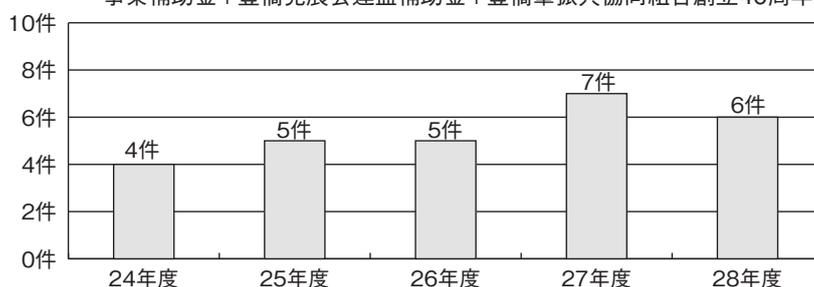
補 助 金	平成27年度	平成28年度
		146,000円

(5) 豊橋筆振興協同組合創立40周年記念事業補助金 1,000,000円

補 助 金	平成27年度	平成28年度
		—

[指 標]

指 標 名：伝統的工芸品産業育成補助金等交付件数  
 指標説明：伝統的工芸品産業育成補助金+近代化奨励金件数+中小企業団体連絡協議会補助金+経営改善普及事業補助金+豊橋発展会連盟補助金+豊橋筆振興協同組合創立40周年記念事業補助金(H28)



2 制度融資関係補助事業費 66,105,000 円（商工業振興課）

[総 括]

中小事業者が愛知県信用保証協会の信用保証を得て融資を受けた場合にその信用保証料相当額を助成するなど、中小事業者の借入負担を軽減し経営の安定化を図る支援を行った。今後も補助制度の利用を促進していく。

[実績及び成果]

(1) 制度融資信用保証料補助金 64,125,300 円

補 助 金	平成 2 7 年度		平成 2 8 年度	
		850件	88,275,454円	638件

(2) 不況業種支援対策特別補給補助金 696,800 円

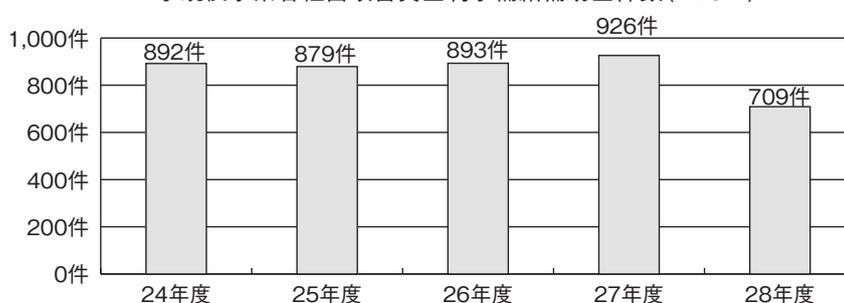
補 助 金	平成 2 7 年度		平成 2 8 年度	
		12件	752,800円	9件

(3) 小規模事業者経営改善資金利子補給補助金 1,282,900 円

補 助 金	平成 2 7 年度		平成 2 8 年度	
		64件	1,393,400円	62件

[指 標]

指 標 名：制度融資関係補助金交付件数  
 指標説明：制度融資信用保証料補助金件数+不況業種支援対策特別補給補助金件数+小規模事業者経営改善資金利子補給補助金件数(H25～)



## 3 制度融資事業費

1,360,419,000 円（商工業振興課）

〔総括〕

中小事業者に対する金融機関の融資の停滞を防ぎ、中小事業者が経営基盤を安定・強化できるように、小口事業資金融資や経営安定資金融資などの原資として預託を行った。今後も融資制度の利用を促進していく。

〔実績及び成果〕

〔預託金合計〕

区 分		平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	比 較
預 託 額		1,402,000,000円	1,357,000,000円	△ 3.2%
融 資 枠		5,592,000,000円	5,457,000,000円	—
融 資 実 績	件数	1,058件	754件	△28.7
	金額	4,640,785,000円	3,012,573,000円	△35.1
融 資 実 績 率		83.0%	55.2%	△27.8ポイント

## (1) 小口事業資金預託金 835,000,000 円

区 分		平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか15金融機関	豊橋信用金庫ほか15金融機関	—
預 託 額		907,000,000円	835,000,000円	△ 7.9%
融 資 枠		2,721,000,000円	2,505,000,000円	—
融 資 実 績	件数	287件	191件	△33.4
	金額	2,122,290,000円	1,377,300,000円	△35.1
融 資 実 績 率		78.0%	55.0%	△23.0ポイント

## (2) 経営安定資金預託金 47,000,000 円

区 分		平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	比 較
預 託 先		岡崎信用金庫ほか15金融機関	岡崎信用金庫ほか15金融機関	—
預 託 額		16,000,000円	47,000,000円	2.9倍
融 資 枠		48,000,000円	141,000,000円	—
融 資 実 績	件数	12件	7件	△41.7%
	金額	105,100,000円	61,500,000円	△41.5
融 資 実 績 率		219.0%	43.6%	△175.4ポイント

## (3) 小規模企業等振興資金預託金 330,000,000 円

区 分		平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか16金融機関	豊橋信用金庫ほか16金融機関	—
預 託 額		330,000,000円	330,000,000円	0.0%
融 資 枠		2,376,000,000円	2,376,000,000円	—
融 資 実 績	件数	700件	525件	△25.0
	金額	2,137,345,000円	1,473,190,000円	△31.1
融 資 実 績 率		90.0%	62.0%	△28.0ポイント

## (4) 中心市街地商業活性化資金預託金 23,000,000 円

区 分		平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	比 較
預 託 先		蒲郡信用金庫ほか12金融機関	豊川信用金庫ほか12金融機関	—
預 託 額		20,000,000円	23,000,000円	15.0%
融 資 枠		60,000,000円	69,000,000円	—
融 資 実 績	件 数	3件	4件	33.3
	金 額	44,000,000円	20,700,000円	△53.0
融 資 実 績 率		73.3%	30.0%	△43.3ポイント

## (5) 創業支援資金預託金 90,000,000 円

区 分		平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか7金融機関	豊橋信用金庫ほか7金融機関	—
預 託 額		100,000,000円	90,000,000円	△10.0%
融 資 枠		300,000,000円	270,000,000円	—
融 資 実 績	件 数	44件	18件	△59.1
	金 額	176,300,000円	63,480,000円	△64.0
融 資 実 績 率		58.8%	23.5%	△35.3ポイント

## (6) 中小企業団体共同事業資金預託金 11,000,000 円

区 分		平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	比 較
預 託 先		岡崎信用金庫ほか6金融機関	豊橋信用金庫ほか6金融機関	—
預 託 額		12,000,000円	11,000,000円	△ 8.3%
融 資 枠		36,000,000円	33,000,000円	—
融 資 実 績	件 数	3件	3件	0.0
	金 額	15,750,000円	8,003,000円	△49.2
融 資 実 績 率		43.8%	24.3%	△19.5ポイント

## (7) 小規模事業資金預託金 21,000,000 円

区 分		平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか11金融機関	豊橋信用金庫ほか11金融機関	—
預 託 額		17,000,000円	21,000,000円	23.5%
融 資 枠		51,000,000円	63,000,000円	—
融 資 実 績	件 数	9件	6件	△33.3
	金 額	40,000,000円	8,400,000円	△79.0
融 資 実 績 率		78.4%	13.3%	△65.1ポイント

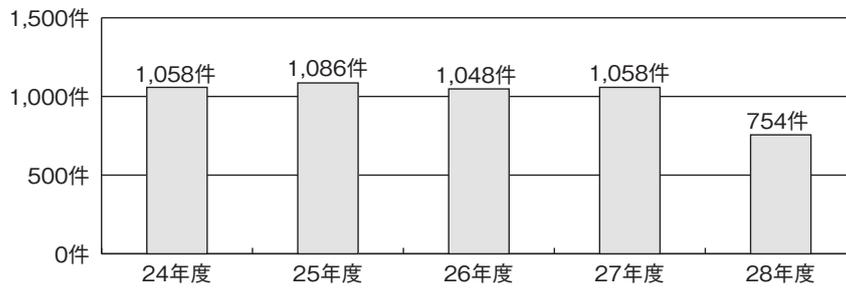
## (8) 愛知県信用保証協会損失補償金 3,419,000 円

補 償 金	平成 2 7 年度		平成 2 8 年度	
	14件	6,759,357円	11件	3,419,000円

[指 標]

指 標 名：融資件数

指標説明：全制度融資(商工組合中央金庫預託金分(H24~26)を除く)の融資件数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 中心市街地にぎわい創出費 <にぎわい創出活動の推進>	44,713,570	0	0	0	44,713,570

1 まちなかにぎわい創出事業費 28,852,570円 (まちなか活性課)

[総括]

中心市街地のにぎわい創出及び消費促進のため、歩行者天国やまちなかマルシェを引き続き開催したほか、豊橋駅東口ペDESTリアンデッキでイルミネーション装飾を行った。また、市制施行110周年を記念したクリスマスマーケットや「ええじゃないかとよはし映画祭」等の開催に合わせおもてなしイベントを実施した。今後も商業者等様々な団体と連携・協力しながらまちなかのにぎわいを創出し、魅力ある中心市街地の形成に取り組んでいく。

[実績及び成果]

(1) まちなかにぎわい創出活動事業費 17,052,570円

内 容	平成27年度	平成28年度
まちなかイルミネーション装飾の実施	点灯期間・日数 27.11.15~28.1.31 78日間 装飾電球数 約 107,000球	点灯期間・日数 28.11.20~29.2.14 87日間 装飾電球数 約 138,000球
まちなかマルシェ等の実施	実施回数・日数 15回・16日間 来場者数 延 60,500人	実施回数・日数 15回・18日間 来場者数 延 75,500人
豊橋駅南口駅前広場使用実績	貸出件数 69件 貸出日数 74日	貸出件数 55件 貸出日数 91日

(2) まちなか活性化推進協議会負担金 1,000,000円

負 担 金	平成27年度	平成28年度
	1,000,000円	1,000,000円

(3) イルミネーションフェスティバル補助金 1,000,000円

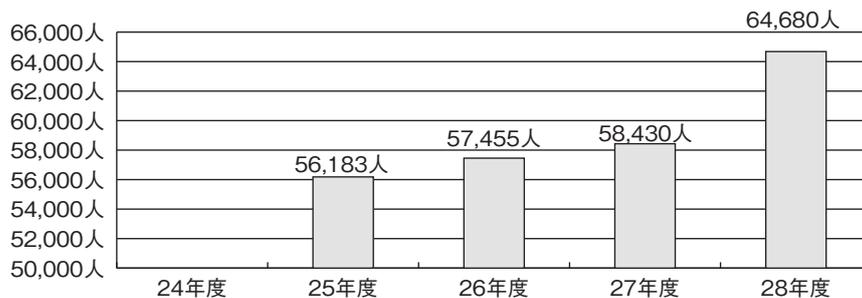
補 助 金	平成27年度	平成28年度
	1件 929,000円	1件 1,000,000円

(4) 歩行者天国実行委員会負担金 9,800,000円

内 容	平成27年度	平成28年度
歩行者天国の実施	実施回数 10回 来場者数 延 285,000人	実施回数 10回 来場者数 延 292,000人

[指 標]

指 標 名：中心市街地の休日歩行者通行量  
指 標 説 明：中心市街地内7地点の休日歩行者通行者数の合計



2 TMO支援事業費

15,861,000円（まちなか活性課）

[総括]

中心市街地の商業・サービス業の振興を図るため、株式会社豊橋まちなか活性化センター（TMO）が実施する空き店舗活用事業や共通駐車券事業のほか、魅力的な店舗の情報を発信する情報誌の発行や新規創業者の出店経費の負担軽減を図るまちなかインキュベーション事業への支援を行った。今後もまちなかにぎわいを創出し、魅力ある商業・サービス業を集積させるための取組みを支援していく。

[実績及び成果]

- (1) 商業団体共同事業補助金 195,000円

補助金	平成27年度		平成28年度	
	2件	144,000円	2件	195,000円

- (2) 空き店舗活用事業補助金 7,759,000円

補助金	平成27年度		平成28年度	
	13件	9,628,000円	10件	7,759,000円

- (3) 共通駐車券事業補助金 998,000円

補助金	平成27年度		平成28年度	
	1件	1,056,000円	1件	998,000円

- (4) おかえり切符事業補助金 357,000円

補助金	平成27年度		平成28年度	
	1件	410,000円	1件	357,000円

- (5) 元気・魅力店舗見える化事業補助金 924,000円

補助金	平成27年度		平成28年度	
	1件	924,000円	1件	924,000円

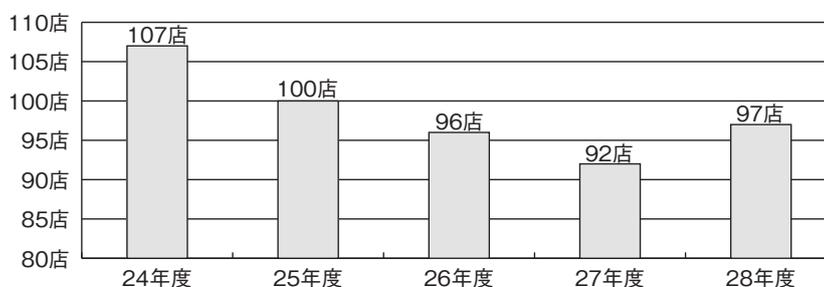
- (6) まちなかインキュベーション事業等補助金 5,628,000円

補助金	平成27年度		平成28年度	
	6件	5,842,000円	10件	5,628,000円

[指標]

指標名：中心市街地内の空き店舗数

指標説明： /



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8日 観 光 費 <観光資源の魅力づくり>	99,503,664	0	0	0	99,503,664

1 まつり・イベント支援事業費 86,800,000円 (観光振興課)

[総括]

交流人口の拡大によって地域の活性化を図るため、市内外からの多くの集客を見込めえじゃないか豊橋まつり、春まつり、花しょうぶまつりなどの各種まつり・イベントを支援した。ええじゃないか豊橋まつりでは市制施行110周年記念事業「ええじゃないか!天オクイズ in 豊橋」など新たな取組みや情報発信に努めた結果、約65万人の参加者数となった。今後もイベント等の内容の充実を図り、地域の活性化につなげていく。

[実績及び成果]

(1) まつり開催費補助金 10,800,000円

行 事 内 容			平成27年度	平成28年度
春まつり	さくらまつり	期 間	27.4.1~4.9 (16日間) 28.3.25~3.31	28.4.1~4.10 (18日間) 29.3.24~3.31
		場 所	向山緑地ほか	向山緑地ほか
		来場者数	約35,000人	約40,000人
	つつじまつり	期 間	27.4.24~5.7 (14日間)	28.4.22~5.6 (15日間)
		場 所	向山緑地内向山大池周辺	向山緑地内向山大池周辺
		来場者数	約2,500人	約2,500人
	うめまつり	期 間	28.1.30~3.13 (44日間)	29.1.28~3.12 (44日間)
		場 所	向山緑地内梅林園	向山緑地内梅林園
		来場者数	約42,000人	約42,000人
	補 助 金	6,489,000円	6,489,000円	
花しょうぶまつり	期 間	27.5.25~6.21 (28日間)	28.5.21~6.12 (23日間)	
	場 所	賀茂しょうぶ園	賀茂しょうぶ園	
	来場者数	約200,000人	約200,000人	
	補 助 金	3,811,000円	4,311,000円	

(2) 豊橋まつり開催費補助金 62,000,000円

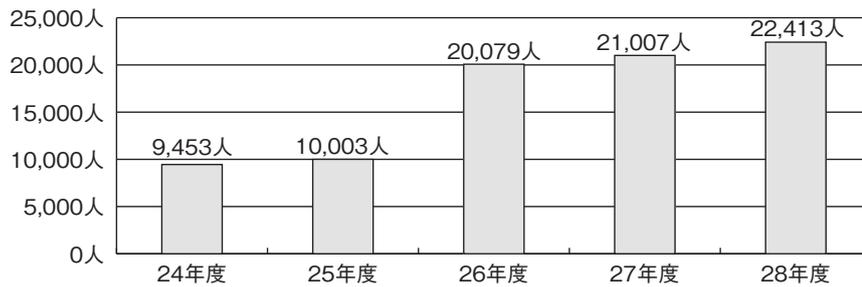
区 分	平成27年度	平成28年度
開 催 日	27.10.17~18	28.10.15~16
会 場 数	まちなかエリア・豊橋公園エリア 12会場	まちなかエリア・豊橋公園エリア 12会場
行 事 数	40行事	46行事
総 人 出 数	約620,000人	約650,000人
総 参 加 団 体 数	約840団体	約881団体
補 助 金	52,000,000円	62,000,000円

(3) 炎の祭典開催費補助金 14,000,000 円

区 分	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度
開 催 日	27.9.12	28.9.10
場 所	豊橋球場及びその周辺	豊橋球場及びその周辺
来 場 者 数	約56,000人	約58,000人
補 助 金	14,000,000円	14,000,000円

[指 標]

指 標 名：ええじゃないか豊橋まつり総おどり参加者数  
指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9目 観光情報発信費 <インバウンドをはじめとした誘客・誘致の推進>	86,353,610	300,000	0	30,000	86,023,610

1 産業プロモーション推進事業費 37,727,992 円 (産業政策課・観光振興課)

[総括]

首都圏でのプロモーションとして、浅草「まるごとにつぼん」での、特産品等の展示・販売のほか、横浜赤レンガ倉庫やららぽーと豊洲での手筒花火の放揚を行った。豊橋駅構内においては、東三河の産業をPRするため東西自由連絡通路に展示ブースを設置した。また、ふるさと寄附制度を活用し豊橋産品のPRを開始したほか、新たに台湾からの観光誘致につなげるため、訪日旅行を取り扱う現地旅行会社等を訪問し、本市の魅力ある観光資源をPRした。今後も効果を検証しながら本市の認知度向上や誘客につなげるプロモーションを展開する必要がある。

[実績及び成果]

(1) 産業プロモーション推進事業費 37,727,992 円

(ア) 推進活動費 15,437,000 円 (うち手筒花火放揚 8,190,000 円)

	平成27年度		平成28年度	
	産業プロモーション 実施回数 ※( )は日数			
	・物産展 浅草「まるごとにつぼん」 3回 (6日) 東京交通会館 2 (2) 大山商店街 1 (2) 横浜赤レンガ倉庫 1 (2)		・物産展 浅草「まるごとにつぼん」 2回 (2日) 大山商店街 1 (2) 横浜赤レンガ倉庫 1 (4)	
	・手筒花火放揚 ららぽーと豊洲 1 (1) 横浜赤レンガ倉庫 1 (1)		・手筒花火放揚 ららぽーと豊洲 1 (1) 横浜赤レンガ倉庫 1 (1)	
	・その他 16 (22)		・その他 15 (26)	
計	25	(36)	21	(36)

(イ) 豊橋駅東西自由連絡通路展示物設置事業費 3,104,654 円

内 容	平成27年度		平成28年度	
		FCAジャパン・ジープ及びものづくり技術 { 三菱レイヨン(株)}の紹介展示		メルセデス・ベンツ及びものづくり技術 { トヨタネ(株)×(株)デンソー}の紹介展示

(ウ) ご当地グルメ普及促進事業補助金 1,000,000 円

内 容	平成27年度		平成28年度	
		「豊橋カレーうどん」を普及啓発するPR活動の実施		「豊橋カレーうどん」を普及啓発するPR活動の実施

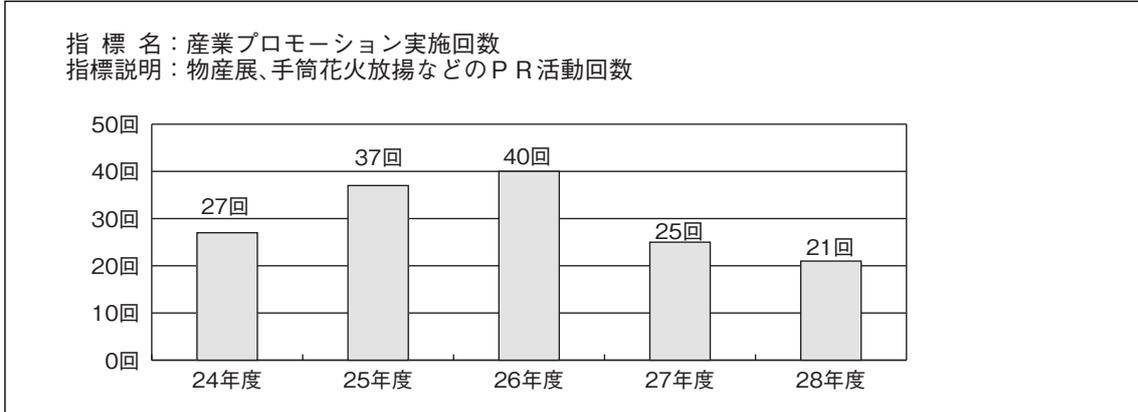
(エ) 訪日外国人観光客誘致 6,526,000 円

内 容	平成27年度		平成28年度	
		訪日旅行を取り扱う旅行会社を本市へ招へいし観光資源をPR		・台湾現地プロモーション ・訪日旅行を取り扱う台湾の旅行会社等を本市へ招へいし観光資源をPR ・吉田城鉄槽前広場での手筒花火放揚

(オ) ふるさと寄附制度を活用した豊橋産品PR事業費 11,660,338円

内 容	平成27年度	平成28年度
	—	ふるさと納税総合サイト「ふるさと チョイス」への掲載 返礼品件数：1,663件

[指 標]



2 観光宣伝事業費 17,725,618円（観光振興課）

[総 括]

本市の魅力ある観光施設等への集客を促すため、雑誌・新聞などによる情報発信や情報プラザを利用したPR活動を行った。情報プラザの案内者数は、主に豊橋駅発着のツアー客や個人型の訪日外国人旅行者の利用が増えたことにより、増加した。今後も国内外の人々が豊橋に興味を持ち、訪れたいくなるような効果的な情報発信、PR活動に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 観光PR活動推進事業費 10,181,527円

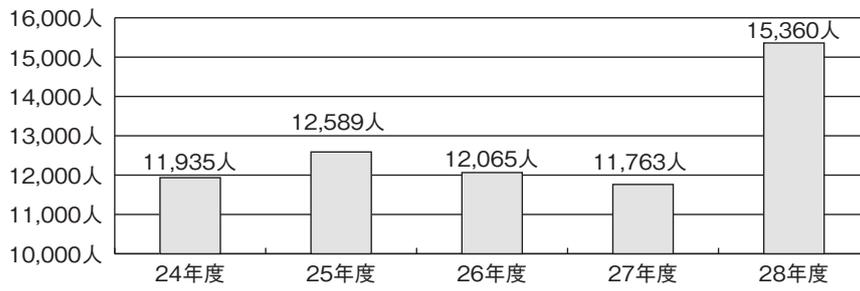
豊橋市への来訪者数	平成27年度	平成28年度	比 較
	延 2,204,257人	延 2,885,311人	30.9%

(2) 情報プラザ運営事業費 7,544,091円

案内者数	平成27年度	平成28年度	比 較
	延 11,763人	延 15,360人	30.6%

[指 標]

指 標 名：情報プラザの案内者数  
指標説明： /



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8 款 土 木 費	14,657,976,143	1,549,749,246	2,122,900,000	810,455,814	10,174,871,083
1 項 道 路 橋 梁 費	3,748,642,507	395,862,084	908,900,000	253,512,803	2,190,367,620
2 目 広域幹線道路整備費 <広域幹線道路の整備促進>	4,766,390	0	0	0	4,766,390

1 幹線道路建設促進対策事業費 4,766,390 円 (道路建設課)

[総括]

広域幹線道路の整備を促進するため、東三河縦貫道路建設促進期成同盟会をはじめとする各種協議会を運営するとともに、本市が加盟する他の協議会においても、国・県に対する要望活動等を積極的に行った。今後も関係自治体や経済界との連携をより一層強化して、地域と一体となって事業の円滑な推進を図る。

名豊道路道の駅整備事業では、地質調査を行った。今後はその調査結果に基づき設計等を進め、開駅に向けて事業を推進していく。

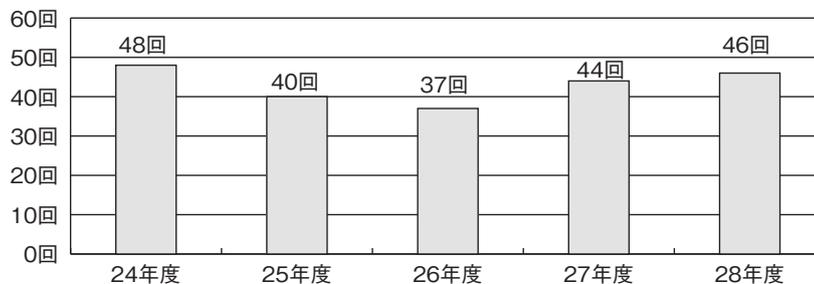
[実績及び成果]

(1) 幹線道路建設促進対策事務費 2,023,190 円

内 容	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度
東三河縦貫道路建設促進期成同盟会	総会・要望活動・研修会の実施	総会・要望活動・研修会の実施
名豊道路建設推進協議会	総会・要望活動の実施	総会・要望活動の実施
その他本市が加盟する協議会	総会・意見交換会・要望活動等への参加	総会・意見交換会・要望活動等への参加

[指 標]

指 標 名：各種協議会としての活動回数  
 指標説明：〃



(2) 名豊道路道の駅整備事業費 2,743,200 円

内 容	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度
		道の駅基本設計

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 幹線道路整備費 < 幹線市道の整備 >	147,272,105	44,225,000	34,200,000	518,920	68,328,185

1 幹線市道整備事業費 122,853,976 円 (道路建設課)

[総括]

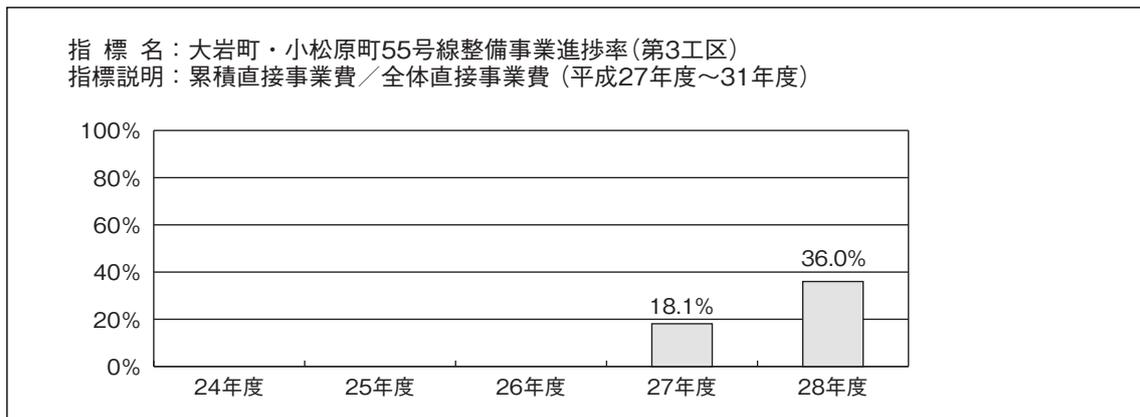
大岩町・小松原町55号線については第3工区の用地取得を行った。今後も国庫補助金等の財源確保に努め、道路交通の円滑化や交通安全確保のため、幹線道路の整備を図る。

[実績及び成果]

- (1) 大岩町・小松原町 55 号線整備事業費 84,470,776 円  
(国庫補助事業 80,410,000 円 市単独事業 4,060,776 円)

道 路 改 良 ( 第 3 工 区 )	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度
	用 地 補 償 工 作 物 等	904.78㎡

[指 標]



2 都市計画道路整備事業費 24,418,129 円 (道路建設課)

[総括]

都市における交通環境の改善と景観形成や防災効果向上のため、都市計画道路網の整備を推進しており、平成28年度は弥生町線の詳細設計を行った。今後も関係機関との協議や調整を図りながら事業を推進していく。

[実績及び成果]

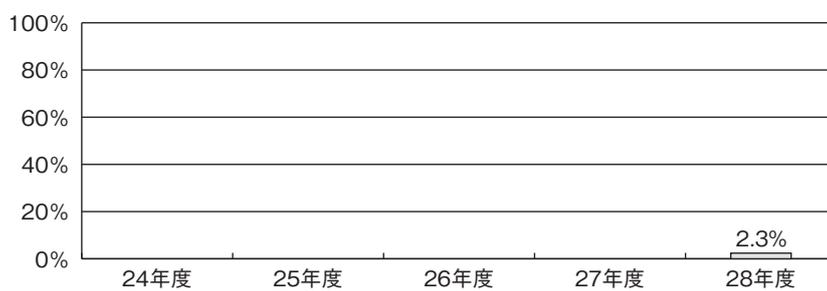
- (1) 弥生町線整備事業費 24,418,129 円  
(市単独事業 24,418,129 円)

内 容	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度
		—

[指 標]

指 標 名：弥生町線整備事業進捗率

指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成28年度～33年度）



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 交通環境保全費 <快適な交通環境の保全>	2,068,752,170	237,100,084	749,300,000	95,225,762	987,126,324

1 自由連絡通路等管理事業費 170,171,349円 (土木管理課)

[総括]

豊橋駅、二川駅及び駅周辺施設の利用者が快適に利用できるよう自由連絡通路等を維持管理した。今後も、施設の修繕等適正な維持管理を行い、快適な環境づくりに努める。

[実績及び成果]

(1) 豊橋駅東西自由連絡通路等管理事業費 153,967,535円

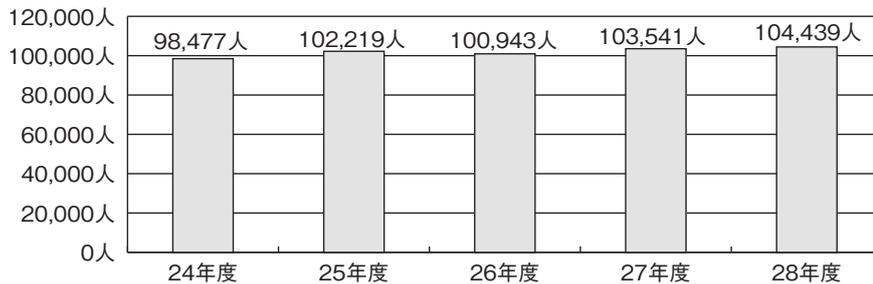
1日当たりの利用者数	平成27年度	平成28年度	比較
		98,077人	98,921人

(2) 二川駅南北自由連絡通路等管理事業費 16,203,814円

1日当たりの利用者数	平成27年度	平成28年度	比較
		5,464人	5,518人

[指標]

指標名：豊橋駅・二川駅1日当たりの利用者数  
指標説明：利用者数/日数



2 自転車等駐車場管理運営事業費 85,088,680円 (土木管理課)

[総括]

豊橋駅及び二川駅周辺において、安心して自転車等を預けられる施設として指定管理者制度を活用し、運営及び維持管理を行った。二川駅では、二川駅南口自転車等駐車場西エリアの定期利用者が増加しており、東エリアにおいても利用率が上がった。

[実績及び成果]

(1) 豊橋駅東口自転車等駐車場管理運営事業費 54,559,100 円

(ア) 自転車・ミニバイク (駅前地下エリア) 収容台数 4,200 台

区 分		平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	比 較
1 日 平 均 利 用 台 数		2,789台	2,752台	△ 1.3%
自 転 車	定 期	2,217	2,192	△ 1.1
	一 時	327	329	0.6
ミ ニ バ イ ク	定 期	202	188	△ 6.9
	一 時	43	43	0.0

(イ) 自動二輪車 (城海津エリア) 収容台数 14 台

区 分		平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	比 較
1 日 平 均 利 用 台 数		9台	9台	0.0%
自 動 二 輪 車	定 期	1	1	0.0
	一 時	8	8	0.0

(2) 豊橋駅西口自転車等駐車場管理運営事業費 収容台数 1,300 台 16,516,050 円

区 分		平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	比 較
1 日 平 均 利 用 台 数		1,004台	995台	△ 0.9%
自 転 車	定 期	800	795	△ 0.6
	一 時	123	122	△ 0.8
ミ ニ バ イ ク	定 期	70	68	△ 2.9
	一 時	11	10	△ 9.1

(3) 二川駅南口自転車等駐車場管理運営事業費 14,013,530 円

(ア) 自転車・ミニバイク (西エリア) 収容台数 370 台

区 分		平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	比 較
1 日 平 均 利 用 台 数		415台	427台	2.9%
自 転 車	定 期	312	320	2.6
	一 時	54	52	△ 3.7
ミ ニ バ イ ク	定 期	39	45	15.4
	一 時	10	10	0.0

(イ) 自転車 (東エリア) 収容台数 45 台

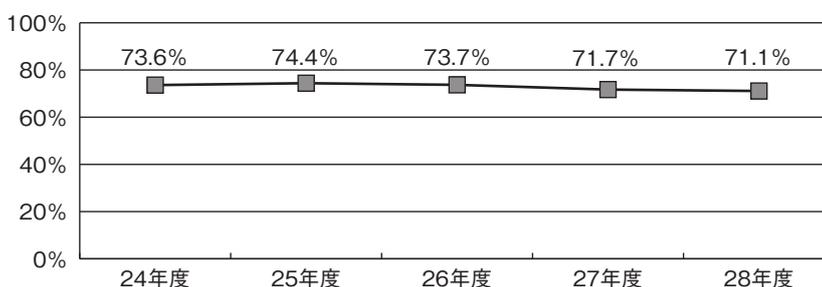
1 日 平 均 利 用 台 数	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	比 較
	30台	37台	23.3%

(ウ) 自 動 車 収容台数 10 台

1 日 平 均 利 用 台 数	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	比 較
	12台	12台	0.0%

[指 標]

指 標 名：自転車等駐車場稼働率  
 指標説明：豊橋駅東口、西口及び二川駅南口の1日平均利用台数／収容台数



3 道路施設等維持管理事業費 373,182,354 円（道路維持課）

[総 括]

生活道路として通行に支障のないよう、道路及び道路附属物の修繕・清掃・舗装等の維持管理を行うとともに、老朽化が進む道路ストックについて、第三者被害を防止する観点から、点検調査を実施した。今後も修繕等の迅速な対応に努め、道路の適正な維持管理を行う。

[実績及び成果]

(1) 道路施設等維持管理事業費 373,182,354 円

区 分	平成27年度	平成28年度
道 路 清 掃	135路線 延長 488.4km	138路線 延長 491.7km
道 路 側 溝 清 掃	93か所 〃 6,847m	67か所 〃 5,345m
舗 装 道 路 補 修	くぼみ補修工・舗装復旧工等	くぼみ補修工・舗装復旧工等
道 路 修 繕	市内一円、側溝修繕等	市内一円、側溝修繕等
道路ストック点検調査	—	路面下点検調査 延長 80km

[指 標]

指 標 名：市道1km当たりの維持管理費  
 指標説明：直接事業費／市道延長



4 道路等維持改良事業費 363,058,200 円（道路維持課）

[総括]

道路側溝を計画的に整備することにより排水不良の軽減を図り、また、道路改良を実施して安全で快適な通行環境を確保した。今後も地域住民の要望を把握し必要性等を考慮しながら、事業効果を高めていく。

[実績及び成果]

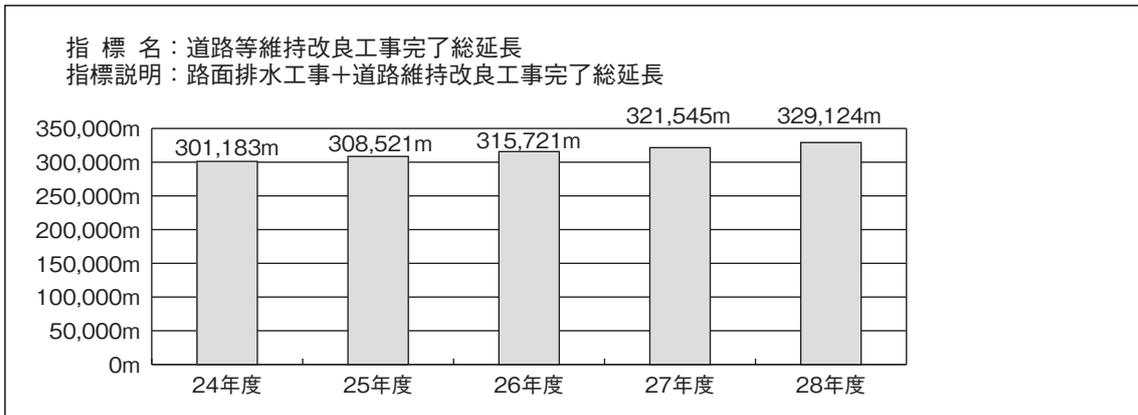
(1) 路面排水整備工事費 324,019,440 円

路面排水	平成27年度		平成28年度	
	市内一円	延長 5,155m	市内一円	延長 6,782m
	市街地	〃 343	市街地	〃 324
	雨水浸透型側溝等設置		雨水浸透型側溝等設置	

(2) 道路維持改良工事費 39,038,760 円

道路維持改良	平成27年度		平成28年度	
	3件	延長 326m	2件	延長 473m

[指標]



5 道路舗装事業費 497,564,640 円（道路維持課）

[総括]

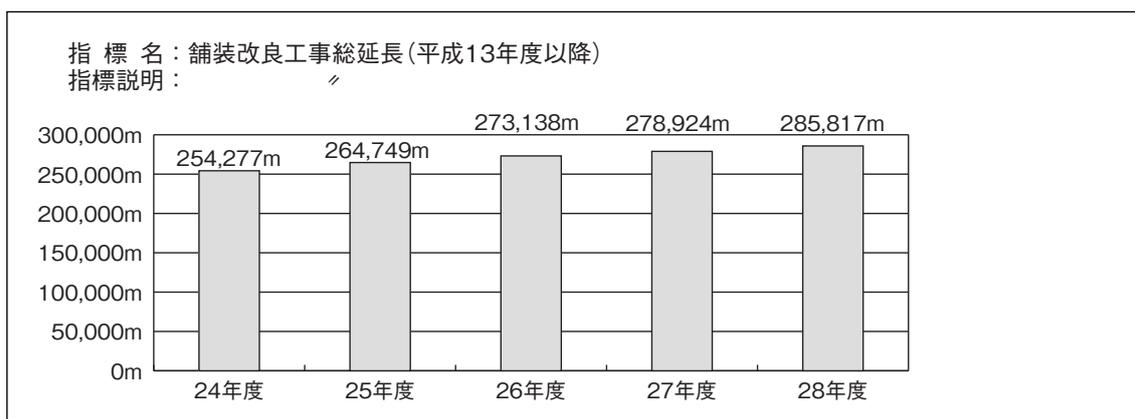
未舗装区間の解消を図るとともに、既設の舗装道路についても、老朽化の程度、交通安全対策上の観点などから現場調査を実施し、順次改良・修繕を行った。今後も安全性や緊急性などを精査し、安全で快適な生活道路を整備していく。

[実績及び成果]

(1) 道路舗装事業費 497,564,640 円

内 容	平成27年度		平成28年度	
舗装新設	延長 1,021m	面積 2,764㎡	延長 861m	面積 2,443㎡
舗装改良	〃 5,786	〃 33,209	〃 6,893	〃 40,653
舗装修繕		〃 22,370		〃 18,615

[指 標]



6 橋梁整備事業費 394,141,149 円 (道路建設課)

[総 括]

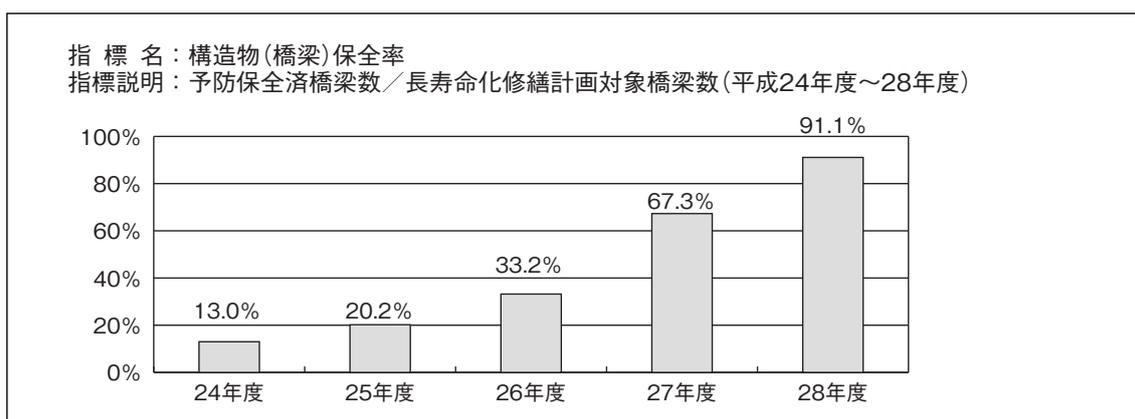
平成 23 年度に主要な橋梁に対して策定した橋梁長寿命化修繕計画に基づき計画的に修繕を行うとともに、橋梁長寿命化修繕計画を全橋梁を対象とした計画に改定した。今後も国庫補助金等の財源確保に努め、事業を推進していく。

[実績及び成果]

- (1) 橋梁長寿命化事業費 394,141,149 円  
 (国庫補助事業 343,000,000 円 市単独事業 51,141,149 円)

内 容	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度
計 画	—	橋梁長寿命化修繕計画改定
定 期 点 検	高橋始め415橋	照山橋始め200橋
補 修 ( 国 庫 補 助 )	五間大橋始め63橋	浜田橋始め61橋
補 修 ( 市 単 独 )	下若根橋始め21橋	平成橋始め18橋

[指 標]



7 道路環境整備事業費

13,934,160 円（道路維持課）

〔総括〕

歩道修繕を行い、街路樹の根上がりによる段差の解消を図った。今後も歩きにくい歩道の改善に努める。

〔実績及び成果〕

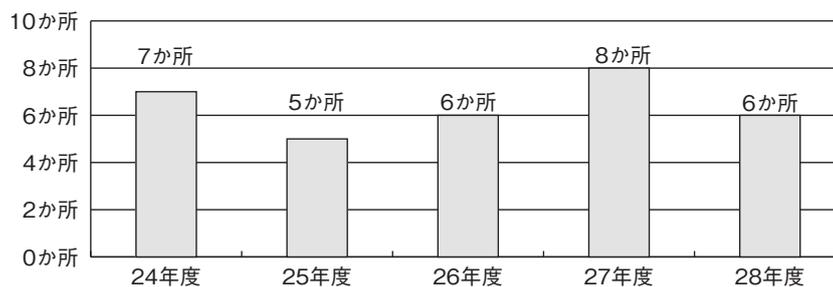
(1) 人にやさしい道づくり事業費 13,934,160 円

歩道修繕	平成27年度	平成28年度
	8か所	6か所

〔指標〕

指標名：人にやさしい道づくり工事(歩道修繕)か所数

指標説明：  
〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 交通安全施設等整備費 <交通安全施設などの整備>	783,677,442	114,537,000	125,400,000	2,630,693	541,109,749

1 交通安全施設整備事業費 321,775,575 円 (道路建設課)

[総括]

第2工区に着手した石巻西川町・石巻中山町1号線はじめ5路線において、自転車歩行者道及び歩道設置により道路の安全確保に努めた。また、自転車通行空間整備事業では、平成26年度に策定した自転車ネットワーク整備計画に基づき自転車通行空間の整備を行った。単独交通安全施設整備事業では、2路線の道路改良を行った。今後も道路状況や地元要望等を検討し、国庫補助金等の財源確保に努め、事業を推進していく。

[実績及び成果]

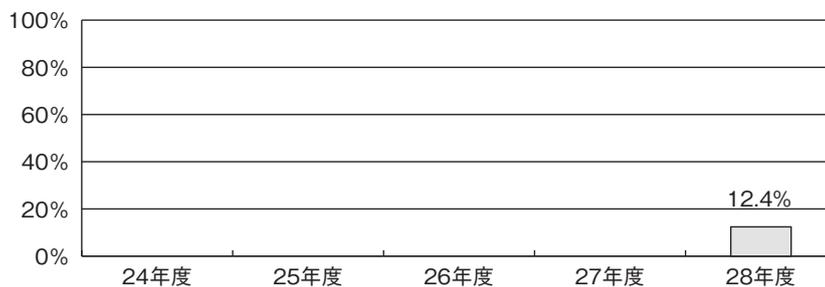
(1) 石巻西川町・石巻中山町1号線自転車道等設置事業費 25,770,604 円

(国庫補助事業 12,860,000 円 市単独事業 12,910,604 円)

	平成27年度	平成28年度
自転車道等設置 (第2工区)	—	延長 — 用地 605.26㎡ 補償 工作物等

[指標]

指標名：石巻西川町・石巻中山町1号線自転車道等設置事業進捗率(第2工区)  
指標説明：累積直接事業費/全体直接事業費(平成28年度～33年度)



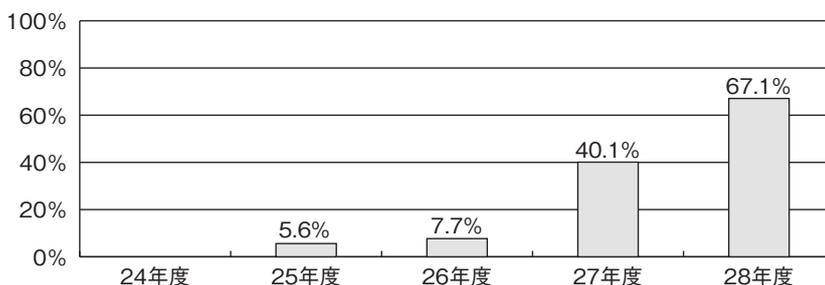
(2) 飯村町・大岩町47号線ほか自転車道等設置事業費 135,950,448 円

(国庫補助事業 119,460,000 円 市単独事業 16,490,448 円)

	平成27年度	平成28年度
自転車道等設置	延長 150m 用地 489.68㎡ 補償 建物等	延長 20m 用地 1,111.53㎡ 補償 建物等

[指標]

指標名：飯村町・大岩町47号線ほか自転車道等設置事業進捗率  
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成25年度～31年度）



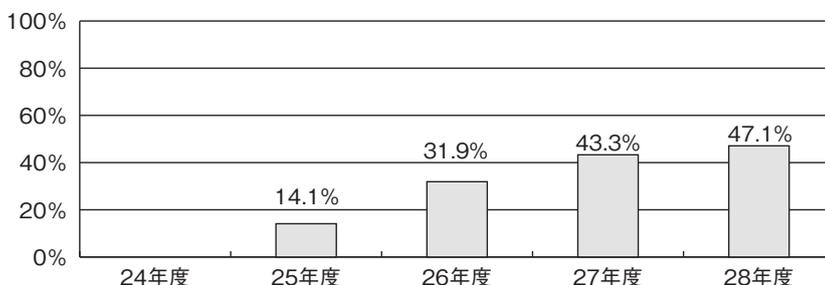
(3) 植田町・大清水町 103 号線歩道設置事業費 6,914,486 円

(国庫補助事業 6,460,000 円 市単独事業 454,486 円)

歩道設置	平成27年度		平成28年度	
	延長	120m	延長	—
用地	55.04㎡	用地	57.11㎡	
補償	工作物等	補償	—	

[指標]

指標名：植田町・大清水町103号線歩道設置事業進捗率  
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成25年度～31年度）



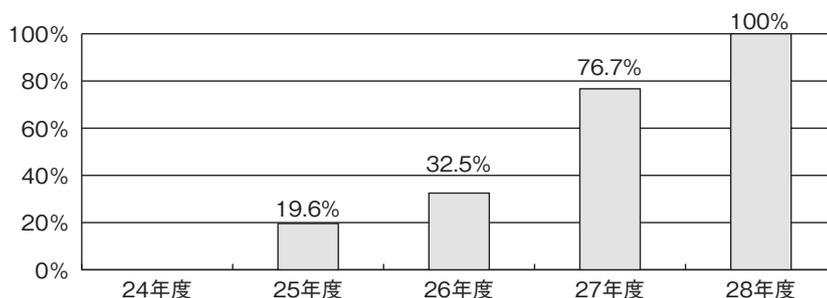
(4) 二川町・大岩町 37 号線歩道設置事業費 10,352,827 円

(国庫補助事業 4,080,000 円 市単独事業 6,272,827 円)

歩道設置	平成27年度		平成28年度	
	延長	70m	延長	90m
用地	140.66㎡	用地	106.03㎡	
補償	工作物	補償	—	

[指 標]

指 標 名：二川町・大岩町37号線歩道設置事業進捗率  
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成25年度～28年度）

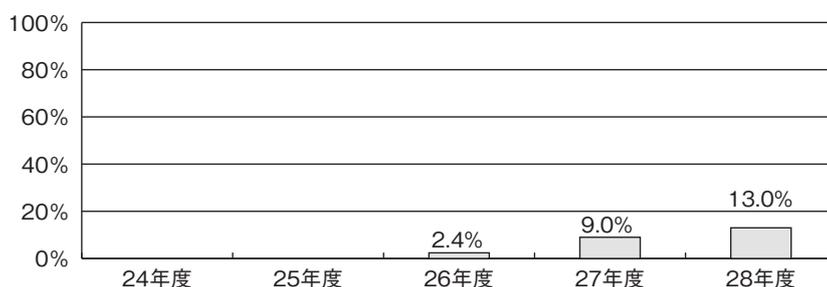


- (5) 自転車通行空間整備事業費 37,604,520 円  
 (国庫補助事業 36,480,000 円 市単独事業 1,124,520 円)

内 容	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度
路 面 標 示 等	延 長 1,400m	延 長 850m

[指 標]

指 標 名：自転車通行空間整備進捗率  
 指標説明：整備済路線延長／自転車ネットワーク優先整備路線延長（平成26年度～32年度）



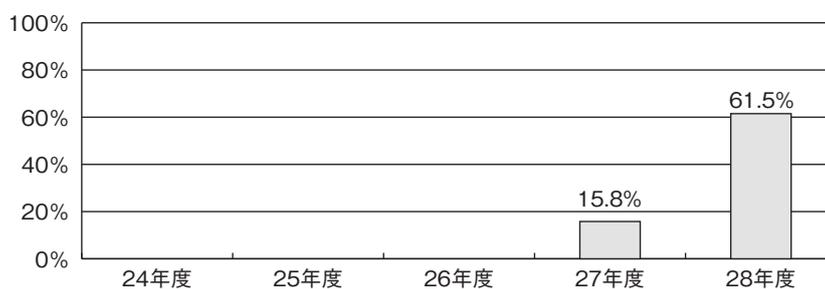
※社会実験による施工分は指標から除く

- (6) 高塚町・西七根町1号線歩道設置事業費 38,889,370 円  
 (県費補助事業 31,800,000 円 市単独事業 7,089,370 円)

	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度
歩 道 設 置	延 長 —	延 長 230m
	用 地 379.34㎡	用 地 420.94㎡
	補 償 工作物	補 償 工作物

[指 標]

指 標 名：高塚町・西七根町1号線歩道設置事業進捗率  
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成27年度～29年度）

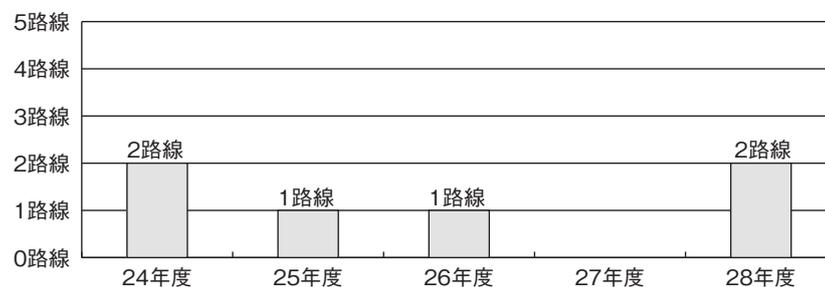


(7) 単独交通安全施設整備事業費 66,293,320 円  
 (市単独事業 66,293,320 円)

内 容	平成27年度	平成28年度
調 査 設 計	南栄町・弥生町3号線	飯村町・飯村北85号線 南栄町・弥生町3号線
道 路 改 良	—	西七根町249号線ほか

[指 標]

指 標 名：単独交通安全施設整備路線数  
 指標説明：〃



2 交通安全施設維持改良事業費 461,901,867 円（道路維持課）

[総括]

道路状況や地元要望等を検討し、道路照明灯、防護柵、道路反射鏡の設置など安全で快適な交通環境の確保に努めた。今後も交通安全施設が適正に機能するよう維持管理を行う。

[実績及び成果]

(1) 交通安全施設改良事業費 288,084,600 円

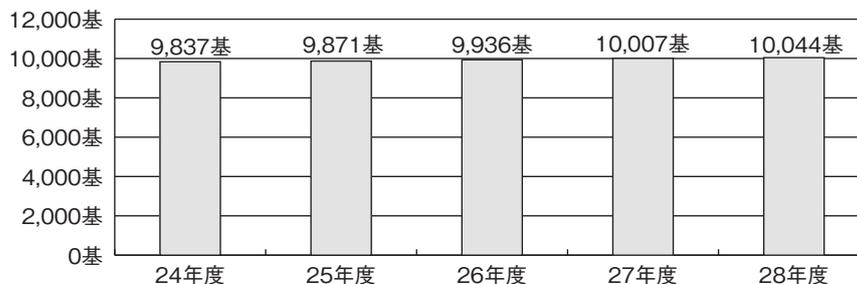
内 容	平成27年度	平成28年度
道路照明灯設置	16~180W 249基	16~180W 253基
交差点等安全カラー標示	17か所	17か所
交差点等安全対策	20	—
防護柵設置	延長 1,271m	延長 1,489m
道路反射鏡設置	155基	160基
交通安全施設改良修繕	歩車道境界ブロック等	歩車道境界ブロック等
区画線設置	延長 80,115m	延長 78,230m
横断歩道橋修繕	塗装修繕等	塗装修繕等
生活環境改善	照明灯・反射鏡	—

(2) 交通安全施設維持事業費 173,817,267 円

道路照明灯塗装修繕	平成27年度	平成28年度
	37基	34基

[指標]

指標名：交通安全施設(道路反射鏡)の総設置基数  
 指標説明：  
 //



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 河 川 費	999,224,062	37,098,676	248,500,000	55,021,674	658,603,712
2目 水辺環境保全費 <親しまれる水辺環境の保全>	310,455,582	0	0	0	310,455,582

1 河川水路等維持管理事業費 310,455,582円 (河川課)

[総括]

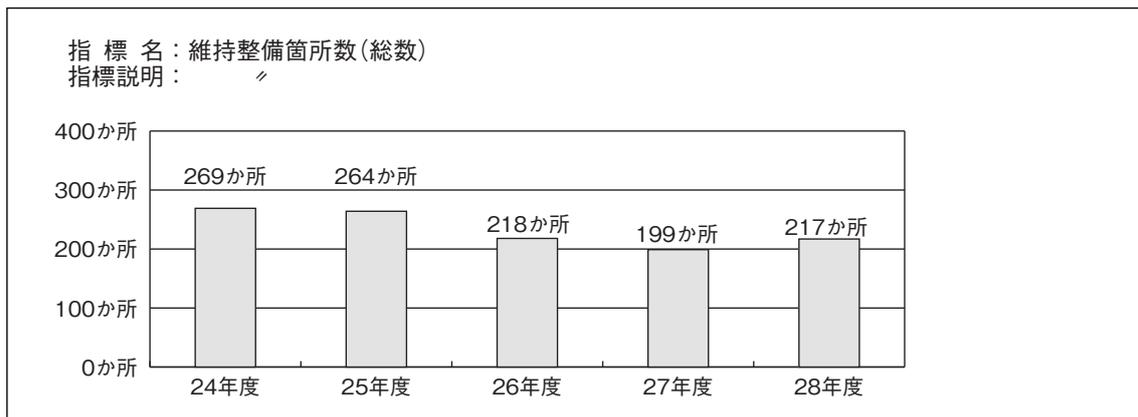
河川を市民の憩う場とし、河川環境を保全するための維持管理を行った。今後も市民や団体による河川愛護活動など、地域住民との協働により親しまれる水辺環境の保全に努めるとともに、河川水路の適切な維持管理に努める。

[実績及び成果]

(1) 維持整備事業費 310,455,582円

内 容	平成27年度		平成28年度	
補 修	73か所		91か所	
除 草	48	58,970㎡	68	52,360㎡
浚 渫	78	3,558㎡	58	4,284㎡

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 浸水対策費 <浸水対策の推進>	530,128,236	37,098,676	248,500,000	47,510,047	197,019,513

1 河川施設等維持管理事業費 232,378,674 円 (河川課)

[総括]

浸水被害の防止や軽減、正常な流水機能の維持のため、排水機場、樋門・樋管、除塵機等の河川付属施設の維持管理を行った。今後も施設が正常に機能するように維持管理に努める。

[実績及び成果]

- (1) 排水機場維持管理適正化事業費 56,601,600 円
- (2) 排水機場維持管理事業費 70,843,681 円
- (3) 農業水利施設保全対策事業負担金 7,249,770 円
- (4) 樋門等操作委託事業費 1,925,676 円
- (5) 河川付属施設維持管理事業費 95,757,947 円

2 河川水路等改良事業費 176,809,002 円 (河川課)

[総括]

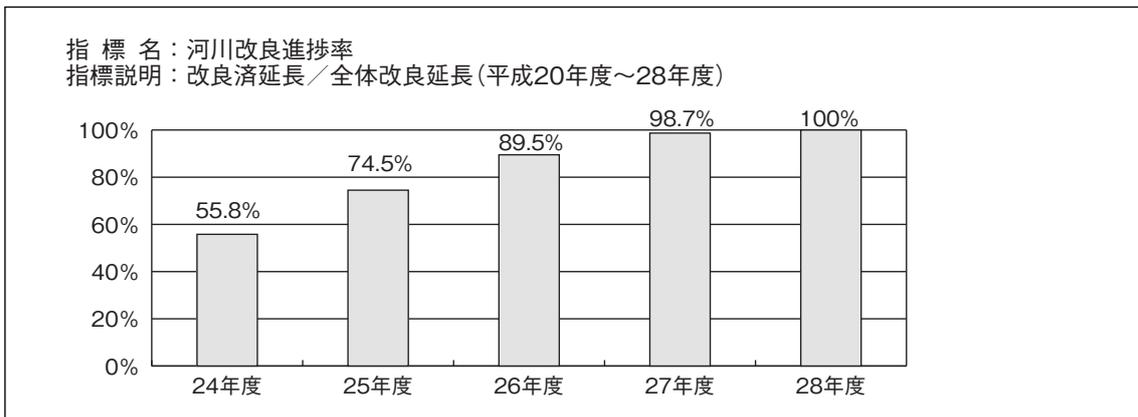
河川・水路等の氾濫による被害から市民の生命・財産を保全するため、流下能力を高める改良工事を行った。また、県補助事業を活用し、境松川の改良工事を行った。今後も氾濫による被害の防止や軽減を図っていく。

[実績及び成果]

- (1) 境松川改良事業費 14,825,459 円  
(県費補助事業 14,400,000 円 市単独事業 425,459 円)

河 川 改 良	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度
	工 事 延 長 77m	工 事 延 長 16m

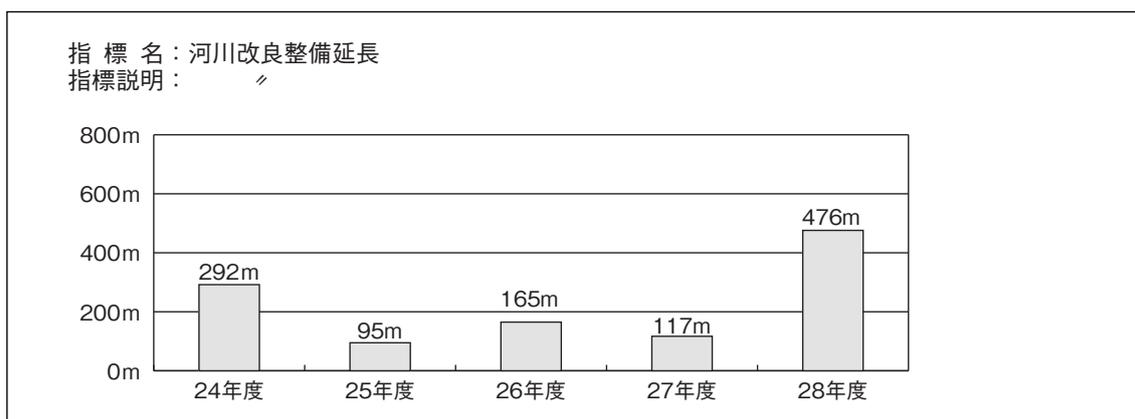
[指 標]



- (2) 河川改良事業費 112,919,960 円

河 川 改 良	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度
	工 事 延 長 117m	工 事 延 長 476m

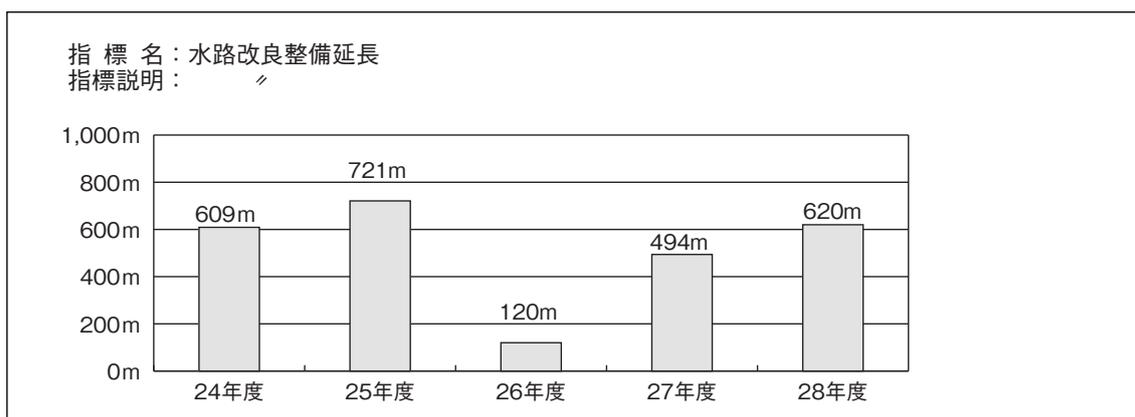
[指 標]



(3) 水路改良事業費 49,063,583 円

内 容	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度
水 路 改 良	工 事 延長 494m	工 事 延長 620m
用 地 取 得	面 積 54.82㎡	—

[指 標]



3 大雨浸水対策事業費 117,484,560 円 (河川課)

[総 括]

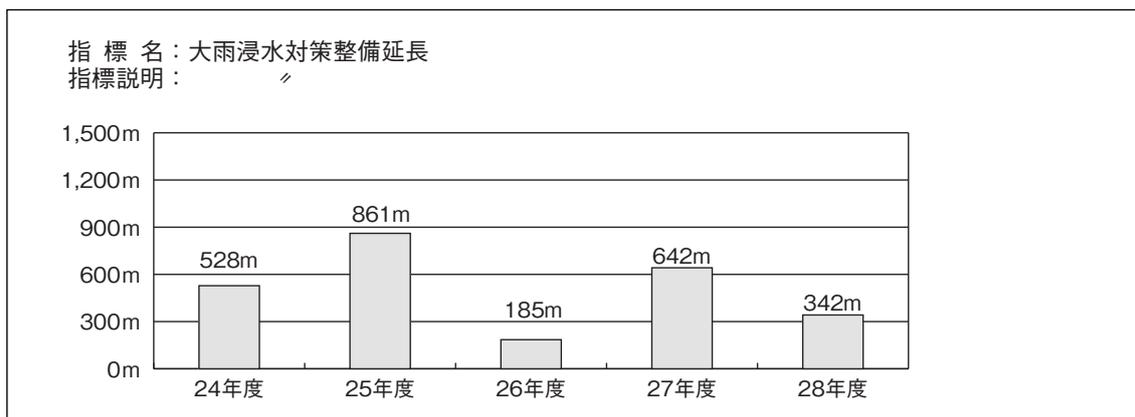
都市化の進展に伴う流域環境の変化による浸水被害に対処するため、水路改良を行った。今後も関連部局との連携により浸水被害の解消を図る。

[実績及び成果]

(1) 大雨浸水対策事業費 117,484,560 円

水 路 改 良	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度
	工 事 延長 642m	工 事 延長 342m

[指 標]



4 流域貯留浸透事業費 3,456,000 円 (河川課)

[総 括]

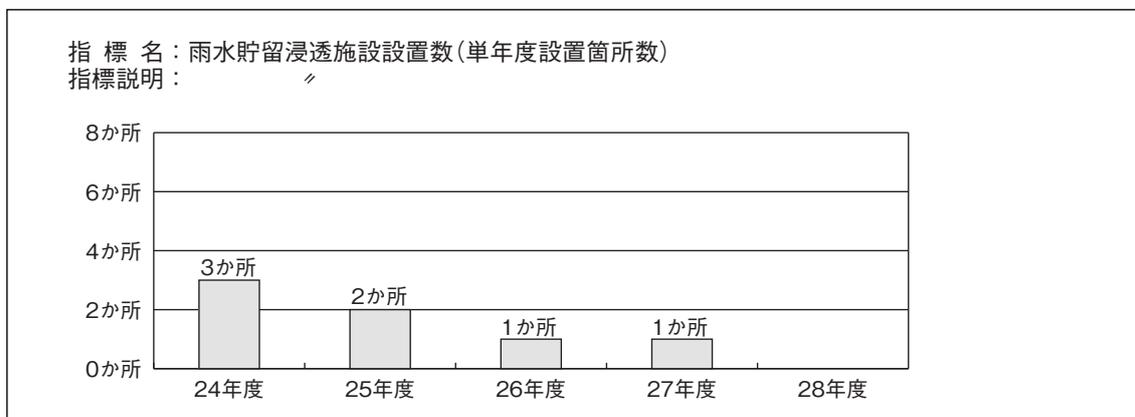
集中豪雨による浸水被害の軽減を図ることを目的に、農業用の機能がないため池に対して洪水調整池としての有効活用を検討するための基本設計を行った。また、二級河川柳生川流域において雨水貯留浸透施設の整備が完了したため、今後は施設が正常に機能するように維持管理に努める。

[実績及び成果]

(1) 流域貯留浸透事業費 3,456,000 円

内 容	平成 2 7 年度		平成 2 8 年度	
	貯留施設工	1 か所	基本設計	1 か所

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 土砂災害対策費 <土砂災害対策の推進>	2,700,900	0	0	0	2,700,900

1 土砂災害対策事業費 2,700,900円 (河川課)

[総括]

がけ崩れなどの土砂災害から市民の生命と財産を守るため、県が行う急傾斜地崩壊防止工事に対し負担金を支出した。また、土砂災害防止法に基づく土砂災害(特別)警戒区域においてハザードマップを作成し、周辺住民等に配布した。今後も地元住民の要望に基づき、工事の進捗を県に働きかけるとともに、土砂災害に関する情報提供に努める。

[実績及び成果]

(1) 急傾斜地崩壊対策事業負担金 750,600円

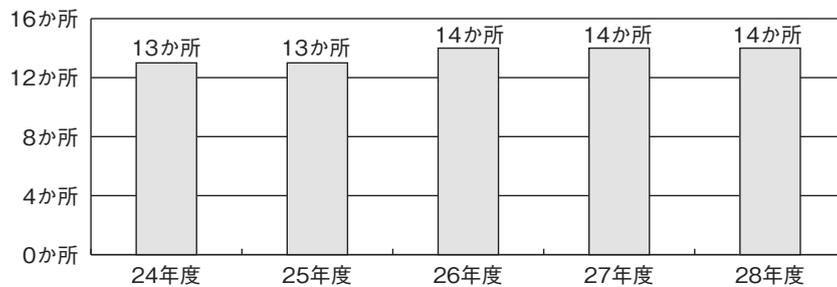
事業主体	区分 地区名	平成27年度		平成28年度	
		事業費	市負担金	事業費	市負担金
愛知県	大崎町地下	4,600,800円	460,080円	—	—
	王ヶ崎町北欠	9,234,000	923,400	7,506,000円	750,600円

(2) 土砂災害ハザードマップ作成事業費 1,950,300円

土 砂 災 害 ハ ザ ー ド マ ッ プ 作 成 箇 所 数	平成27年度	平成28年度
		53か所

[指標]

指標名：急傾斜地崩壊防止施工箇所数(累積)  
指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項 建 築 費	1,084,669,198	166,345,516	111,000,000	426,279,214	381,044,468
2目 人にやさしいまちづくり費 <人にやさしいまちづくりの推進>	1,250,583	0	0	0	1,250,583

1 人にやさしいまちづくり推進事業費 1,122,583円 (建築指導課)

[総 括]

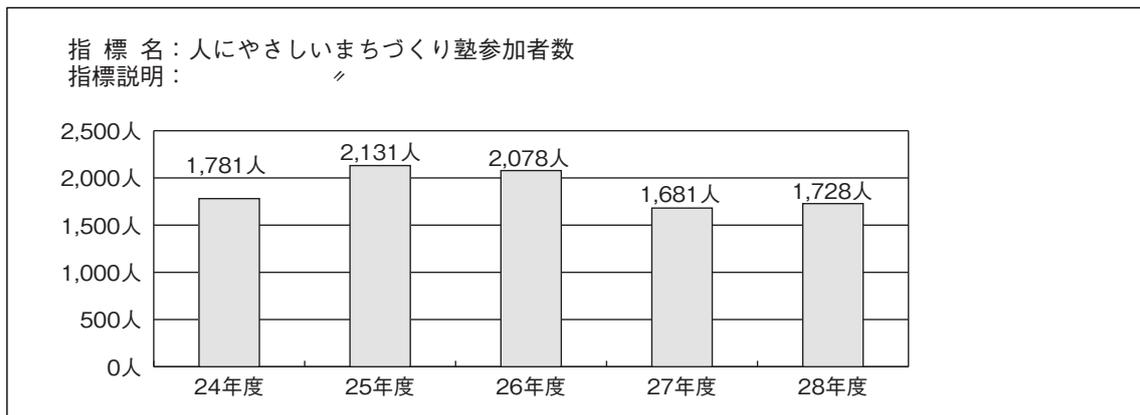
人にやさしいまちづくりを推進するため、アドバイザーグループとサポーターの協力を得て「人にやさしいまちづくり塾」を市内の小学校、高等学校、企業で開催した。また、より多くの学校などで「人にやさしいまちづくり塾」を開催するために、講師として活躍するサポーターを養成する「人にやさしいまちづくりサポーター養成講座」(全4回)を前年度に引き続き開講した。今後も誰もが暮らしやすいまちをめざし、人にやさしいまちづくりの担い手育成やバリアフリーの必要性等の普及啓発を進めていく。

[実績及び成果]

(1) 人にやさしいまちづくり推進事業費 1,122,583円

啓 発 事 業 開 催 回 数	平成27年度	平成28年度	比 較
		32回	33回

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 居住確保費 <住まいの安定確保>	16,168,872	6,838,000	0	0	9,330,872

1 地域優良賃貸住宅供給促進事業補助金 16,002,000円 (住宅課)

[総括]

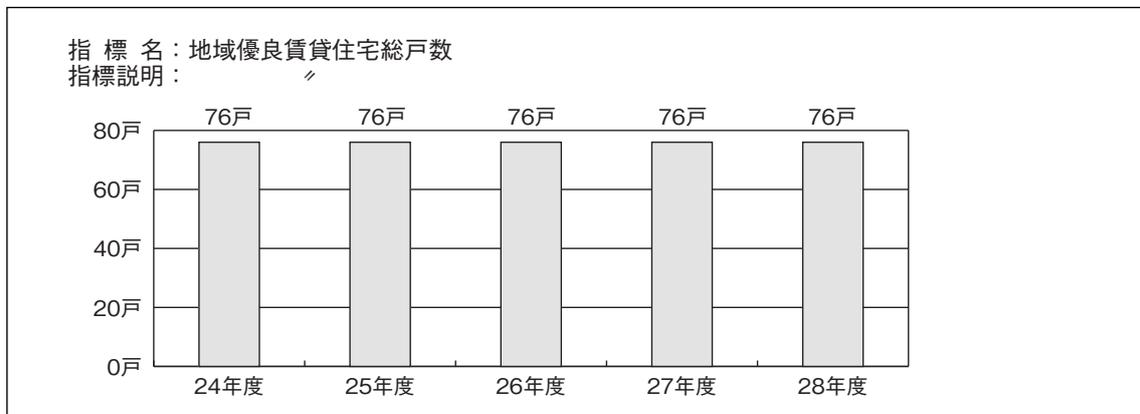
高齢者の居住の安定確保を図るため、地域優良賃貸住宅(高齢者型)整備費に助成した事業者に対して、家賃補助を実施した。今後もこの制度を活用した民間事業者による地域優良賃貸住宅の拡充を進める。

[実績及び成果]

(1) 地域優良賃貸住宅供給促進事業補助金 16,002,000円

家賃対策補助金	平成27年度	平成28年度
		15,447,000円

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 公 営 住 宅 費 <住まいの安定確保>	666,240,059	157,337,000	111,000,000	321,067,647	76,835,412

1 住宅維持管理事業費 469,784,902 円 (住宅課)

[総括]

市営住宅を効率的かつ効果的に維持管理するため、計画的な工事、修繕を行った。また、3人以上の子を扶養している世帯を対象に、所得に応じて市営住宅の家賃を10%減免し、子育て世帯の負担軽減を図った。

今後も平成27年度より導入した指定管理者制度を継続し、入居者へのサービス向上に努める。

[実績及び成果]

(1) 住宅管理事業費 311,997,982 円

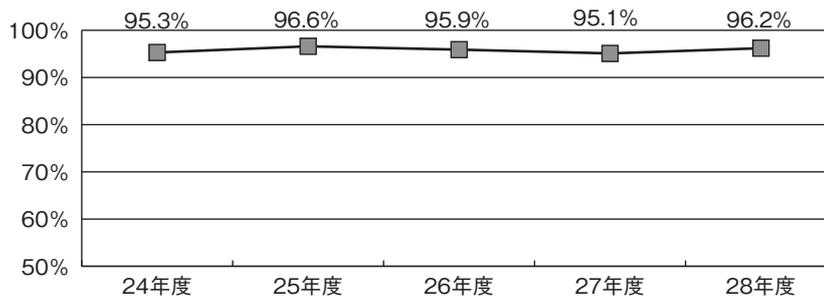
住宅管理戸数 (年度末)	平成27年度	平成28年度
		4,228戸

(2) 住宅維持補修事業費 157,786,920 円

工 事 内 容	平成27年度	平成28年度
屋 上 防 水	西部	西部
受 水 槽 改 修	西部	栄生
外 壁 改 修	空池	空池
漏電ブレーカー設置	栄生、西部	—
駐 車 場 整 備	—	西部始め5住宅
取 り 壊 し	—	城山

[指 標]

指 標 名：市営住宅入居率  
 指標説明：延入居戸数 / (延管理戸数 - 延入居停止戸数)



2 公営住宅建設事業費

181,012,580 円（住宅課）

[総括]

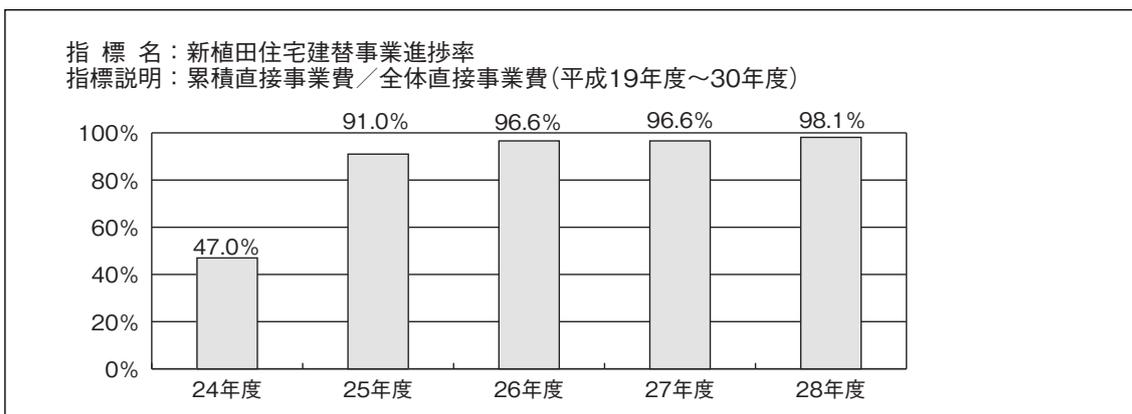
新植田住宅の住環境向上を目的として、29年度に周辺道路整備を行うための測量設計等を行った。また、29年度に西口住宅建設工事（第1期）に着手するため、解体工事及び実施設計等を行った。今後も建替事業の円滑な実施をめざす。

[実績及び成果]

(1) 新植田住宅建替事業費 6,079,860 円

内 容	平成27年度	平成28年度
	—	路線測量設計ほか

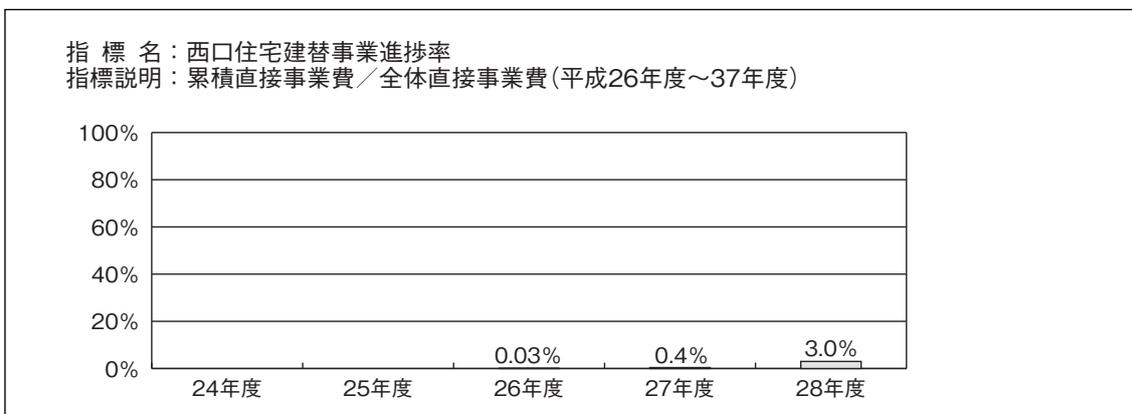
[指標]



(2) 西口住宅建替事業費 174,932,720 円

内 容	平成27年度	平成28年度
	移転先補修工事	

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 空家対策推進費 ＜空家対策の推進＞	5,214,681	2,102,000	0	0	3,112,681

1 空家対策推進事業費 5,214,681 円 (建築物安全推進室・住宅課)

[総括]

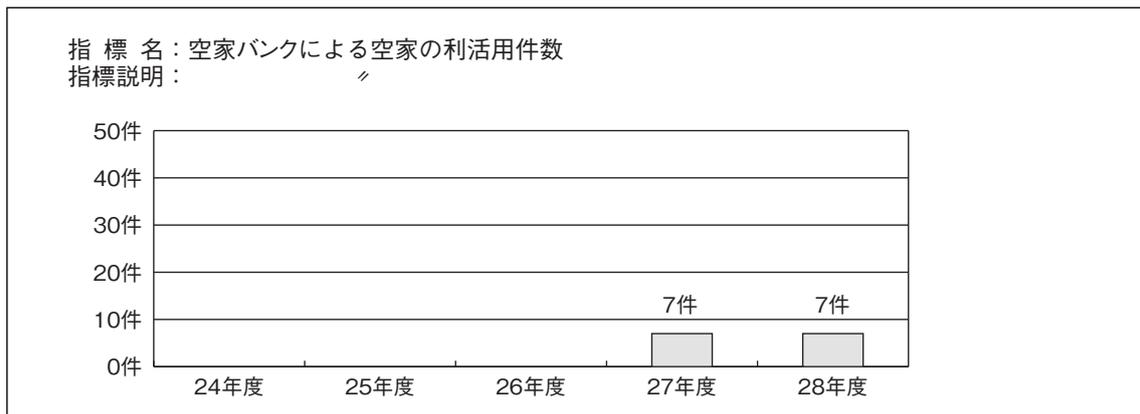
空家解体促進費補助金を創設し老朽空家の解体促進を図るとともに、空家バンクによる空家の利活用を進めるなど、増加する空家への対策に取り組んだ。また、豊橋市空家等対策協議会を設置し「豊橋市空家等対策計画」を策定したことで空家等に関する対策を総合的かつ計画的に推進することが可能となった。今後は計画に基づき、さらなる市民の生活環境の保全及び地域活力の維持・向上を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 空家対策推進事業費 5,214,681 円

区 分	平成27年度	平成28年度	累 計
空家バンクによる空家の利活用件数	7件	7件	14件
空家利活用改修費補助金補助件数	0件	1件	1件
空家解体促進費補助金補助件数	—	20件	20件

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 建築指導費	8,367,126	0	0	0	8,367,126

1 建築指導事務費 8,367,126円 (建築指導課)

[総括]

建築基準法による「確認申請」は、民間確認検査機関への申請が定着したことにより、減少傾向が進む一方で、長期優良住宅の普及の促進に関する法律に基づく「認定申請」は、制度普及により増加した。また、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律に基づく「認定申請」を受け付けた。今後も各申請に対し適切な処理をすることにより、住環境の整備並びに都市の健全な発展と秩序ある市街地の形成に努める。

[実績及び成果]

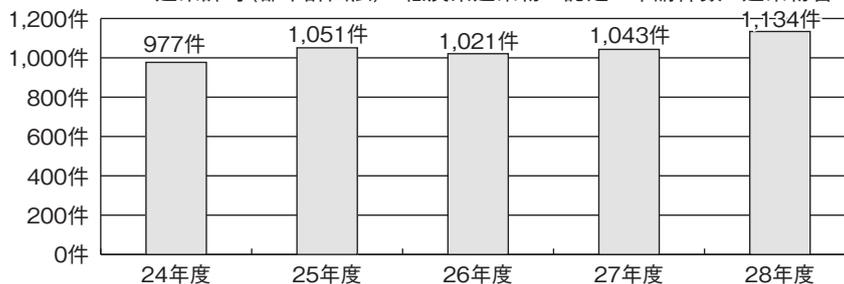
(1) 建築指導事務費 8,367,126円

種 別	区 分	件 数		比 較
		平成27年度	平成28年度	
建築確認申請等	確 認 申 請	22件	12件	△45.5%
	計 画 通 知	23	25	8.7
建築基準法による許可申請等	建 築 許 可 申 請	28	13	△53.6
	仮使用承認申請	2	3	50.0
長期優良住宅の普及の促進に関する法律	認 定 申 請	693	789	13.9
都市計画法による許可申請等	開 発 許 可 申 請	23	16	△30.4
	建 築 許 可 申 請	246	254	3.3
都市の低炭素化の促進に関する法律	認 定 申 請	6	21	3.5倍
建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律	認 定 申 請	—	1	皆増

[指 標]

指 標 名：建築確認申請等件数

指標説明：建築確認+計画通知+建築許可(建築基準法)+仮使用承認+長期優良住宅の認定+開発許可+建築許可(都市計画法)+低炭素建築物の認定の申請件数+建築物省エネ法の認定申請件数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4項 都市開発費	140,208,149	140,000	0	834,730	139,233,419
2目 総合物流費 <総合物流機能の強化>	31,641,451	140,000	0	0	31,501,451

1 港湾関連対策事業費 31,641,451円 (みなと振興課)

[総括]

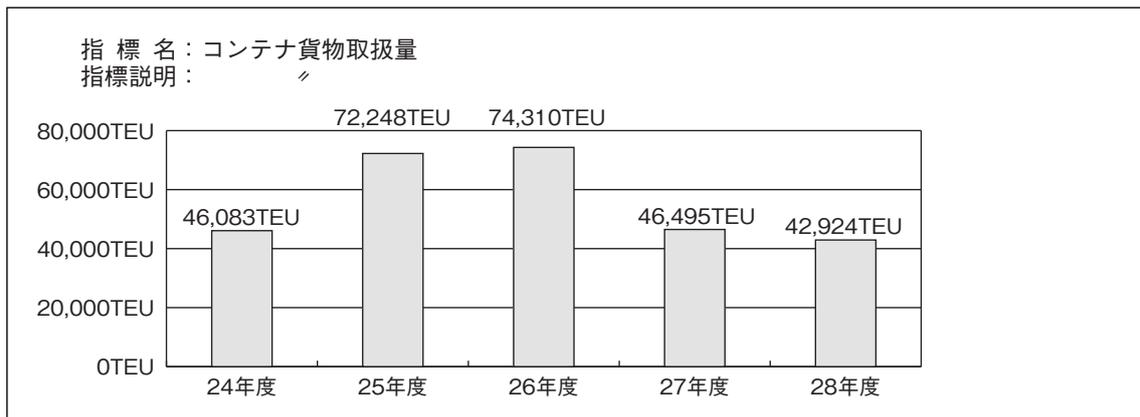
三河港振興会が主体となり、インフラ整備やコンテナターミナルの利用促進活動を行うとともに、国内外のポートセールスなどにより三河港の情報を全国に向け発信した。加えて、三河港を利用する企業に対し助成金制度を実施し、コンテナ及び完成自動車取扱量の維持・増加を図った。その結果、完成輸入自動車の取扱量は平成5年以来24年連続で日本一を記録し、その金額においては過去最高となった。一方、コンテナ貨物の取扱量については、27年6月にロシア航路が廃止されたこともあり全体としては減少したが、28年6月の中国・フィリピン航路の開設やコンテナ助成金制度の再開などにより、ロシア航路を除いた27年度のコンテナ貨物の取扱量40,608TEUよりも28年度は2,316TEU増加した。今後もコンテナ貨物から完成自動車までを扱う総合的な物流機能を強化するため、国や県に対して積極的な要望活動を行っていく。

[実績及び成果]

- (1) 港湾関連調整事務費 5,041,451円
- (2) 三河港振興会負担金 26,600,000円

内 容	平成27年度	平成28年度
運 営 費 負 担 金	100,000円	100,000円
コンテナ委員会負担金	7,500,000	7,500,000
自動車港湾委員会負担金	500,000	500,000
三河港自動車流通強化支援事業負担金	21,000,000	18,000,000
三河港活性化可能性調査事業負担金	—	500,000

[指 標]



※ TEU : twenty-foot equivalent unit、20 フィートコンテナ換算

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3 目 港 湾 費 <みなとのにぎわいの創出>	52,299,031	0	0	803,970	51,495,061

1 みなとにぎわい創出事業費 679,427 円 (みなと振興課)

[総括]

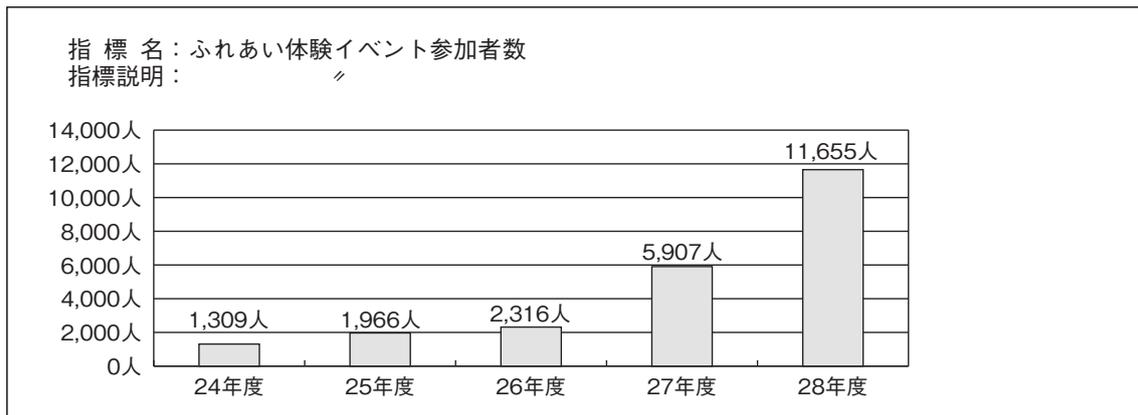
港の重要性や必要性を理解してもらい、港にふれあう機会を提供する場として、三河港船上セミナーや明海地区・田原地区などの臨海部の工場見学などを行った。平成 28 年度は海フェスタ東三河の関連イベントとして、海の仕事をはじめとした職業体験を行い、多くの子どもたちに海ならではの仕事を紹介できた。また三河港モーターショーを海フェスタ東三河の開催に合わせて実施したことで、遠方からの来場者にも三河港で陸揚げされる自動車を PR することができた。今後も集積するインポーター等との連携により地域のにぎわいへとつながる産業観光への取組みを推進していく。

[実績及び成果]

(1) みなとにぎわい創出活動事業費 679,427 円

内 容	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度
イベント開催数	13回	11回
イベント参加者数	5,907人	11,655人

[指 標]



2 ポートインフォメーションセンター管理運営費 16,119,604 円 (みなと振興課)

[総括]

この地域における三河港の重要性や必要性の理解を深めてもらうとともに、港を気軽に訪れ、身近に感じてもらうためにポートインフォメーションセンターの適正な維持、管理に努めた。平成 28 年度は海フェスタ東三河の開催やクルーズ船「飛鳥Ⅱ」の初寄港の他、様々な体験イベントの開催により、県内外からも多くの方に来館していただけた。また、新たに港や海に関する遊具を導入し、キッズスペースを設けたり、飲食が可能なスペースにカフェテーブルや椅子を設置して、来場者がくつろげるように館内設備の充実に努めた。今後も、適切なサービスの提供や施設のリニューアルを図り、利用者に親しまれる施設にしていく。

[実績及び成果]

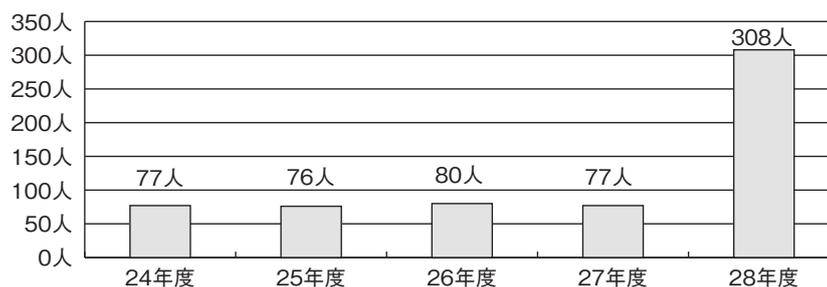
(1) ポートインフォメーションセンター管理運営費 16,119,604円

区 分	平成27年度	平成28年度
開 館 日 数	360日	359日
利 用 者 数	延 27,836人	延 110,390人

※平成28年度は「海フェスタ東三河」開催年度（H28.7.16～H28.7.31）

[指 標]

指 標 名：ポートインフォメーションセンター1日当たりの利用者数  
 指標説明：利用者数／開館日数



3 海フェスタ東三河開催事業費 35,500,000円（みなと振興課）

[総 括]

愛知県東三河地域の大切な海・川・港についての魅力や重要性を次の世代へつなげる機会とし、三河港の活性化、東三河地域全体の連携や発展に寄与するとともに、多彩で豊かな地域資源や素晴らしい観光の魅力を全国に発信し、交流人口の獲得、拡大に向かう大きな契機とするため、東三河8市町村の連携のもとに海フェスタ東三河を平成28年7月16日から7月31日までの期間開催した。

メイン会場であるライフポートとよはし及びポートインフォメーションセンターは多くの企業、団体による「海の総合展」のほか、東三河物産展、交流ステージなどを開催した。また、岸壁会場では、護衛艦、大型帆船などの一般公開や体験航海など様々なイベントを実施し、海フェスタ東三河全体では146万人の来場があった。

[実績及び成果]

(1) 海フェスタ東三河開催事業負担金 35,500,000円

補 助 金	平成27年度	平成28年度
	6,937,521円	35,500,000円

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5項 都市計画費	3,432,573,166	598,594,200	47,400,000	17,439,808	2,769,139,158
2目 公園緑地費 <公園・緑地の充実>	791,679,279	39,227,200	15,700,000	3,873,557	732,878,522

1 公園施設維持管理事業費 628,115,846円 (公園緑地課)

[総括]

安全で、潤いのある都市空間を確保するため、市内540箇所の公園・緑地・遊園・ちびっこ広場等を適正に管理するとともに、公園施設の安全点検や照明灯・遊具の更新等を行った。今後も公園施設の維持管理を計画的・効率的に行うことによりコストの低減を図る。

[実績及び成果]

(1) 公園維持管理事業費 493,990,448円

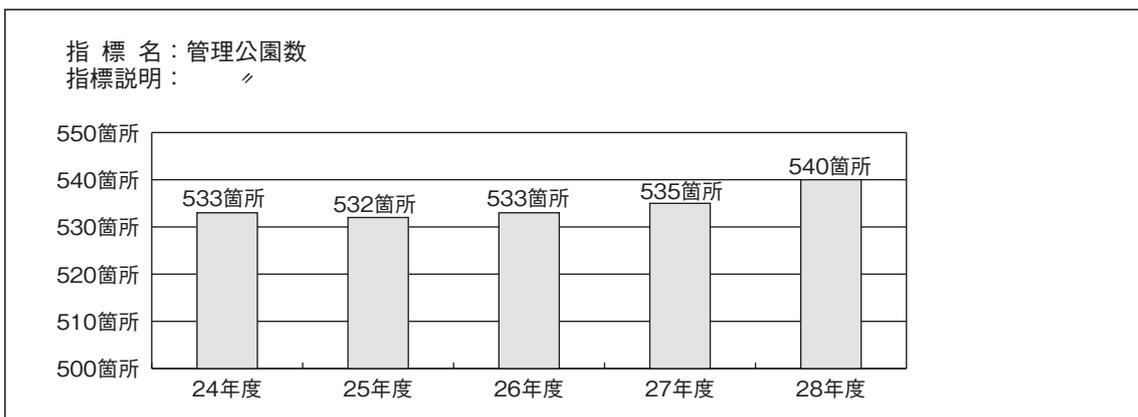
除草清掃・施設管理委託等	平成27年度	平成28年度
		高師緑地始め535箇所

(2) 公園修繕事業費 134,125,398円

(国庫補助事業 38,372,400円 市単独事業 95,752,998円)

内 容	平成27年度	平成28年度
照 明 灯 修 繕	中沢公園ほか	幸公園ほか
遊 具 補 修	小畷公園ほか	多米公園ほか
諸施設及び塗装修繕等	飯村公園ほか	岩田運動公園ほか
外 柵 修 繕	中郷公園ほか	寺東公園ほか
照 明 灯 更 新	向山緑地ほか	高師緑地ほか
遊 具 更 新	草間公園ほか	高師本郷公園ほか

[指 標]



2 公園緑地整備事業費 39,457,760 円（公園緑地課）

[総括]

安全で、潤いのある都市空間を創出するため、坂津公園及び三ツ口池広場の整備を推進した。今後も標準配置に則した公園等の整備を推進する。

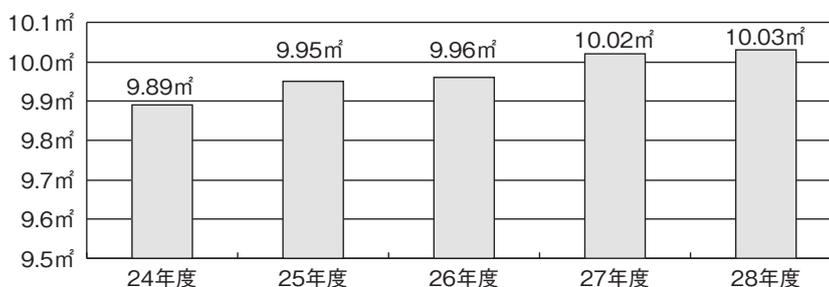
[実績及び成果]

(1) 街区公園等整備事業費 39,457,760 円  
 (国庫補助事業 35,000,000 円 県費補助事業 2,541,440 円 市単独事業 1,916,320 円)

公園名	平成27年度	平成28年度
坂津公園ほか	公園整備	公園整備
三ツ口池広場ほか	広場整備	広場整備

[指標]

指標名：市民1人当たりの都市公園面積  
 指標説明：都市公園面積／人口



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 緑化・美化活動費 <緑化・美化活動の推進>	487,617,311	45,488,000	0	300,000	441,829,311

1 緑化維持管理事業費 323,361,486円 (公園緑地課)

[総括]

緑に囲まれた良好なオープンスペースを確保するとともに、地域の景観の維持を図るため、街路樹及び公園樹の剪定、刈り込み、施肥等を行った。今後も市民の安全に配慮した維持管理を推進する。

[実績及び成果]

(1) 街路樹等維持管理事業費 186,742,987円

路 線 名	平成27年度	平成28年度
		菰口町・旭町1号線始め277路線

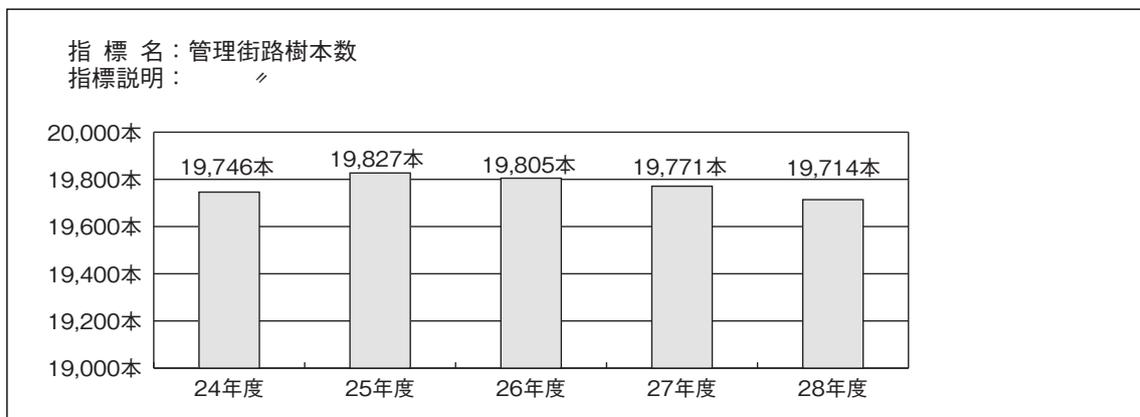
(2) 公園樹等維持管理事業費 134,119,379円

公 園 名	平成27年度	平成28年度
		牛川遊歩公園始め390公園

(3) 街路樹等維持補修事業費 2,499,120円

路 線 名	平成27年度	平成28年度
		北岩田・多米中町17号線

[指 標]



2 緑化推進事業費 153,196,973円 (公園緑地課)

[総括]

市民参加型の緑化活動を推進するため、花交流フェア等を開催するとともに、都市景観の向上を図るため、路面電車の軌道緑化を行った。今後も緑豊かな景観の創出、都市活動に伴う環境負荷の低減を図るため緑化を推進する。

[実績及び成果]

(1) 街路樹等緑化推進事業費 24,588,790円  
(県費補助事業 21,240,790円 市単独事業 3,348,000円)

内 容	平成27年度	平成28年度
		前田町・向山大池町17号線ほか 高木植栽 ハナミズキほか 36本 地被類植付 マツバギクほか 1,718株

(2) 公園樹等緑化推進事業費 2,191,140 円

植栽及び更新工事	平成27年度			平成28年度		
		牟呂内田公園ほか 高木植栽 ソメイヨシノほか 9本			桜ヶ丘公園ほか 中低木植栽 サザンカほか 52本	

(3) 花交流フェア開催事業費 561,458 円

区 分	平成27年度	平成28年度
花壇等出展者数	61個人・団体	67個人・団体
来場者数	21,000人	24,000人

(4) 民有地緑化推進事業補助金 2,174,000 円

(県費補助事業 2,174,000 円)

内 容	平成27年度	平成28年度
		0件

(5) とよはし緑の日事業費 2,815,400 円

(県費補助事業 2,815,400 円)

参 加 者 数	平成27年度	平成28年度
		160人

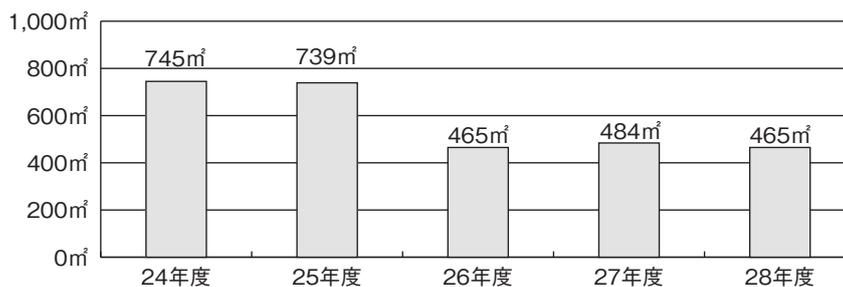
(6) 軌道緑化整備事業費 120,866,185 円

(県費補助事業 67,036,638 円 市単独事業 53,829,547 円)

内 容	平成27年度	平成28年度
		329㎡

[指 標]

指 標 名：街路・公園に植栽した緑被及び花壇の面積  
 指標説明： //



3 公園等維持管理事業費 9,907,670 円（公園緑地課）

[総括]

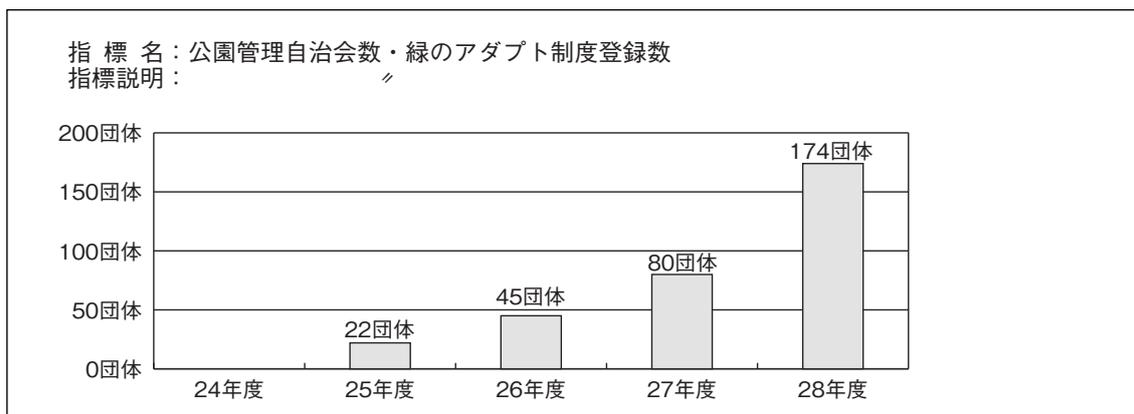
市民の公園及び街路樹への愛着心や美化意識の向上を図るため、市民協働で公園や街路樹周辺の美化活動を行った。今後も、市民、事業者、行政の協働によって美化活動を推進する。

[実績及び成果]

(1) 公園等美化活動事業費 9,907,670 円

区 分	平成27年度	平成28年度
公園管理自治会数	26自治会	32自治会
緑のアダプト制度登録数	54団体	142団体

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 スポーツ公園整備費 <スポーツ環境の整備充実>	61,782,197	17,625,000	31,700,000	0	12,457,197

1 総合スポーツ公園整備事業費 61,782,197円 (公園緑地課)

[総括]

多世代の市民がスポーツやレクリエーションに親しめる公園として整備するため、C地区の未買収用地の一部を取得した。今後は未整備地区の整備方針も含め、スポーツ施設及び災害時の広域防災活動拠点としての機能のさらなる充実を図る。

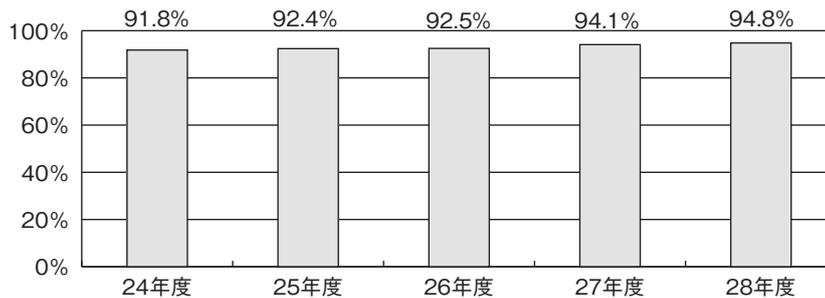
[実績及び成果]

- (1) 総合スポーツ公園整備事業費 61,782,197円  
 (国庫補助事業 52,877,000円 市単独事業 8,905,197円)

内 容	平成27年度	平成28年度
	用地	11,592.51㎡

[指標]

指標名：総合スポーツ公園整備事業進捗率  
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成10年度～32年度)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 都市計画推進費 <コンパクトなまちづくりの推進>	38,560,287	5,984,000	0	0	32,576,287

1 都市計画推進事業費 38,560,287円 (都市計画課)

[総括]

コンパクトで暮らしやすいまちを実現するため、将来的な都市構造の見通し等を踏まえ、立地適正化計画都市機能誘導区域編を策定した。また、南栄駅周辺地区の地域拠点としての将来構想(素案)や将来構想実現に向けた取組(案)を策定した。

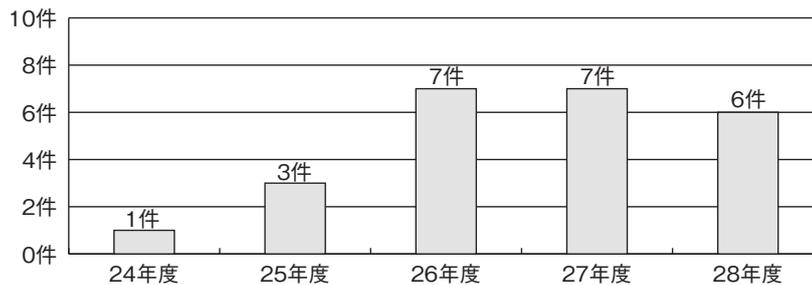
[実績及び成果]

(1) 都市計画事務費 24,750,004円

内 容	平成27年度	平成28年度
		豊橋市立地適正化計画作成業務 都市計画道路構造検討調査

[指標]

指標名：都市計画審議会において議決・報告された都市計画決定・変更等の件数  
 指標説明：  
 //



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 中心市街地再開発費 ＜魅力ある中心市街地の整備＞	659,729,774	486,922,000	0	385,117	172,422,657

1 再開発推進事業費 425,191円 (まちなか活性課)

[総括]

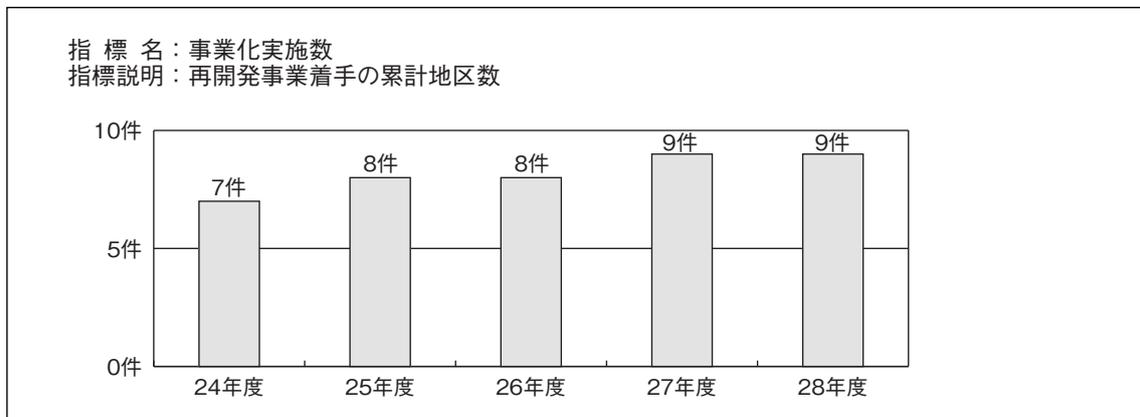
駅前大通二丁目地区等の再開発の事業主体に対し、支援、指導を行った。今後も事業進捗を図るほか、老朽した街区の更新を検討している地区に対して、事業化に向けた調整を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 再開発推進事務費 425,191円

事業費	平成27年度	平成28年度
		472,167円

[指標]



2 市街地再開発事業等補助金 598,000,000円 (まちなか活性課)

[総括]

都心居住の促進や集客施設の整備を図り、中心市街地の活性化に繋げるため、駅前大通三丁目地区優良建築物等整備事業の建築工事、駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発事業の地質調査、東棟の実施設計及び権利変換計画の作成に対し、助成を行った。なお、駅前大通三丁目地区は事業が完了し82戸の住宅供給を行った。

[実績及び成果]

(1) 駅前大通三丁目地区優良建築物等整備事業補助金 373,000,000円

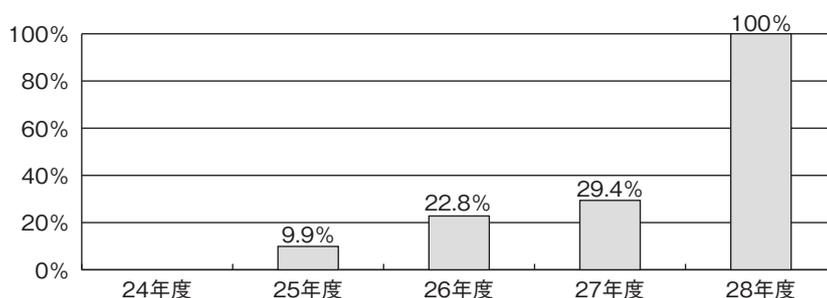
補助金	平成27年度	平成28年度
		68,400,000円

(2) 駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発事業補助金 225,000,000円

補助金	平成27年度	平成28年度
		197,600,000円

[指標]

指標名：駅前大通三丁目地区優良建築物等整備事業進捗率  
 指標説明：累積直接事業費／全体累積事業費(平成25年度～28年度)(補助金ベース)



3 まちなか広場（仮称）整備事業費 37,282,560 円（まちなか活性課）

[総括]

駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発事業と一体的に整備するまちなか広場（仮称）について、平成27年度に地元住民や再開発関係者等と策定した基本計画を基に、市街地再開発組合が行った実施設計に対し負担金を支出した。

[実績及び成果]

(1) まちなか広場（仮称）整備事業費 37,282,560 円

内 容	平成27年度	平成28年度
	豊橋市まちなか広場（仮称） 基本計画の策定等	豊橋市まちなか広場（仮称） 実施設計公共施設管理者負担金等

4 まちなか図書館（仮称）整備事業費 1,455,968 円（まちなか図書館整備推進室）

[総括]

駅前大通二丁目地区において市街地再開発事業により整備される再開発ビル内へ導入するまちなか図書館（仮称）について、再開発事業の進捗に合わせ、基本設計に着手した。また、開館に向け、イベント、講座等のプレ事業の実施や情報紙の発行により、連携する地域人材との関係構築や市民理解の促進を図った。

[実績及び成果]

(1) まちなか図書館（仮称）整備事業費 1,455,968 円

内 容	平成27年度	平成28年度
	豊橋市まちなか図書館（仮称） 実施計画の策定	再開発ビル実施設計との調整 地域連携等促進事業の実施

5 中心市街地環境整備事業費 11,911,110 円（まちなか活性課）

[総括]

豊橋駅西口駅前地区において、駅利用者の利便性の向上や魅力的な駅前空間形成を図るため、西口駅周辺におけるバス等の駐車対策の検討や、駅前広場整備の概略検討を行った。また、中心市街地に「歩く楽しみ」という新たな魅力を加えるストリートデザイン事業では、対象路線の萱町通り、水上ビル（北側）の沿線住民や商店主等とワークショップを行い基本計画を策定した。

[実績及び成果]

(1) 豊橋駅西口駅前地区活性化推進事業費 1,814,400 円

内 容	平成27年度	平成28年度
	豊橋駅西口駅前地区活性化基礎調査	

(2) ストリートデザイン事業費 10,096,710 円

内 容	平成27年度	平成28年度
	ストリートデザイン基礎調査	

6 中心市街地活性化推進事務費 1,103,058 円（まちなか活性課）

[総括]

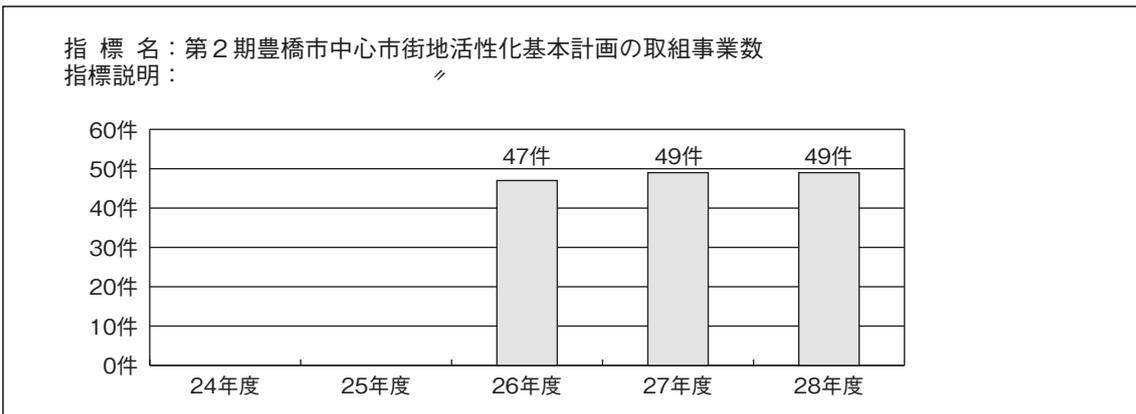
中心市街地活性化のため、中心市街地活性化基本計画の進捗状況を確認する通行量調査を実施した。今後も計画のフォローアップを行い、中心市街地の活性化に向けた取組を着実に推進していく。

[実績及び成果]

(1) 中心市街地活性化推進事務費 1,103,058 円

内 容	平成27年度	平成28年度
	中心市街地通行量調査	

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 まちづくり景観形成費 <調和のとれた景観の形成>	4,365,971	0	0	950,036	3,415,935

1 まちづくり景観推進事業費 4,365,971円 (都市計画課)

[総括]

豊橋らしい美しいまちをつくるため、二川宿景観形成地区の住民団体への支援や良好な建築行為に対する助成などを行った。今後も市民と協働による取組みを進め、調和のとれた景観形成をめざしていく。

[実績及び成果]

(1) 都市景観推進事業費 911,935円

助 成 金	平成27年度		平成28年度	
		1件	300,000円	1件

(2) まちづくり景観形成助成金 2,504,000円

(ア) まちづくり景観形成整備事業助成金 2,504,000円

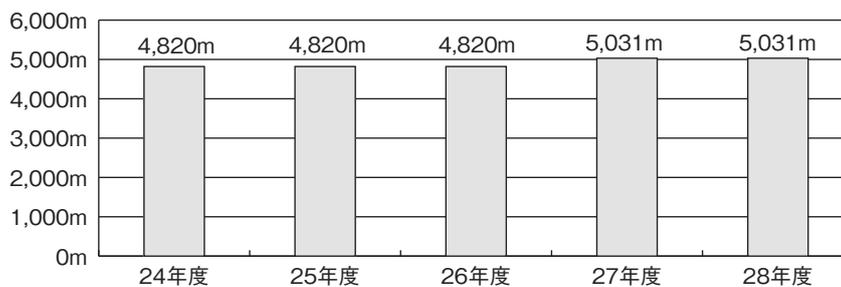
助 成 金	平成27年度		平成28年度	
		5件	2,727,000円	4件

(3) 屋外広告物対策事業費 950,036円

区 分	平成27年度	平成28年度
許 可 件 数	595件	659件
違反屋外広告物撤去件数	64	226

[指 標]

指 標 名：景観形成地区内道路延長  
 指標説明： //



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 公共交通活性化費 <公共交通の利便性向上>	17,276,809	0	0	204,458	17,072,351

1 公共交通活性化事業費 13,820,903 円 (都市交通課)

[総括]

「豊橋市都市交通計画 2016-2025」の基本理念でもある「多様な交通手段を誰もが使い、過度に自家用車に頼ることなく生活・交流ができる都市交通体系の構築」をめざすため、幹線バスの終バスの延長の実施など、幹線的な公共交通の運行サービスの向上を図った。また、高齢者向けの定期券「元気バス」の購入助成を実施し、路線バスの利用促進を図った。今後も市民等の公共交通に対する意識変革を促すとともに、公共交通の利便性の向上を図る。

[実績及び成果]

(1) 都市交通計画推進事業費 13,720,903 円

(ア) 路面電車停留場バリアフリー化補助金 3,545,000 円

内 容	平成 27 年度	平成 28 年度
	前畑停留場バリアフリー化調査設計	

(イ) 路線バス利用促進事業費 8,787,621 円

〔幹線バス終バス延長実施事業〕

幹線バスの終バスを 延長した路線数	平成 27 年度	平成 28 年度
		—

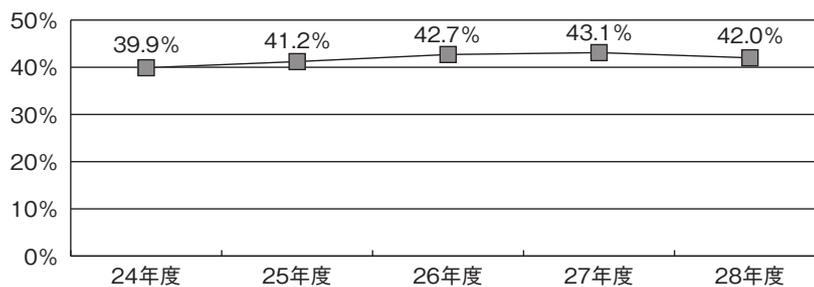
〔高齢者路線バス利用促進事業〕

元気バスの助成者数	平成 27 年度	平成 28 年度
		—

[指 標]

指 標 名：「公共交通の利用のしやすさ」に関する満足度評価

指標説明：市民意識調査による「公共交通の利用のしやすさ」に関する満足度評価で満足と評価した割合

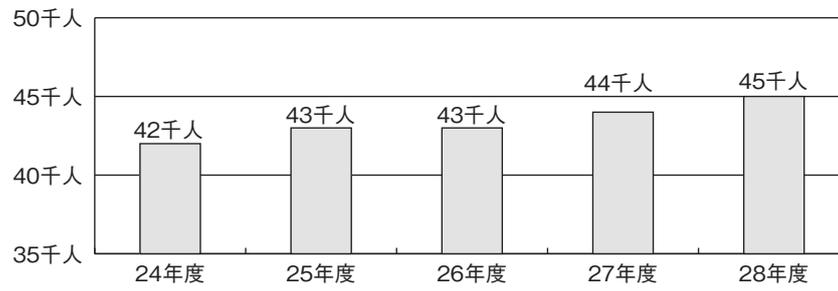


科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9目 公共交通対策費 <公共交通の維持と利用促進>	126,864,384	0	0	5,091,154	121,773,230
1 公共交通対策事業費 126,864,384円 (都市交通課)					
[総括]					
利用しやすく持続可能な公共交通とするため、交通施設等の改修や更新に必要な支援を行った。また、公共交通空白地域においては、日常の移動手段を確保するため、地域住民が主体となり「地域生活」バス・タクシーの実証運行を川北地区で実施するとともに、東部地区等の4地区において本格運行事業を実施した。今後も地域住民とともに、「地域生活」バス・タクシー運行事業を推進していく。					
[実績及び成果]					
(1) 公共交通対策事業費 126,864,384円					
(ア) 渥美線橋梁耐震化対策事業補助金 1,689,000円					
実施箇所		平成27年度		平成28年度	
		植田川橋梁、植田第1避溢橋		植田第2避溢橋	
(イ) 路面電車軌道敷整備事業補助金 30,197,000円					
内 容		平成27年度		平成28年度	
		東田電停交差点軌道敷整備		東田交差点軌道敷整備	
(ウ) バス運行対策費補助金 59,335,000円					
補助路線数		平成27年度		平成28年度	
		10路線		10路線	
(エ) 「地域生活」バス・タクシー運行事業費 7,297,666円					
実証運行地区		平成27年度		平成28年度	
		南部地区、前芝地区、川北地区		川北地区	
(オ) 「地域生活」バス・タクシー運行事業補助金 25,456,354円					
本格運行地区		平成27年度		平成28年度	
		東部地区、北部地区		東部地区、北部地区 南部地区、前芝地区	
(カ) 「地域生活」バス・タクシー運営経費補助金 892,704円					
運営団体数		平成27年度		平成28年度	
		7団体		7団体	

[指 標]

指 標 名：公共交通の1日当たりの利用者数

指標説明：渥美線、路面電車、路線バス、「地域生活」バス・タクシーの利用者数／運行日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10目 自転車活用推進費 <自転車活用の推進>	6,876,511	3,348,000	0	0	3,528,511

1 自転車活用推進事業費 6,876,511 円 (都市交通課)

[総括]

まちなかにおける駐輪環境の向上をめざすため、まちなか駐輪環境基礎調査を実施することで効果的な駐輪施策の検討を行った。

今後も平成26年3月に策定した「豊橋市自転車活用推進計画」に基づき、市民、企業、学校、各種関係団体、国、県などとの連携・協働のもと、自転車の利用環境の整備や利用啓発活動等の取組みを進める。

[実績及び成果]

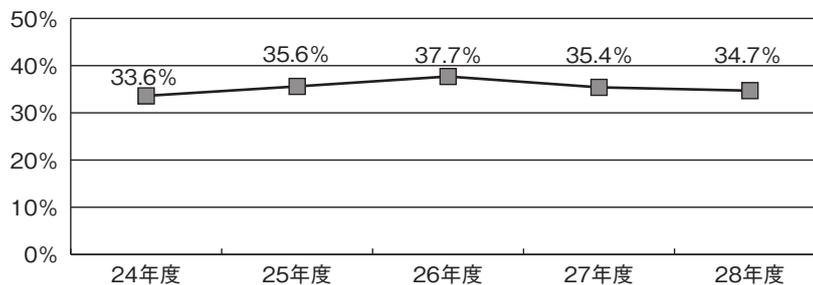
(1) 自転車活用推進事業費 6,876,511 円

内 容	平成27年度	平成28年度
	自転車活用推進委員会等の開催(2回) まちなか駐輪環境向上の検討 自転車安全・快適利用啓発用バスステッカーの貼付	自転車活用推進委員会等の開催(2回) まちなか駐輪環境基礎調査

[指標]

指標名：「自転車の利用のしやすさ」に関する満足度評価

指標説明：市民意識調査による「自転車の利用のしやすさ」に関する満足度評価で満足と評価した割合



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6項 区 画 整 理 費	1,813,821,940	351,708,770	807,100,000	57,367,585	597,645,585
2目 市 街 地 整 備 費 <コンパクトなまちづくりの推進>	1,648,830,250	351,708,770	807,100,000	57,337,185	432,684,295

1 牟呂坂津土地区画整理事業費 444,073,250円 (区画整理課)

[総括]

道路築造工事及び宅地造成工事を施工するとともに、建物、工作物、電柱、水道管等の移転・移設補償を行った。今後も地権者の理解を得ながら、事業の早期完了に向けて、建物等移転補償、道路築造、宅地造成等を計画的に進め、事業推進を図る。

[実績及び成果]

(1) 牟呂坂津土地区画整理事業費 444,073,250円  
(国庫補助事業 292,657,901円 市単独事業 151,415,349円)

(ア) 道路築造費 42,838,200円

内 容	平成27年度	平成28年度
	延長 886m	延長 823m

(イ) 宅地造成費 7,437,960円

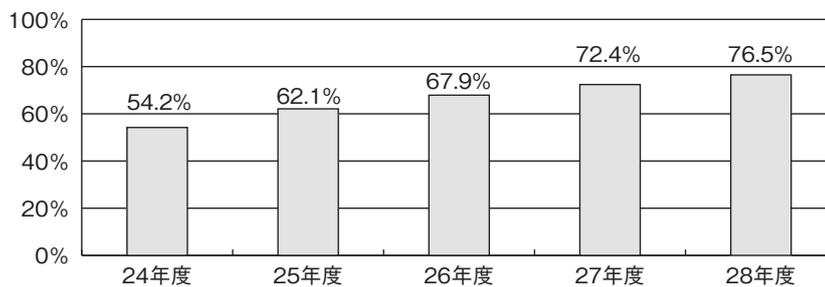
内 容	平成27年度	平成28年度
	面積 10,085㎡	面積 3,651㎡

(ウ) 補償費 326,990,522円

内 容	平成27年度	平成28年度
	建物 9戸 工作物、電柱 水道管移設 403m	建物 11戸 工作物、電柱 水道管移設 326m

[指標]

指標名：牟呂坂津土地区画整理事業進捗率  
指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成13年度～35年度)



※平成28年度の事業計画変更による全体直接事業費にて再算定

2 組合土地区画整理推進事業費 1,201,757,000 円（区画整理課）

[総括]

土地区画整理事業の円滑な推進を図るため、牛川西部及び柳生川南部の各土地区画整理組合に対し指導・監督を行うとともに、助成した。また、牛川西部及び柳生川南部の各土地区画整理組合が行った事業に対し負担金を支出した。今後も各組合に対して指導を行い、早期に事業が完了するよう努める。

[実績及び成果]

(1) 牛川西部土地区画整理推進事業費 595,794,500 円

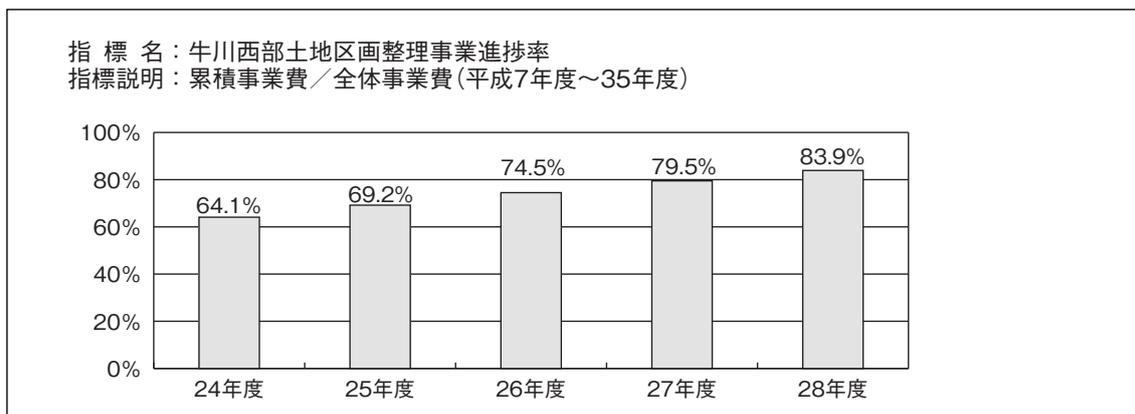
(ア) 土地区画整理事業補助金 559,727,000 円

補助金	平成27年度	平成28年度
	595,100,000円	559,727,000円

(イ) 土地区画整理事業負担金 36,067,500 円

負担金	平成27年度	平成28年度
	33,705,000円	36,067,500円

[指標]



※平成28年度の事業計画変更による全体事業費にて再算定

(2) 柳生川南部土地区画整理推進事業費 605,962,500 円

(ア) 土地区画整理事業補助金 544,020,000 円

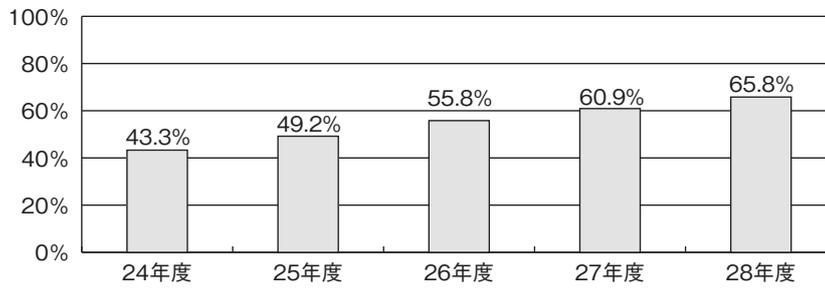
補助金	平成27年度	平成28年度
	651,900,000円	544,020,000円

(イ) 土地区画整理事業負担金 61,942,500 円

負担金	平成27年度	平成28年度
	25,470,000円	61,942,500円

[指 標]

指 標 名：柳生川南部土地区画整理事業進捗率  
指標説明：累積事業費／全体事業費(平成14年度～33年度)



※平成 28 年度の事業計画変更による全体事業費にて再算定

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9 款 消 防 費	3,698,355,485	88,683,103	239,400,000	119,337,956	3,250,934,426
1 項 消 防 費	3,698,355,485	88,683,103	239,400,000	119,337,956	3,250,934,426
2 目 消 防 費 < 消防体制の充実 >	952,783,097	75,503,768	228,300,000	102,669,526	546,309,803

1 通信指令事業費 166,370,785 円 (通信指令課)

[総括]

複雑多様化する災害から地域住民を守るため、119番緊急通報を受け高機能消防通信指令システムを活用することにより、効率的に災害発生場所を特定し、迅速な対応を図ることで被害の軽減に努めた。また、通報内容に応じて応急手当ての口頭指導を行うなど、傷病者の救命効果の向上に努めた。今後も、119番緊急通報の集中する大規模広域災害を想定した訓練を実施していくことで、東三河地域の災害対応力の強化を図る。

[実績及び成果]

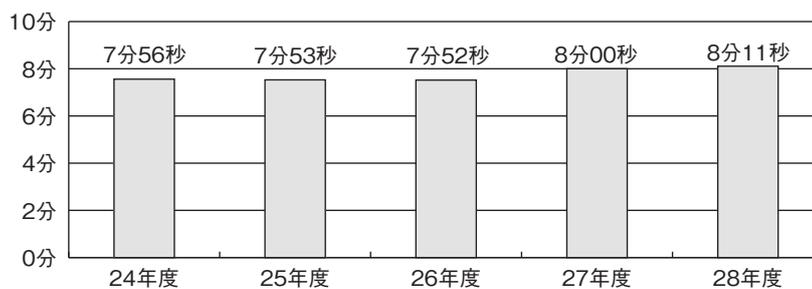
(1) 通信指令事業費 166,370,785 円

[受信内訳]

内 容	平成27年度	平成28年度	比 較
119番通報件数	19,629件	19,405件	△ 1.1%
固定電話	7,496	7,233	△ 3.5
携帯電話	8,295	8,470	2.1
I P 電 話	3,838	3,702	△ 3.5

[指標]

指標名：119番(火災・救急・救助等)受信から現場到着時間  
指標説明：〃



2 消防署所車両等設備管理事業費 161,954,821 円 (消防救急課)

[総括]

複雑多様化する各種災害、増加する救急需要に万全を期すため、車両及び活動用資機材の点検整備、修繕により維持管理を徹底するとともに、老朽化に伴う車両の計画的更新整備により消防体制の強化充実を図った。

[実績及び成果]

(1) 消防署所車両等設備管理事業費 161,954,821 円

[緊急車両更新]

内 容	平成27年度		平成28年度	
	高規格救急自動車	1台	化学消防ポンプ自動車	1台
		消防ポンプ自動車	1	
		高規格救急自動車	1	

3 警防活動費 8,025,996 円 (消防救急課)

[総括]

市民の生命、身体及び財産を火災から守り、被害を最小限に抑えるため、消防機械器具の整備や消防隊員の知識、技術の向上に努めた。特に、若年層消防隊員の知識・技術の向上を図るため、計画的に訓練を実施し、消防活動体制の維持・向上に努めた。また、発生が危惧される地震等の大規模災害や複雑多様化する災害に対応するため、今後も各種災害想定訓練を実施するなど災害対応力の強化を図る。

[実績及び成果]

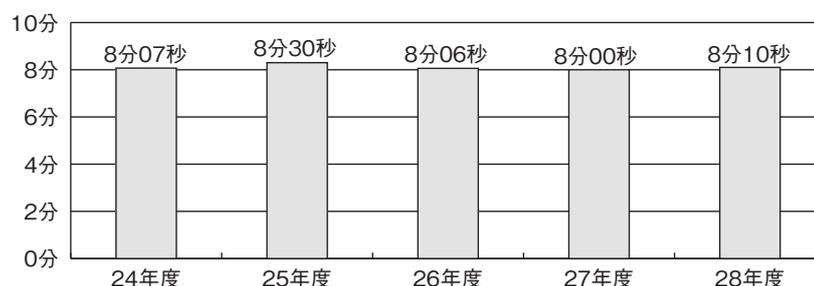
(1) 警防活動費 8,025,996 円

[火災発生状況]

区 分	平成27年度	平成28年度	比 較
出 火 件 数	108件	83件	△23.1%
り 災 棟 数	89棟	49棟	△44.9
り 災 世 帯	55世帯	17世帯	△69.1
り 災 人 員	133人	57人	△57.1
焼 損 面 積 (建物)	2,702㎡	2,497㎡	△ 7.6
損 害 額	234,645千円	121,330千円	△48.3

[指 標]

指 標 名：火災出動から放水開始までの時間  
 指標説明：火災出動から先着隊の放水開始までの時間



4 消防団活動事業費

148,280,158 円 ((消) 総務課)

[総括]

消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律により、平成 25 年度に「消防団の装備の基準」が改正された。これを受け、消防団員の安全確保のための装備品を充実させるとともに、消防署との合同訓練や災害時活動マニュアル研修会を実施し、災害対応能力の向上に努めた。また、入団促進のため、基本団員・機能別団員募集リーフレットの作成及び配布を行ったほか、「シャッターアートプロジェクト」として次世代の地域防災を担う小学生と協力し、消防団器具庫のシャッターにデザイン画を描き、地域へのPRや消防団に対する理解の促進を図った。

[実績及び成果]

(1) 消防団員管理事業費 139,678,158 円

[災害・公務出勤人数]

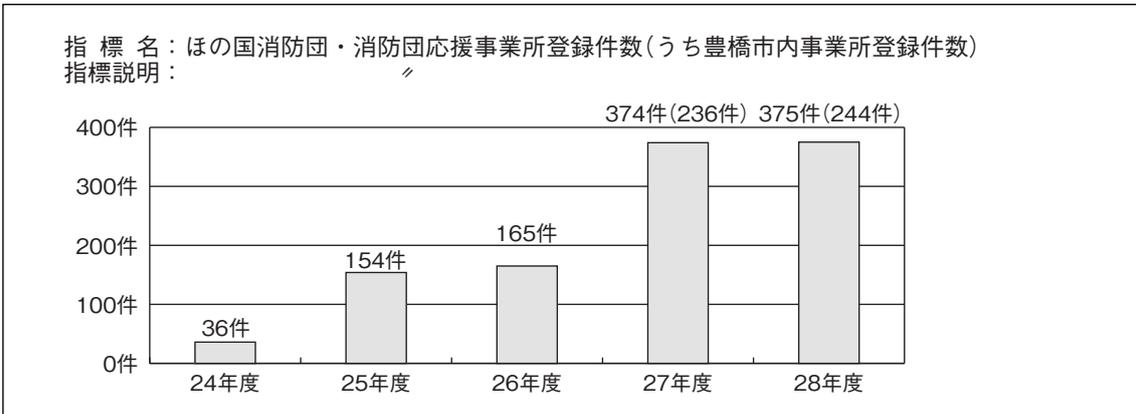
区 分	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	比 較
災 害 出 動	3,807人	2,627人	△31.0%
公 務 出 動	10,737	10,698	△ 0.4

(2) 消防団交付金 8,602,000 円

[交付金内訳]

区 分	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度
消 防 団 交 付 金	800,000円	800,000円
方 面 隊 交 付 金	688,000	688,000
分 団 交 付 金	6,815,800	6,814,000
消防はしご登り保存会交付金	300,000	300,000
計	8,603,800	8,602,000

[指 標]



※ 24 年度～ 26 年度は「ええじゃないか消防団・消防団応援事業所」の登録件数

5 前芝出張所施設整備事業費 100,567,697 円 ((消) 総務課)

[総括]

消防防災活動拠点の強化を図るため、中消防署前芝出張所の移転・建替えに向け、用地取得、用地測量、地質調査、基本設計を実施した。

[実績及び成果]

(1) 前芝出張所施設整備事業費 100,567,697 円

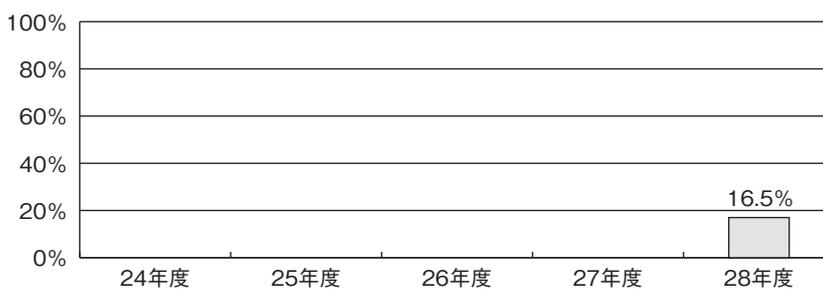
[施設整備]

内 容	平成27年度	平成28年度
	—	建設用地取得 用地測量 地質調査 基本設計

[指標]

指標名：前芝出張所施設整備事業進捗率

指標説明：累積実施事業費／総事業費(平成28年度～32年度)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 救 急 救 命 費 <救急救命体制の充実>	52,085,525	12,475,884	11,100,000	0	28,509,641

1 救急事業費 47,564,698 円 (消防救急課)

[総括]

救命率の向上を図るため、救急救命士の養成や処置範囲の拡大への対応、また、医療機関との連携強化など救急救命体制の充実に努めるとともに、市民や事業所と協働した救命講習を実施し応急手当の普及啓発に努めた。今後も救急に対する市民ニーズに応えるため、救急の高度化と応急手当の普及啓発を推進し救急救命体制の充実強化を図る。

[実績及び成果]

(1) 救急高度化事業費 45,991,937 円

研修派遣内訳		平成27年度	平成28年度
救 急 救 命 士	救急救命士養成	1人	1人
	包括運用教育講習	6	4
	気管挿管運用試験	1	2
	薬剤投与運用試験	6	4
	処置範囲拡大追加講習	14	5
救急隊員資格取得		25	21

(2) 応急手当普及啓発事業費 1,445,413 円

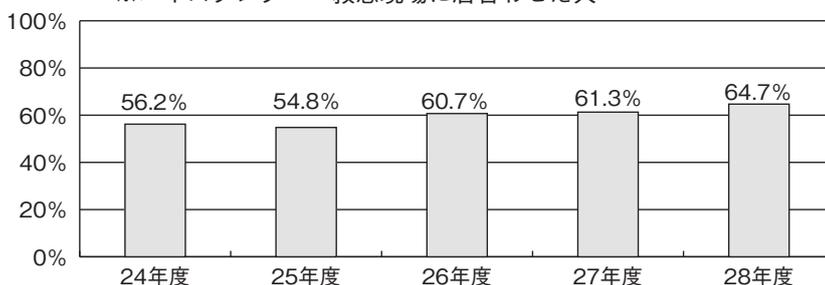
救命講習内訳	平成27年度	平成28年度	比較
応急手当指導員	43人	32人	△25.6%
応急手当普及員	45	51	13.3
普通救命	4,738	3,981	△16.0
上級救命	57	51	△10.5
その他講習	6,288	5,658	△10.0
救命入門コース	1,651	1,437	△13.0
計	12,822	11,210	△12.6

(3) 救急活動費 127,348 円

救急発生状況内訳	平成27年度	平成28年度	比較
急病	9,415件	9,465件	0.5%
一般負傷	1,745	1,841	5.5
交通事故	1,331	1,305	△2.0
労働災害	114	124	8.8
運動競技	108	91	△15.7
加害	67	64	△4.5
その他	1,730	1,733	0.2
計	14,510	14,623	0.8

[指 標]

指 標 名：心肺停止傷病者に対するバイスタンダーの処置率(胸骨圧迫)  
 指標説明：通報時、心肺停止状態の傷病者に対しバイスタンダーが応急処置を施した割合  
 ※バイスタンダー…救急現場に居合わせた人



2 救助事業費 4,520,827 円 (消防救急課)

[総 括]

市民の生命、身体及び財産を災害から守るため、救助隊員の知識、技術の向上に努めた。今後も、発生が危惧される地震等の大規模災害や複雑多様化する災害に対応するため、救助隊員の育成と救助活動の充実強化を図る。

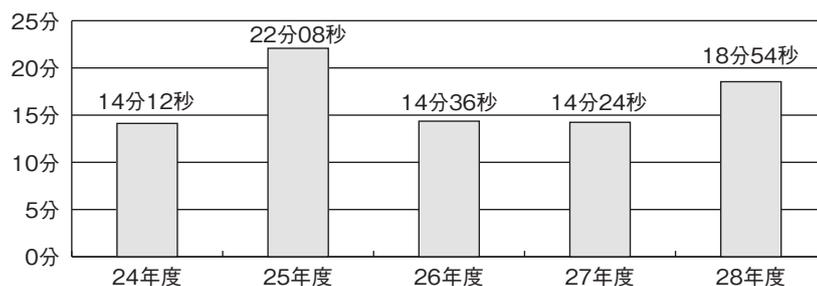
[実績及び成果]

(1) 救助事業費 4,520,827 円

救助発生状況内訳		平成27年度	平成28年度	比 較
火 災	建 物	50件	24件	△ 52.0%
	建 物 以 外	7	7	0.0
火災以外の事故	交 通	41	53	29.3
	水 難	4	3	△ 25.0
	自 然 災 害	0	0	—
	機 械 に よ る	7	5	△ 28.6
	建 物 等 に よ る	30	29	△ 3.3
	ガ ス 及 び 酸 欠	0	1	皆増
	破 裂	0	0	—
	そ の 他	40	34	△ 15.0
計		179	156	△ 12.8

[指 標]

指 標 名：現場到着から救助完了までの時間  
 指標説明：救助隊の現場到着から救助完了までの時間



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 火災予防費 <火災予防対策の推進>	10,069,523	0	0	0	10,069,523

1 火災予防対策事業費 10,069,523円 (予防課)

[総括]

火災予防対策の推進及び防火意識の高揚を図るため、各種研修会、秋・春の火災予防運動及び防火教室等を実施した。また、豊橋まつり等でキャンペーンを実施し、住宅用火災警報器の設置及び維持管理の促進に努めた。

今後も、引き続き火災予防対策を推進するとともに、防火対象物の違反是正に向けた査察体制の強化及び街頭消火器の未整備地域への設置を促進する。

[実績及び成果]

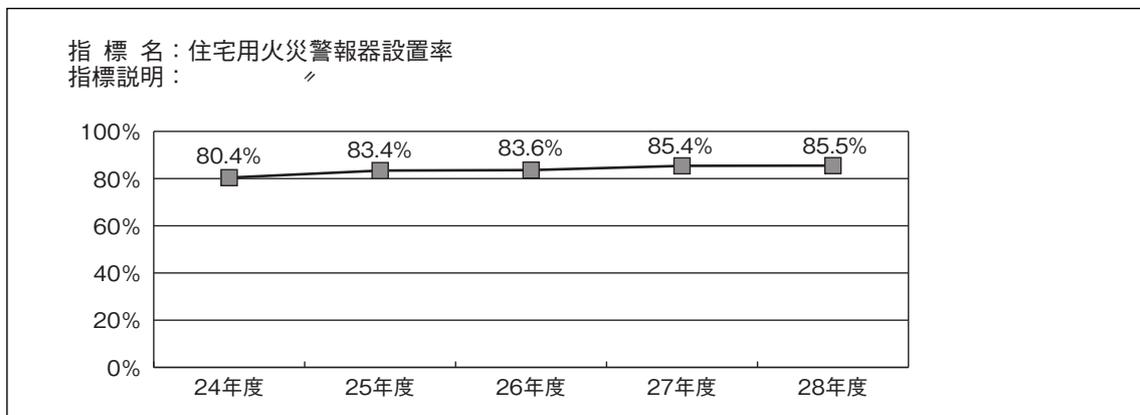
(1) 火災予防啓発事業費 3,418,223円

啓 発 区 分	平成27年度	平成28年度	比 較
啓 発 イ ベ ン ト	6回	7回	16.7%
講 習 会	9	9	0.0
老人クラブ防火教室等	8	12	50.0
女性防火クラブ研修等	11	13	18.2
少年消防クラブ防火教室等	29	30	3.4
計	63	71	12.7

(2) 街頭消火器設置費等補助金 6,651,300円

補 助 内 訳	平成27年度	平成28年度	比 較
消 火 器 更 新	926件	867件	△ 6.4%
収 納 箱 更 新	454	381	△16.1
薬 剤 更 新	24	4	△83.3
消 火 器 新 規 設 置	0	50	皆増
火災使用薬剤詰替(街頭消火器)	3	10	3.3倍
火災使用薬剤詰替(一般消火器)	14	12	△14.3%
計	1,421	1,324	△ 6.8

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10款 教 育 費	11,286,722,473	454,758,513	1,052,200,000	1,779,725,521	8,000,038,439
1項 教 育 総 務 費	2,216,843,609	22,210,025	56,400,000	60,287,744	2,077,945,840
3目 教育活動推進費 <「この子の輝く学び」の創造>	738,476,836	13,115,000	0	2,060,032	723,301,804

1 教育相談事業費 148,111,897円 (学校教育課)

[総括]

外国人児童生徒教育相談員等による教育相談や学校生活適応指導など、外国人児童生徒や保護者に対する支援の充実に努めた。また、児童生徒の教育にかかわる問題について、教育相談員や臨床心理士等がそれぞれの専門的立場で連携して教育相談を実施するとともに、教育支援コーディネーターが関係機関や関係者と連携し、児童生徒や保護者が置かれた環境に働きかけた。その他、心理判定員による発達検査に基づいた就学相談を実施するとともに、生活サポート非常勤講師の配置や適応指導教室の運営を通して、不登校傾向にある児童生徒の早期発見、学校復帰に向けた支援を行った。今後も学校や関係機関と連携しながら、児童生徒の支援のため効果的な教育相談活動に努める。

[実績及び成果]

(1) 外国人児童生徒教育相談事業費 70,817,687円

区 分	平成27年度	平成28年度
外国人児童生徒教育相談コーディネーター	相談件数 1,606件	相談件数 1,768件
外国人児童生徒教育相談員	学校常駐 5人 学校巡回 11	学校常駐 5人 学校巡回 11
外国人児童生徒対応スクールアシスタント	延 4,138時間	延 4,013時間
登録バイリンガルボランティア	延 1,951	延 1,904

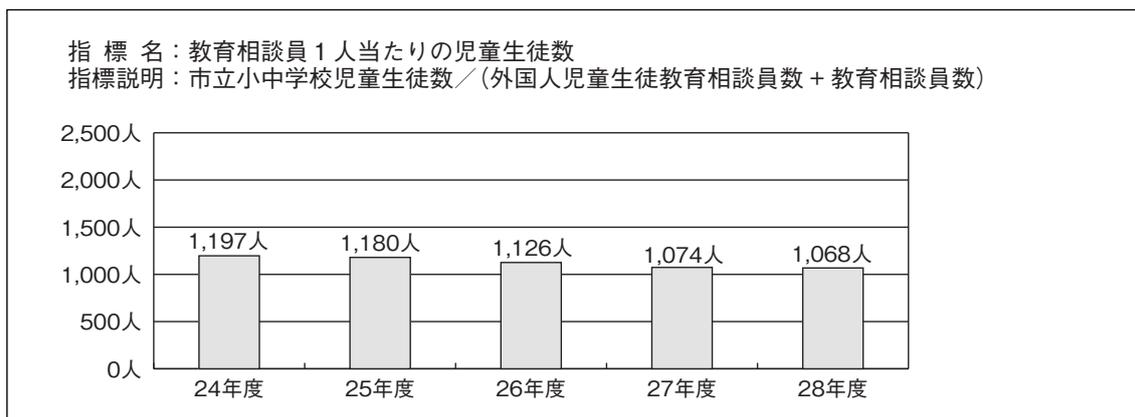
(2) 教育相談活動事業費 37,335,094円

区 分	平成27年度	平成28年度
教育支援コーディネーター	相談件数 655件	相談件数 380件
教 育 相 談 員 (学校訪問、にじの子相談等)	〃 3,351	〃 3,727
心 理 カ ウ ン セ ラ ー	〃 866	〃 941
心 理 判 定 員	〃 387	〃 140
メンタルフレンド	派遣回数 84回	派遣回数 69回

(3) 不登校対策支援事業費 39,959,116円

区 分	平成27年度	平成28年度
適応指導教室活動事業費	2か所 180日 延 2,149人	2か所 184日 延 1,983人
生活サポート支援事業費	非常勤講師 12	非常勤講師 12
不登校対策推進協議会補助金	担当者学習会 8月 2回	担当者学習会 8月 2回
	補助金 104,476円	補助金 108,504円

[指 標]



2 生徒指導対策事業費 3,855,831 円 (学校教育課)

[総 括]

生徒指導担当者の情報交換会や管理職対象の研修会において、いじめを見逃さず、早期に対応するために、教職員一人ひとりがいじめを認知していくことと、いじめを一つひとつ解消していく組織的な対応の重要性について啓発を行った。進路指導では、キャリア教育と連携しながら、生徒が将来の目標を定め、最適な進路選択ができるよう支援を行った。今後もいじめ、不登校、暴力行為等の問題行動を未然に防ぐため、自己存在感や自己有用感を高め、共感的人間関係を育むための支援を行っていく。

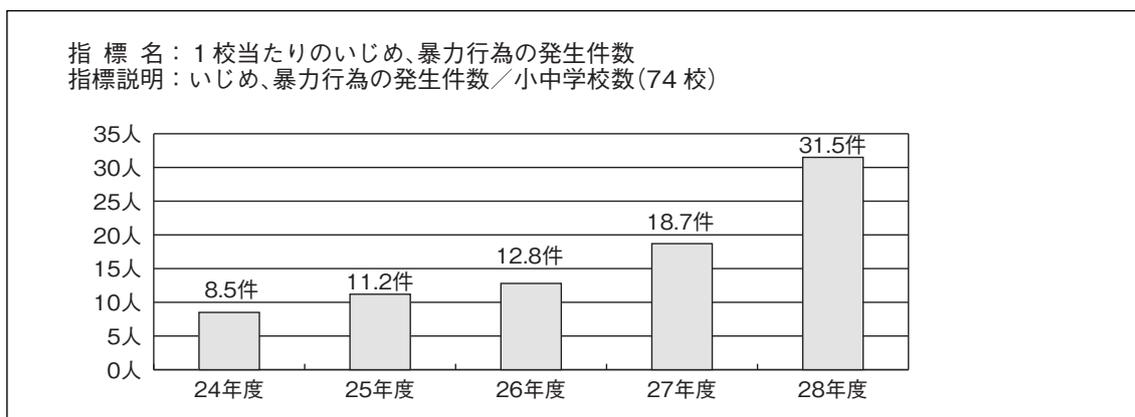
[実績及び成果]

(1) 生徒指導対策事業費 3,775,661 円

区 分	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度
生 徒 指 導	夏季教員研修会 8月 1回	夏季教員研修会 8月 1回
	夏季生徒会研修会 8 1	夏季生徒会研修会 8 1
進 路 指 導	進路のてびきの発行	進路のてびきの発行

(2) いじめ防止基本方針策定事業費 80,170 円

[指 標]



3 教育諸活動支援事業費 141,225,763 円（学校教育課）

[総括]

次代を担う子どもたちの感性を磨き、豊かな心を醸成するため、創造力や豊かな感性・表現力を高める活動、子どもたちの科学技術に対する夢と情熱を育む活動、体力・競技力の向上を図る活動など、様々な教育活動の支援を行ったほか、多彩で優れた芸術の鑑賞・体験の機会を提供した。また、児童生徒が郷土への関心を深め、郷土を愛し、郷土に誇りを持つことができるよう郷土学習推進委員会を中心に「郷土の遺構」の編集・発行を行ったほか、共通の目標に向かって協力し、努力する姿勢を育むため、新たに中学校合唱コンクールを開催した。今後も児童生徒がいきいきと学ぶことができるよう、各事業内容の充実を図る。

[実績及び成果]

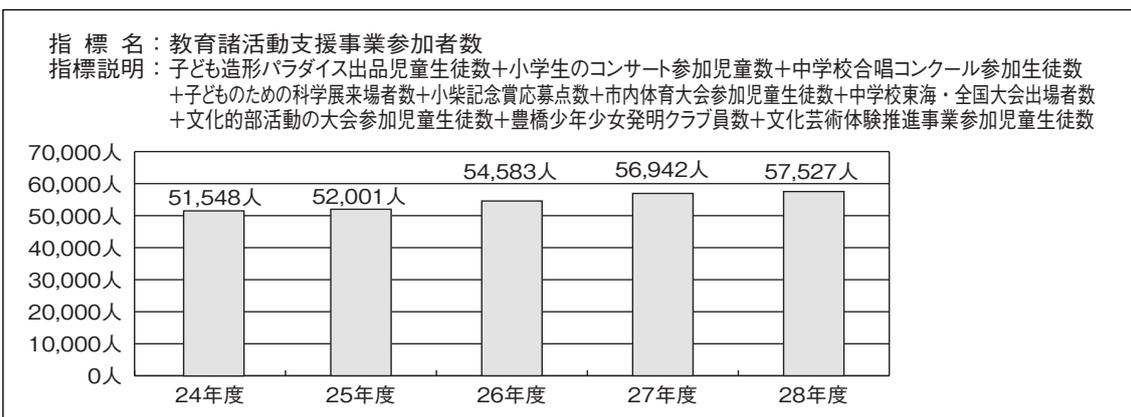
(1) 行事開催事業費 8,593,818 円

区 分	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度
子ども造形パラダイス補助金	開催日 27.10.17~18	開催日 28.10.15~16
	補助金 5,338,862円	補助金 4,326,760円
小学生のコンサート補助金	開催日 27.8.1	開催日 28.7.31
	補助金 2,464,152円	補助金 2,178,089円
中学校合唱コンクール補助金	—	開催日 28.11.5
	—	補助金 843,150円
子どものための科学展開催費補助金	開催日 27.10.17~18	開催日 28.10.15~16
	来場者数 7,505人	来場者数 6,259人
	補助金 1,070,379円	補助金 755,227円
小柴記念賞補助金	応募点数 323点	応募点数 334点
	補助金 490,853円	補助金 490,592円

(2) 教育活動支援事業費 132,631,945 円

区 分	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度
新入学児童学級対応等支援事業費	支援員 63人	支援員 63人
体育的部活動支援事業費	25,844,735円	22,979,800円
学校体育連盟補助金	1団体 20,698,307	1団体 21,524,720
中学校東海・全国大会出場補助金	13校(170人) 5,146,428	17校(119人) 1,455,080
文化的部活動支援事業費	25 4,668,733	28 5,530,258
少年少女発明クラブ補助金	クラブ員 83人 400,000	クラブ員 82人 400,000
郷土学習推進事業費	「郷土の偉人」編集・発行 321,160	「郷土の遺構」編集・発行 340,660
文化芸術体験推進事業費	参加児童生徒5,437人 5,326,730	参加児童生徒8,819人 4,778,620

[指標]



4 授業・学習支援事業費 31,435,679 円（学校教育課）

[総括]

児童生徒への効果的な学習支援を行うため、「授業・学習支援センター」において、コーディネーター1名と選書スタッフ2名が連携し、子どもの調べ学習や教員の授業づくりの支援を行った。また、27名の学校図書館司書を小中学校へ配置するとともに、学校図書館司書への研修を実施し、学校図書館機能の充実に努めた。今後も児童生徒の豊かな学習環境の充実のため教員のニーズを把握し、センターの機能を有効に活用できるように努める。

[実績及び成果]

(1) 授業・学習支援センター推進事業費 8,352,797 円

学校貸出冊数	平成27年度	平成28年度
	15,015冊	14,636冊

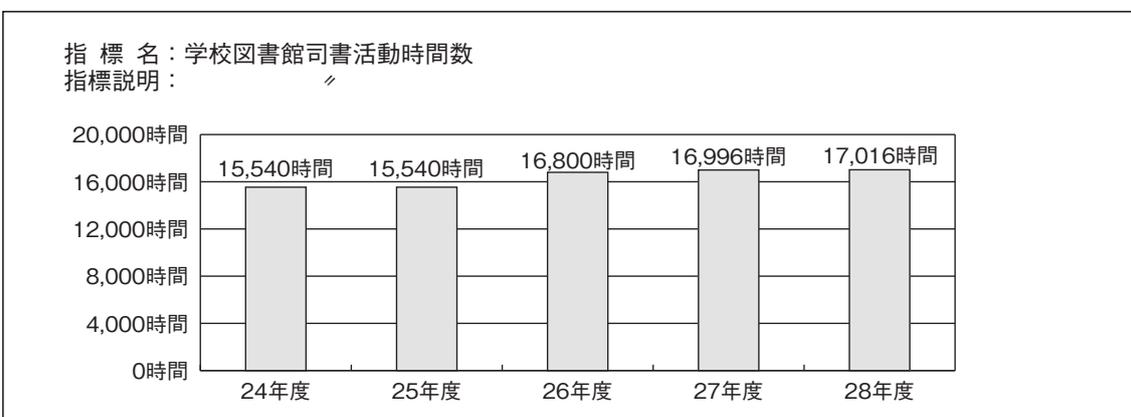
(2) 学校図書館活動推進事業費 22,894,590 円

司書配置	平成27年度	平成28年度
	27名を全小中学校(74校)に配置 (3校担当20名、2校担当7名)	27名を全小中学校(74校)に配置 (3校担当20名、2校担当7名)

(3) 小・中学校読書活動推進事業費 188,292 円

図書購入	平成27年度	平成28年度
	80冊	69冊

[指標]



5 学力向上推進事業費

23,465,137 円（教育政策課・学校教育課）

[総括]

義務教育9年間におけるつながりのある一貫した教育を行うため、全国の小中一貫教育の事例研究及び情報収集を行った。また、小学校の高学年において教科担任制を実施し、子どもの発達段階に応じ、専門性を活かしたより質の高い授業を提供した。

[実績及び成果]

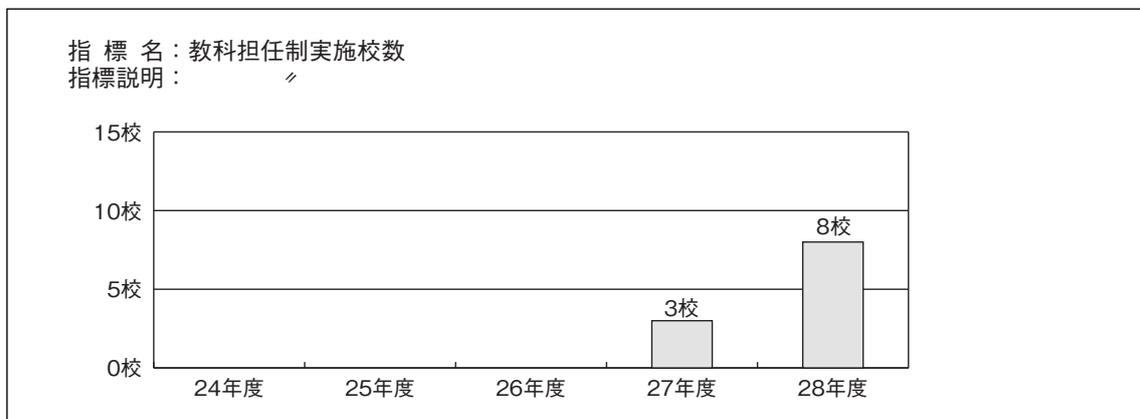
- (1) 学力向上支援事業費 23,185,197 円

教科担任の 非常勤講師人数	平成27年度	平成28年度
	2人	5人

- (2) 小中一貫教育推進事業費 279,940 円

小中一貫教育推進 委員会設置数	平成27年度	平成28年度
	1委員会	1委員会

[指標]



6 国際理解教育推進事業費

117,768,837 円（学校教育課）

[総括]

小学校では、学級担任と小学校英語スクールアシスタントや外国人英語指導員による「英会話」の授業を各クラス年間20時間行い、児童の英語への関心や意欲を高めることができた。中学校では、英語科教員と外国人英語指導員による「英会話」の授業を各クラス年間35時間行った。夏休みを利用した英語活動として、新たにトリードスーパーイングリッシュキャンプを実施し、授業外で生きた英語を使うことのできる機会を拡充した。今後も引き続き英語教育の充実を図るため、小・中学校での連携を進める。

[実績及び成果]

- (1) 英会話のできる豊橋っ子育成事業費 117,768,837 円

- (ア) 小・中学校外国人英語指導員活動費

外国人英語指導員 コーディネーター及び 外国人英語指導員の配置	平成27年度	平成28年度
	74校 23人	74校 23人

- (イ) 小学校英語スクールアシスタント

内 容	平成27年度	平成28年度
	52校 延 4,400時間	52校 延 4,493時間

(ウ) 夏休み小学生英語活動費

内 容	平成27年度		平成28年度	
		14日間	521人	12日間

(エ) 夏休み中学生英語活動費

内 容	平成27年度		平成28年度	
		10日間	99人	10日間

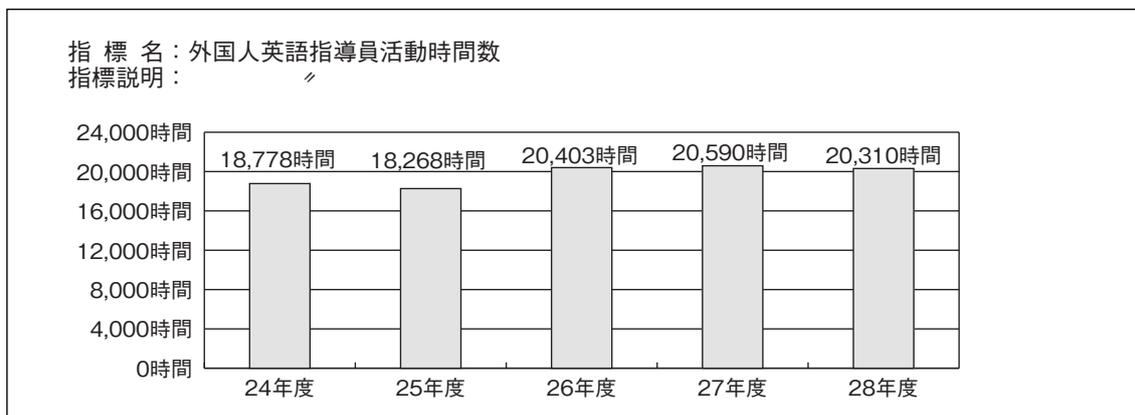
(オ) 土曜英会話チャレンジ費

内 容	平成27年度		平成28年度	
		5日間	60人	5日間

(カ) トリード スーパーイングリッシュキャンプ費

内 容	平成27年度		平成28年度	
		—		5日間

[指 標]



7 情報教育推進事業費 204,923,639 円 (学校教育課)

[総 括]

情報・通信の技術を積極的に活用していくことが求められるなか、情報教育を通じて子どもたちにコンピュータの技能を身につけさせたり、情報モラルやセキュリティに関する意識を高めさせることができた。また、タブレット型コンピュータを活用した授業の効果、可能性について、高山小学校、牛川小学校及び石巻中学校で検証した。今後も教育の情報化に対応した実践を進める。

[実績及び成果]

(1) 情報教育推進事業費 204,923,639 円

(ア) 小学校情報教育推進事業費 126,882,732 円

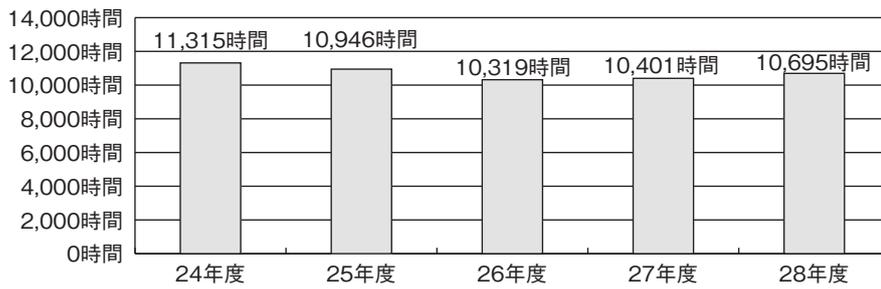
区 分	平成27年度		平成28年度	
	学習用コンピュータ費	1,980台	94,292,892円	1,980台
コンピュータネットワークシステム費		22,210,233		22,303,572
学校図書館管理用コンピュータ費	52	9,739,168	52	10,187,124
タブレット型コンピュータ費		94,392		99,144

(イ) 中学校情報教育推進事業費 78,040,907 円

区 分	平成 2 7 年度		平成 2 8 年度	
学習用コンピュータ費	908台	75,928,320円	908台	64,963,814円
コンピュータネットワークシステム費		8,806,281		8,608,401
学校図書館管理用コンピュータ費	22	4,120,412	22	4,309,932
タブレット型コンピュータ費		123,552		158,760

[指 標]

指 標 名：小・中学校学習用コンピュータ利用時間数  
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 教職員研修費 <教職員の力量向上>	101,766,460	0	0	585,000	101,181,460

1 現職研修事業費 8,153,640円 (学校教育課)

[総括]

小中学校における今日的課題や将来にわたる課題の解決に向けて研究し成果を公開発表する研究指定校や、各校それぞれの課題について組織的・計画的に実施する現職研修に対して支援を行い、教育活動に活かすとともに、教職員の力量向上を図った。今後もより良い教育活動の展開のため、研究や研修への支援を行っていく。

[実績及び成果]

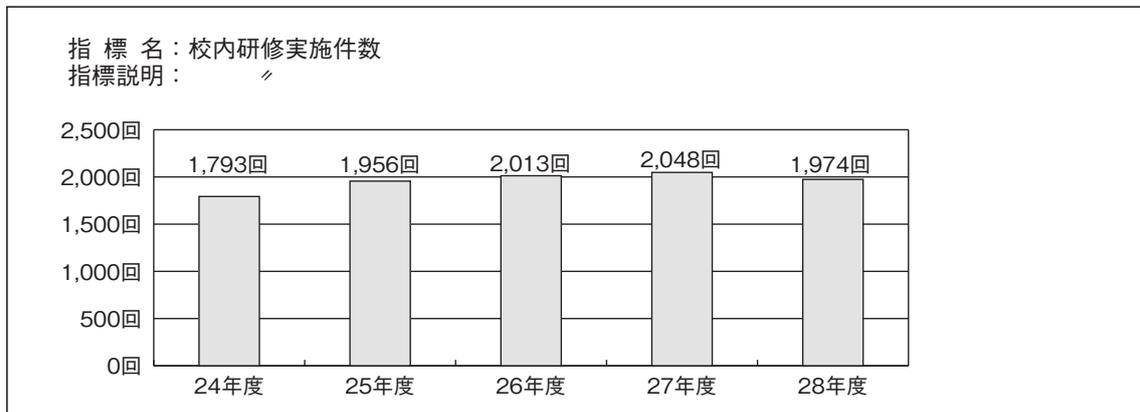
(1) 指定校研究費補助金 1,298,313円

区 分	平成27年度	平成28年度
指 定 校	9校	10校
補 助 金	1,199,430円	1,298,313円

(2) 現職研修委員会補助金 6,855,327円

区 分	平成27年度	平成28年度
校 内 研 修	1,917人	1,940人
ブ ロ ッ ク 研 修	12ブロック	12ブロック
研 究 部 等 研 修	36研究部	36研究部
基 本 研 修	345人	353人
特 別 研 修	海外派遣 2	海外派遣 2
補 助 金	6,795,919円	6,855,327円

[指標]



2 教育会館管理運営事業費 93,612,820円 (学校教育課)

[総括]

教職員の研修、教育情報の収集、教育機器・教材の提供及び情報教育の場としての機能を果たすとともに、教育相談や就学相談を行い学校や家庭での問題に対応した。また、教員免許状更新講習を引き続き実施し、教育の実情に即した講習内容とすることにより教員の資質の向上を図るとともに、受講者の事務手続等の負担軽減を行った。今後も教職員のニーズを的確に把握し、施設を有効に利用できるように努める。

[実績及び成果]

(1) 施設管理等運営事業費 13,503,681 円

[利用状況]

区 分	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	比 較
開 館 日 数	360日	359日	△ 0.3%
教 職 員 施 設 利 用 者 数	延 23,235人	延 24,031人	3.4
一 般 施 設 利 用 者 数	延 11,000	延 12,910	17.4
計	延 34,235	延 36,941	7.9

[各種活動]

区 分	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度
コ ン ピ ュ ー タ 研 修	156時間 参加人員 589人	162時間 参加人員 543人
視 聴 覚 教 育 研 究	研究活動、教材・資料の作成	研究活動、教材・資料の作成
教 材 等 貸 出 利 用	映像教材貸出 324本	映像教材貸出 327本

(2) 教職員研修事業費 4,778,877 円

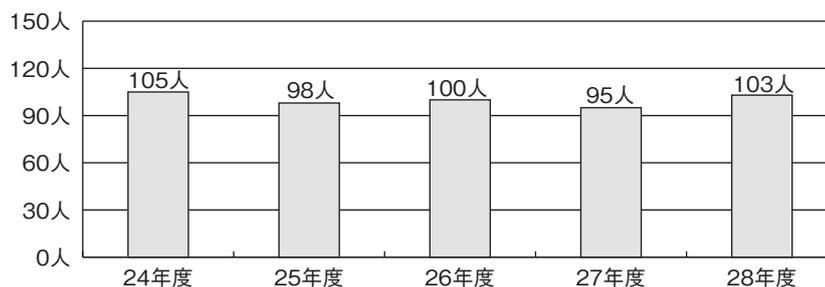
区 分	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度
基 本 研 修	114回 参加人員 2,455人	101回 参加人員 2,795人
職 務 研 修	69 〃 2,272	67 〃 2,440
課 題 ・ 専 門 研 修	91 〃 3,846	96 〃 4,169
社 会 体 験 研 修 等	42か所 〃 51	51か所 〃 54

(3) 教員免許状更新講習事業費 484,696 円

内 容	平成 2 7 年度		平成 2 8 年度	
	45講座	受講人員 198人	46講座	受講人員 195人

[指 標]

指 標 名：教育会館 1 日当たりの利用者数  
 指標説明：利用者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 特色ある学校推進費 <特色ある学校づくりの推進>	10,493,234	0	0	0	10,493,234

1 学校づくり推進事業費 9,850,120円 (学校教育課)

[総括]

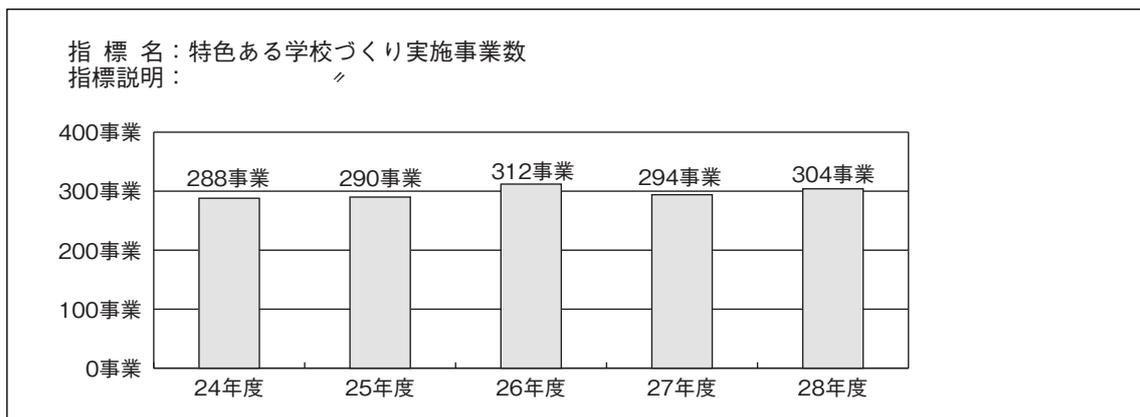
各学校が「生きる力」を育む特色ある学校づくりを主体的に推進し、豊かな心と実践力のある児童生徒を育成するため、学校行事や総合的な学習の時間等への支援を行った。また、市内を流れる川の総称を「母なる豊川」とし、児童生徒や地域の人々が川の自然、川と人の関わりについて考え、川を大切にするための教育活動を実施した。今後も各学校の事業企画内容を評価・検討し、充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 学校づくり推進事業費 9,850,120円

区 分	平成27年度		平成28年度	
母なる豊川活用事業費	参加校	29校	参加校	33校
特色ある学校づくり推進事業費補助金	74校	9,723,456円	74校	9,845,880円

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 教育環境充実費 <教育環境の整備・充実>	234,998,179	5,066,000	0	0	229,932,179

1 私学振興事業費 45,570,710円 (教育政策課)

[総括]

運営費補助金等により、私立学校の運営の円滑化及び教育環境を向上させるとともに、授業料補助金を見直し、私立学校に在籍する生徒に係る就学上の経済的負担の更なる軽減を図った。今後もこれらの施策の実施においては、国、県の動向を踏まえ、私立学校の教育的意義などを考慮した対応に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 私学運営費補助金 9,497,660円

区 分	平成27年度		平成28年度	
	対象人員	補助額	対象人員	補助額
私立高等学校(3校)	3,457人	6,203,750円	3,589人	6,184,460円
外国人学校(3校)	371	3,333,900	348	3,313,200
計	3,828	9,537,650	3,937	9,497,660

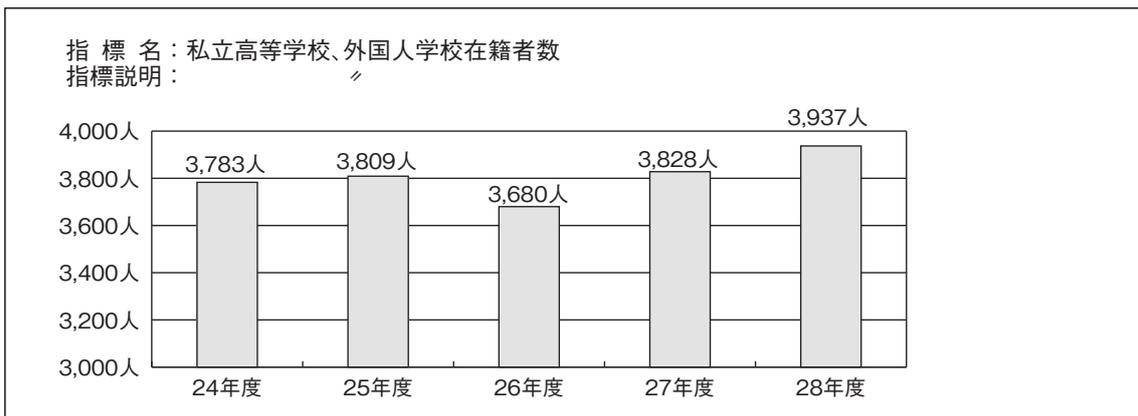
(2) 私立高等学校授業料補助金 34,076,750円

内 容	平成27年度		平成28年度	
	対象人員	補助額	対象人員	補助額
	2,182人	33,748,100円	2,209人	34,076,750円

(3) 私立専修学校等授業料補助金 1,996,300円

内 容	平成27年度		平成28年度	
	対象人員	補助額	対象人員	補助額
	147人	1,824,700円	159人	1,996,300円

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 市立学校教育活動推進費 ＜市立の強みを活かした教育の推進＞	356,652,515	4,029,025	0	37,209,451	315,414,039

1 くすのき特別支援学校教育推進事業費 160,480,739円 (教育政策課)

[総括]

きめ細やかな特別支援教育を実施するため、平成27年4月にくすのき特別支援学校を開校した。2年目となる28年度は、就労支援体制を充実させるため、地元企業や市役所において職業コースの生徒の職業体験実習を実施したほか、ハローワークをはじめとした関係機関との連携を図り、就業率100%を達成することができた。また、豊橋市・田原市における特別支援教育のセンター的機能として設置した「くすのき相談センター」では、関係機関と連携しながら相談事業を進めており、相談件数は着実に増加した。今後も積極的に社会参加・自立を目指す人材を育成するため、教育環境の向上とともに、就労支援に重点を置いた学校づくりを推進する。

[実績及び成果]

(1) 管理事業費 91,308,379円 (5月1日現在)

区 分	平成27年度	平成28年度
学 級 数	42学級	44学級
児 童 ・ 生 徒 数	216人	221人

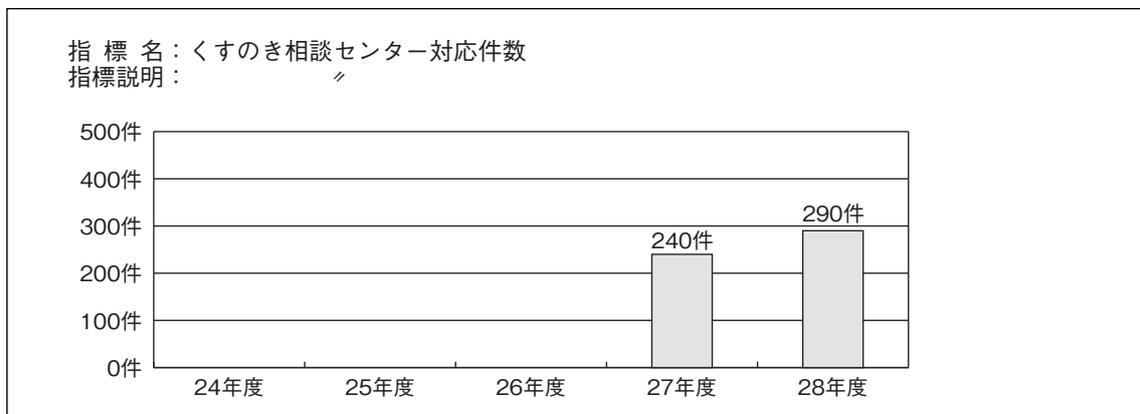
[施設整備]

内 容	平成27年度	平成28年度
	農園整備工事 学校用地購入	

(2) 教育活動事業費 59,379,841円

区 分	平成27年度		平成28年度	
学 校 図 書 館 蔵 書 数	617冊		748冊	
校務・学習・図書管理用コンピュータ費	116台	9,710,280円	116台	9,710,280円
企業向け学校見学会実施回数	1回		3回	
専門分野における高等学校との共同学習実施回数	3		5	
就労支援におけるサテライト実習実施回数	14		17	

[指 標]



2 市立高等学校教育推進事業費 114,954,772 円（教育政策課）

〔総括〕

働きながら学ぶことができる学校としての教育環境づくりを進めた。特に、発達障害や不登校の生徒に対応するため、心理カウンセラーによる心のケアの充実を図ったほか、進学、就職に向けてキャリア教育を実施した。また、転落防止手摺設置工事を実施し、生徒の安全対策を図った。今後も、生徒一人ひとりの特性を伸ばすとともに、自ら学ぶ主体性を確立させるなど特色ある教育内容の充実を図り、東三河の定時制高校の中心的役割を果たしていく。

〔実績及び成果〕

(1) 管理事業費 10,398,745 円 (5月1日現在)

区 分	平成27年度	平成28年度
学 級 数	22学級	22学級
生 徒 数	693人	691人

〔施設整備〕

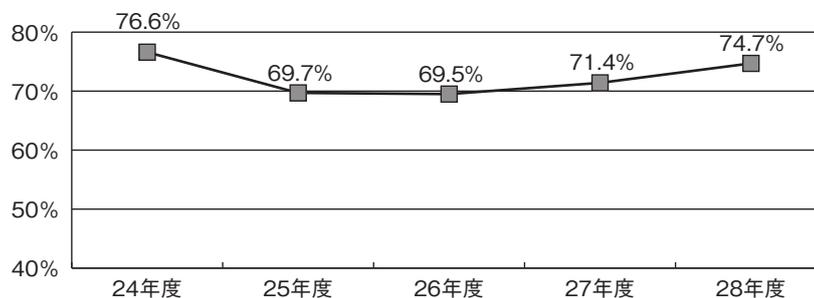
内 容	平成27年度	平成28年度
	非構造部材耐震対策工事 太陽光発電システム無停電電源装置 設置工事 一般補修工事	校舎転落防止手摺設置工事 一般補修工事

(2) 教育活動事業費 62,615,934 円

区 分	平成27年度		平成28年度	
学校図書館蔵書数	6,831冊		7,003冊	
定時制教育教科書給与費	25人	117,880円	16人	68,215円
学習用コンピュータ費	42台	3,256,524	42台	3,022,650
心理カウンセラー相談開催日数	65日		65日	
キャリア教育研修開催回数	6回		8回	
外国人生徒教育支援日数	205日		211日	

〔指 標〕

指 標 名：市立高等学校卒業資格取得率  
 指標説明：卒業生数／入学者数



3 家政高等専修学校教育推進事業費 81,217,004 円（教育政策課）

〔総括〕

服飾・調理に関する専門的な知識・技能の習得や、生涯を通じて必要となる教養を深めることをめざした教育活動を展開した。進路指導においては、生徒一人ひとりの個性や将来に対する夢を尊重したきめの細かい支援を行い、就職・進学率の向上を図った。とりわけ、キャリア教育研修においては、体験活動を伴う実地見学や講師を招いた実践的な講座に力を入れた。また、心理カウンセラーを活用した専門的な見地からの支援にも取り組み、不安や悩みへの対処のみならず、自己理解やコミュニケーションスキルの向上に取り組んだ。今後も次代を担う人材育成のため、教育環境の向上や教育内容の充実に努めていく。

〔実績及び成果〕

(1) 管理事業費 6,750,887 円 (5月1日現在)

区 分	平成27年度	平成28年度
学 級 数	3学級	3学級
生 徒 数	108人	103人

〔施設整備〕

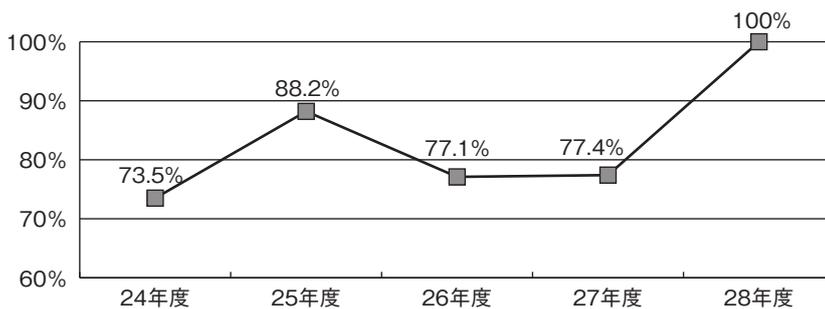
内 容	平成27年度	平成28年度
	一般補修工事	一般補修工事

(2) 教育活動事業費 24,174,130 円

区 分	平成27年度	平成28年度
学校図書館蔵書数	2,553冊	2,556冊
学習用コンピュータ費	41台 2,468,664円	41台 2,199,960円
心理カウンセラー相談開催日数	20日	20日
キャリア教育研修開催回数	10回	10回

〔指標〕

指標名：家政高等専修学校就職、進学率  
 指標説明：(就職者数+進学者数) / 卒業生徒数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 科学教育施設費 <科学教育環境の充実>	286,546,992	0	56,400,000	764,999	229,381,993

1 自然史博物館施設管理事業費 143,773,429 円 (自然史博物館)

[総括]

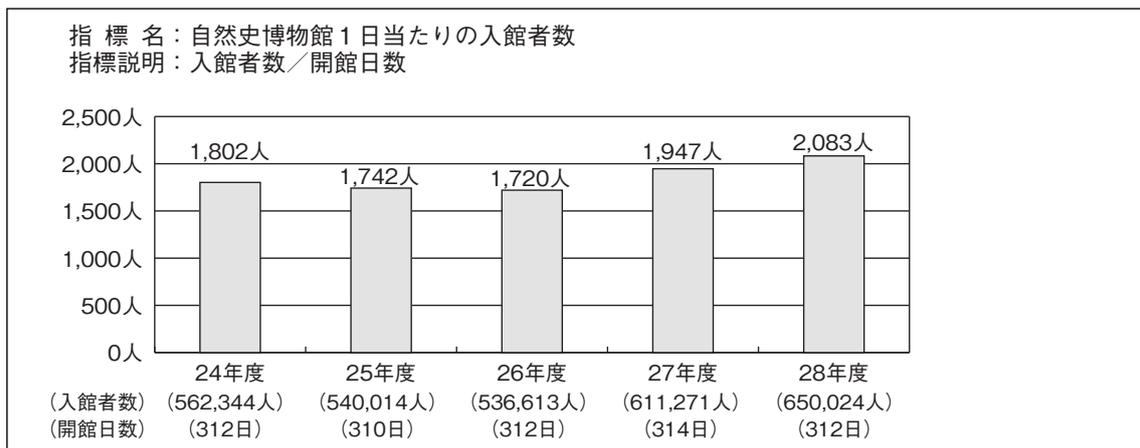
開館より28年経過した施設・設備の機能を計画的に維持・充実するため、特別企画展示室照明設備取替修繕、野外恐竜模型修繕、移動観覧席修繕、展示室展示物修繕、授乳室の設置などを行い、入館者の安全性・利便性・快適性の向上を図った。今後も来館者サービスの向上のため、設備・展示物等の更新を含め適正な施設管理を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 56,198,494 円

区 分	平成27年度	平成28年度	比 較
開 館 日 数	314日	312日	△ 0.6%
入 館 者 数	延 611,271人	延 650,024人	6.3

[指標]



2 自然史博物館整備事業費 79,218,000 円 (自然史博物館)

[総括]

昭和63年の開館以来改装していなかった新生代展示室を、最新の研究成果をふまえた展示標本と最新の映像システムを配置した魅力的な展示室に改装した。

[実績及び成果]

(1) 自然史博物館整備事業費 79,218,000 円

内 容	平成27年度	平成28年度
	新生代展示室展示物製作委託等	

3 石巻自然科学資料館運営事業費 734,958 円 (自然史博物館)

[総括]

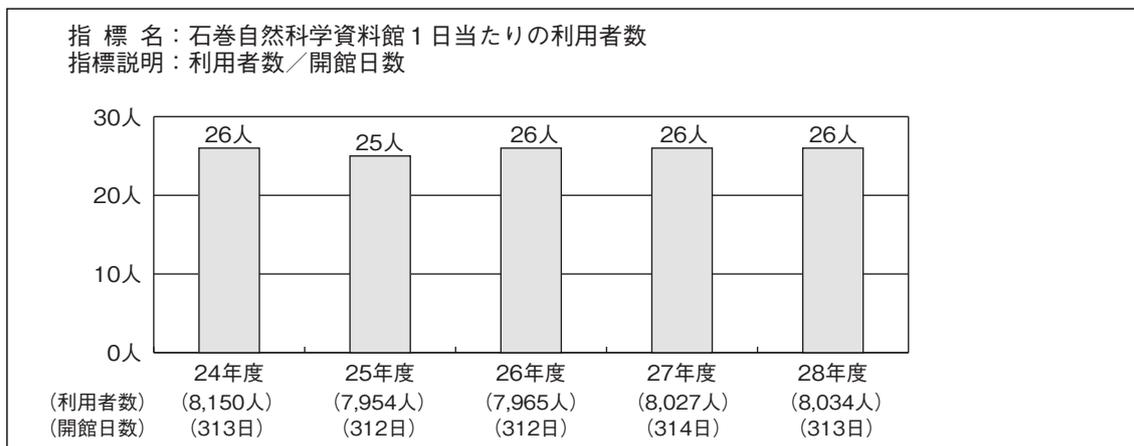
石巻山周辺の自然を観察するためのビジターセンターとして、この地域で観察できる地質と動植物等を紹介している。また、「石巻山自然観察路マップ」を配布し、利用者の利便性の向上を図った。今後も広範囲な利用者の確保と施設のPR活動に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 石巻自然科学資料館運営事業費 734,958 円

区 分	平成27年度	平成28年度	比 較
開 館 日 数	314日	313日	△ 0.3%
利 用 者 数	延 8,027人	延 8,034人	0.1

[指 標]



4 科学教育センター施設管理事業費 62,820,605 円 (科学教育センター)

[総 括]

視聴覚教育センター及び地下資源館の適正な管理運営に努めるとともに、老朽化した施設・設備等の補修を行った。また、視聴覚教育センターでは照明器具のLED化や公衆無線LAN環境の整備により、来館者の利便性を高めた。地下資源館では、監視用ビデオカメラシステムを更新し来館者の安全性向上に努めた。今後も教育環境の計画的な整備を行い、施設の利用促進を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 視聴覚教育センター施設管理事業費 17,123,619 円

[利用状況]

区 分	平成27年度	平成28年度	比 較
開 館 日 数	311日	311日	0.0%
入 館 者 数	延 87,921人	延 87,711人	△ 0.2

[施設整備]

内 容	平成27年度	平成28年度
	—	施設内照明器具のLED化 公衆無線LAN環境の整備

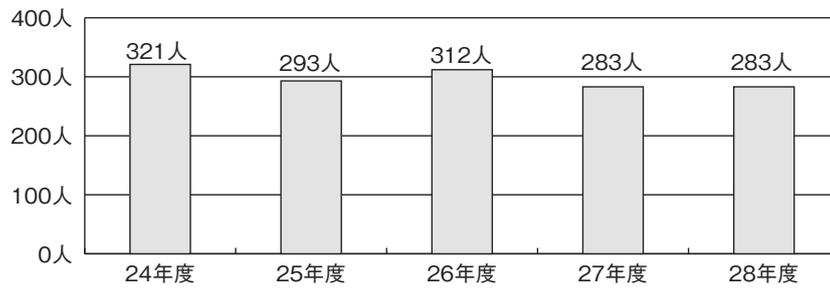
(2) 地下資源館施設管理事業費 8,591,677 円

[施設整備]

内 容	平成27年度	平成28年度
	暖房用ボイラー修繕等	—

[指 標]

指 標 名：視聴覚教育センター 1日当たりの入館者数  
指標説明：入館者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9目 科学教育推進費 ＜自然科学を学ぶ機会の充実＞	86,853,376	0	0	19,360,625	67,492,751

1 自然史博物館事業費 63,391,497円 (自然史博物館)

[総括]

自然に親しみ、正しい知識を深め、大切にすることを目的に、自然科学に関する常設展示に加え、資料収集、調査研究活動に取り組んだほか、市制施行110周年記念事業として特別企画展「メガ恐竜展 in 豊橋」および企画展「ミニ水族館」を開催した。また、大型映像システムによる「ダーウィンミステリー」、「恐竜ミュージアム」、「ガラパゴス」等の上映、自然史トーク、学習教室、企画展等の教育普及活動を実施した。今後も教育普及と施設の魅力の向上につながる事業を実施し、のんほいパーク100万人プロジェクトを推進していく。

[実績及び成果]

(1) 教育普及活動事業費 31,573,711円

区 分	平成27年度		平成28年度	
学 習 教 室	11回	参加人員 265人	10回	参加人員 270人
自 然 史 ト ー ク	12	〃 594	13	〃 740
解 説 会	12	〃 260	11	〃 256
出 前 授 業 等	71	〃 1,935	67	〃 1,989
大 型 映 像	1,189	観覧者数 36,462	955	観覧者数 27,268
企 画 展	「日本の生物多様性とその保全」 〃 58,095 27.5.16～6.21 (32日間) 「豊橋周辺の第四紀化石」 〃 31,179 27.6.27～7.19 (20日間) 「日本のトンボ・愛知県のトンボ」 〃 32,848 27.11.14～12.13 (26日間) 「干支展 サル」 〃 41,333 27.12.19～28.1.17 (23日間) 「ナキウサギ」 〃 36,087 28.2.6～3.6 (26日間) 「新着資料展2015年度」 〃 55,122 28.3.12～3.31 (17日間)		「ミニ水族館」 〃 22,169 28.7.23～8.7 (14日間) 「極小昆虫と微小貝」 〃 31,291 28.11.19～12.11 (20日間) 「酉にちなむ」 〃 35,848 28.12.17～29.1.15 (23日間) 「平成28年度自然史博物館新歳標本」 〃 54,781 29.3.11～3.31 (18日間)	

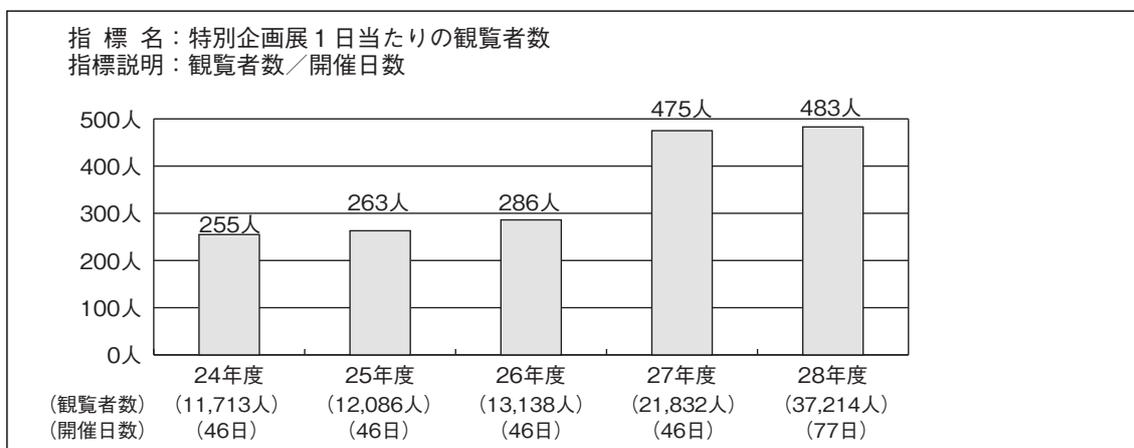
(2) 資料収集・調査研究活動事業費 2,391,573円

区 分	平成27年度		平成28年度	
博物館資料	製作委託	哺乳類等の剥製骨格標本製作 4点	鳥類等の剥製骨格標本製作 7点	
	採集・寄贈	21,642点 (総数 526,458点)	5,158点	(総数 531,705点)
	図書等	1,097冊 (総数 40,085冊)	856冊	(総数 40,941冊)
研究発表(調査研究)	61件		73件	

(3) 特別企画展開催事業費 29,426,213 円

区 分	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度
特 別 企 画 展	「天空を制した巨大翼竜と鳥たち」	「メガ恐竜展 in 豊橋」
	27.7.10～8.30 (46日間)	28.7.15～10.10 (77日間)
	展示数 421点 観覧者数21,832人	展示数 93点 観覧者数37,214人
関 連 行 事	1. ふわふわ鳥を作ろう 参加人員 21,380人 2. 鳥凧を作ってみよう! 〃 12	1. 宝石さがしに挑戦 参加人員 36,804人 2. アンモナイトを発掘しよう 〃 1,806 3. 恐竜色塗り・イラストコンテスト 応募総数 1,068点

[指 標]



2 科学教育センター事業費 23,461,879 円 (科学教育センター)

[総 括]

視聴覚教育センターでは、わくわく体験活動での実験学習、プラネタリウム学習や展示学習を通じて児童の科学への好奇心を育んだほか、市民への学習教室（ワークショップ、ICT 講座、ゆめたまご科学講座、星空観望会など）や市制施行 110 周年記念事業として星空キャラバン隊による出張観望会を開催するなど、最先端の科学情報等の提供に努めた。地下資源館では、資源やエネルギーをはじめとした科学を楽しむことを目的に、市民への学習教室（おもしろサイエンスの日、ワークショップ、実験ショーなど）を開催するとともに、名古屋大学との連携による「名古屋大学出前授業 in 豊橋」を開催した。今後もサイエンス・ボランティアの協力を得ながら、子どもから大人まで楽しめる魅力ある行事を開催し、自然科学を学ぶ機会の充実を図っていく。

(1) 視聴覚教育センター事業費 21,310,097 円

[各種活動]

区 分	平成27年度		平成28年度	
わくわく体験活動(小学校4年生)	4月～11月	参加人員 3,280人	5月～12月	参加人員 3,511人
プラネタリウム投映	782回	観覧者数22,232	645回	観覧者数22,628
学 習 教 室	4月～3月(66回)	参加人員 2,328	5月～3月(38回)	参加人員 1,230
星 空 観 望 会	4月～3月(8)	〃 534	7月～3月(4)	〃 262
展 示 会	1回	入場者数23,331	1回	入場者数10,986
市制施行110周年記念事業	—		5月～3月(10回) 参加人員 1,456	

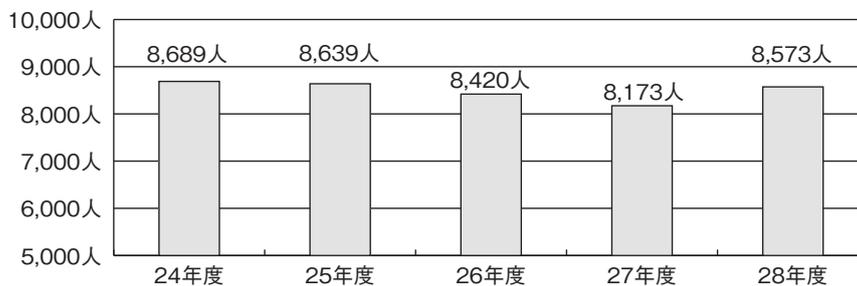
(2) 地下資源館事業費 2,151,782 円

[各種活動]

区 分	平成27年度		平成28年度	
学 習 教 室	4月～3月(288回)	参加人員 8,173人	4月～3月(288回)	参加人員 8,573人
巡 回 展	1回	入場者数10,534	1回	入場者数28,882
資源をくらしに生かす 創 意 工 夫 展	27.10.10～11.8(26日間) 応募点数3,285点 〃 14,582		28.10.8～11.6(26日間) 応募点数4,391点 〃 12,742	

[指 標]

指 標 名：実験・講座等参加者数(地下資源館)  
指 標 説 明：年間の実験・講座等参加者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 小 学 校 費	2,548,116,972	259,447,884	858,600,000	47,745,971	1,382,323,117
1目 教育環境整備費 <教育環境の整備・充実>	2,548,116,972	259,447,884	858,600,000	47,745,971	1,382,323,117

1 小学校管理事業費 278,438,801 円 (教育政策課)

[総括]

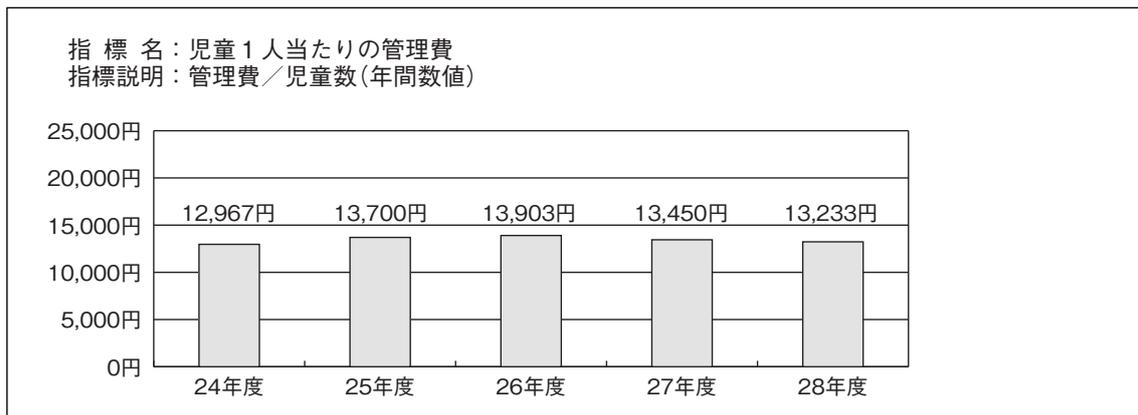
小学校の財産全般を適切に維持管理することにより、安全安心な学校づくりと良好な学習環境の確保を図った。今後も、各学校の自主自律と適切な学校経営を実現するため、学校配当予算を導入している総額裁量予算の効率的な執行など、限られた予算の有効活用に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 管理事業費 278,438,801 円 (5月1日現在)

区 分	平成27年度	平成28年度
学 校 数	52校	52校
学 級 数	803学級	821学級
児 童 数	21,088人	21,041人

[指 標]



2 小学校教育推進事業費

384,869,286 円（教育政策課・学校教育課）

[総括]

児童の情報資産を高いセキュリティ環境下で一元管理できる校務支援システムを、豊橋市、豊川市、蒲郡市及び田原市の4市で共同導入し、教師が児童と向き合う時間の充実を図った。また、児童が環境問題に関心を持てるよう全校で緑のカーテンを設置したほか、小学校4校に木製下駄箱を、8校に木製教壇を導入した。今後も更なる教育環境の向上に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 教育活動事業費

244,279,346 円

区 分	平成27年度	平成28年度
学校図書館蔵書数	448,455冊	457,474冊
学校新聞発行部数	年2回以上(全世帯配布または回覧) 175,298部	年2回以上(全世帯配布または回覧) 147,800部
学校評議員数	393人	392人
緑のカーテン設置数	52校	52校
木の机・椅子購入数	50組	—
図書閲覧用木製机購入数	96台	—
木製下駄箱購入数	76	79台
木製教壇購入数	61	81

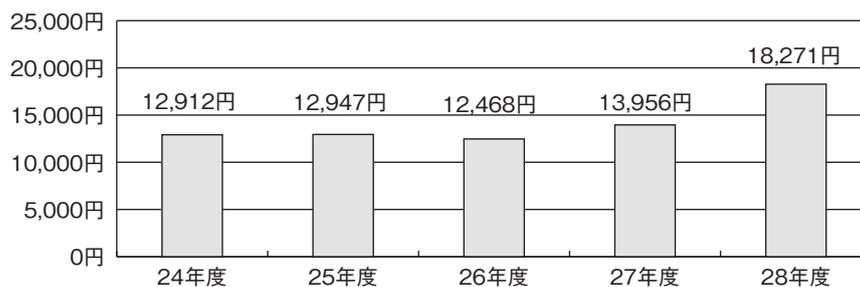
(2) 情報管理システム管理運営事業費

140,589,940 円

区 分	平成27年度	平成28年度
校務用コンピュータ費	1,214台 31,467,972円	1,214台 31,149,037円
校務支援システム費	—	1,214 109,440,903

[指標]

指標名：児童1人当たりの事業費  
 指標説明：直接事業費／児童数(年間数値)



3 小学校校舎等増改築事業費 178,378,429 円（教育政策課）

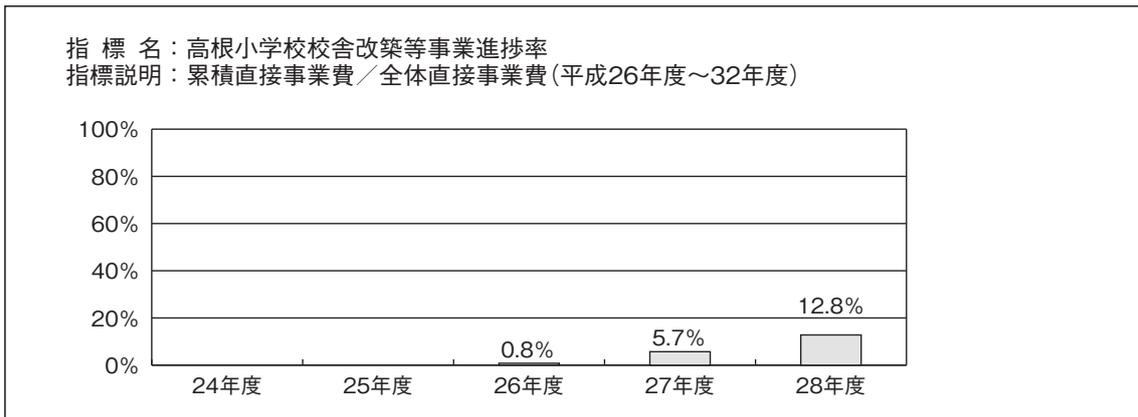
[総括]

高根小学校では、児童数増加に伴う学校施設の狭あい化及び施設老朽化に対応するための校舎等改築に向け、屋内運動場および校区市民館改築のⅠ期工事と校舎改築の実施設計を行った。

[実績及び成果]

- (1) 高根小学校校舎改築等事業費 178,378,429 円
  - (ア) 屋内運動場及び校区市民館改築工事（Ⅰ期） 121,004,025 円
  - (イ) 校舎改築実施設計等 57,374,404 円

[指標]



※平成 28 年度の全体事業費にて、26 年度から再算定

4 小学校校舎等長寿命化改良事業費 1,016,353,440 円（教育政策課）

[総括]

児童が安心して学習できる環境づくりのため、施設の耐久性を高める工事として、津田小学校はじめ9校の屋内運動場の改修を大規模かつ効率的に実施した。今後も施設の経年劣化への対応として、改修時期の平準化を考慮しながら効果的・効率的な維持管理に努めていく。

[実績及び成果]

- (1) 津田小学校屋内運動場改良事業費 119,608,920 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄骨造 2 階建	644㎡	外・内部改修

- (2) 下条小学校屋内運動場改良事業費 100,109,520 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄骨造 2 階建	644㎡	外・内部改修

- (3) 天伯小学校屋内運動場改良事業費 108,702,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄骨造 2 階建	644㎡	外・内部改修

(4) 大清水小学校屋内運動場改良事業費 115,017,840 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄骨造 2 階建	644㎡	外・内部改修

(5) 前芝小学校屋内運動場改良事業費 111,654,720 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄骨造 2 階建	644㎡	外・内部改修

(6) 玉川小学校屋内運動場改良事業費 116,816,040 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄骨造 2 階建	644㎡	外・内部改修

(7) 谷川小学校屋内運動場改良事業費 115,244,640 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄骨造 2 階建	644㎡	外・内部改修

(8) 細谷小学校屋内運動場改良事業費 111,975,480 円

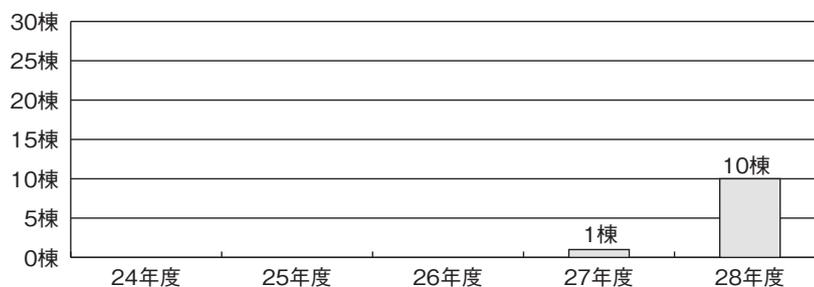
内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄骨造 2 階建	644㎡	外・内部改修

(9) 賀茂小学校屋内運動場改良事業費 117,224,280 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄骨造 2 階建	644㎡	外・内部改修

[指 標]

指 標 名：長寿命化改良工事実施延棟数(平成27年度以降)  
 指標説明：〃



5 小学校環境整備事業費 300,733,222 円（教育政策課）

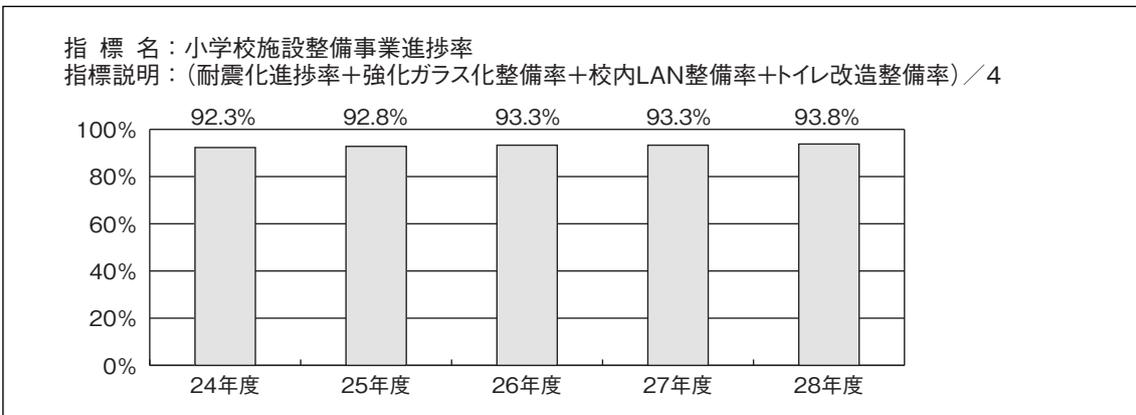
[総括]

各学校施設の経年劣化や不良箇所に対応するため、7校で非構造部材耐震対策工事(外壁改修等)を実施したほか、5校で今後実施予定である校舎等の長寿命化改良工事等の実施設計を行った。また、環境教育の教材として、谷川小学校にペレットストーブを設置したほか、4校に木製遊具(大型・小型)を整備した。今後も計画的に環境整備を行い、学校施設の維持保全に努めていく。

[実績及び成果]

区 分	平成27年度	平成28年度	
		規模等	学 校 名
(1) 校舎等改修事業費	166,409,643円		
非構造部材耐震対策工事 (外壁改修等)	16校	7校	岩田、二川、福岡、花田、鷹丘、石巻、老津
トイレ改造工事	—	1	牟呂
長寿命化改良事業等 実 施 設 計	15	5	植田、牛川、多米、大崎、岩田
ペレットストーブ設置	1	1	谷川
防犯カメラ設置	4	3	松葉、大崎、西郷
防火扉改修工事等	23	15	谷川、松葉、富士見、松山、高師、つつじが丘、新川、嵩山、牛川、下条、二川、東田、杉山、細谷、芦原
計	38	26	
(2) 運動場等整備事業費	23,971,180円		
大型遊具設置	3校	4校	二川、天伯、汐田、花田
校庭芝生整備等	3	1	岩西
計	6	5	
(3) プール施設整備事業費	37,928,952円		
プール槽防水工事等	8校	8校	津田、つつじが丘、花田、大崎、芦原、細谷、岩西、小沢
(4) 一般補修事業費	72,423,447円		
	52校	52校	全校

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項 中 学 校 費	665,881,338	5,137,244	15,400,000	396,602	644,947,492
1目 教育環境整備費 <教育環境の整備・充実>	665,881,338	5,137,244	15,400,000	396,602	644,947,492

1 中学校管理事業費 189,191,124円 (教育政策課)

[総括]

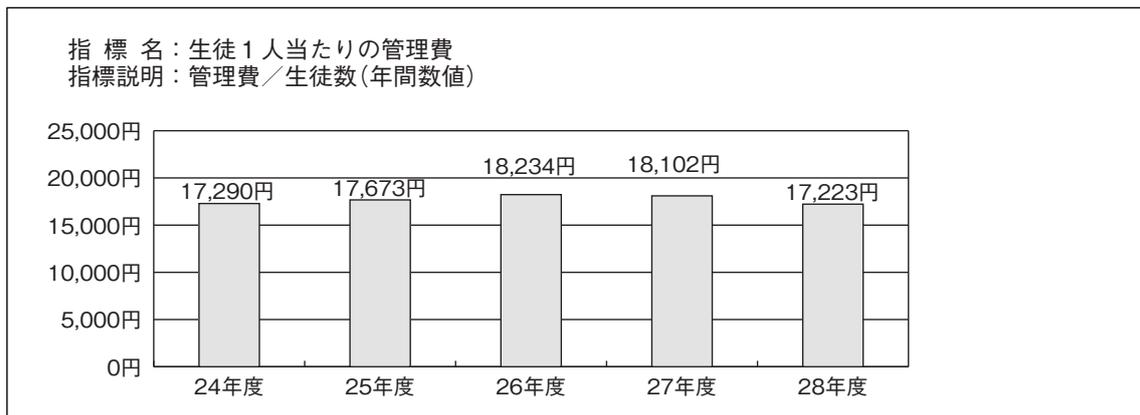
中学校の財産全般を適切に維持管理することにより、安全安心な学校づくりと良好な学習環境の確保を図った。今後も、各学校の自主自律と適切な学校経営を実現するため、学校配当予算を導入している総額裁量制予算の効率的な執行など、限られた予算の有効活用に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 管理事業費 189,191,124円 (5月1日現在)

区 分	平成27年度	平成28年度
学 校 数	22校	22校
学 級 数	368学級	368学級
生 徒 数	11,143人	10,985人

[指標]



2 中学校教育推進事業費 213,992,085 円（教育政策課・学校教育課）

[総括]

生徒の情報資産を高いセキュリティ環境下で一元管理できる校務支援システムを、豊橋市、豊川市、蒲郡市及び田原市の4市で共同導入し、教師が生徒と向き合う時間の充実を図った。また、生徒が環境問題に関心を持てるよう全校で緑のカーテンを設置した。今後も更なる教育環境の向上に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 教育活動事業費 169,683,674 円

区 分	平成27年度	平成28年度
学校図書館蔵書数	314,009冊	318,187冊
学校新聞発行部数	年2回以上(全世帯配布または回覧) 118,976部	年2回以上(全世帯配布または回覧) 124,066部
学校評議員数	157人	157人
緑のカーテン設置数	22校	22校

(2) 情報管理システム管理運営事業費 44,308,411 円

区 分	平成27年度	平成28年度
校務用コンピュータ費	731台 17,791,428円	731台 17,670,755円
校務支援システム費	—	731 26,637,656

[指標]

指標名：生徒1人当たりの事業費  
 指標説明：直接事業費／生徒数(年間数値)



3 中学校環境整備事業費

98,812,243 円（教育政策課）

[総括]

各学校施設の経年劣化や不良箇所に対応するため、3校で非構造部材耐震対策工事（外壁改修等）を実施したほか、石巻中学校と北部中学校で今後実施予定である校舎等の長寿命化改良工事等の実施設計を行った。今後も計画的に環境整備を行い、学校施設の維持保全に努めていく。

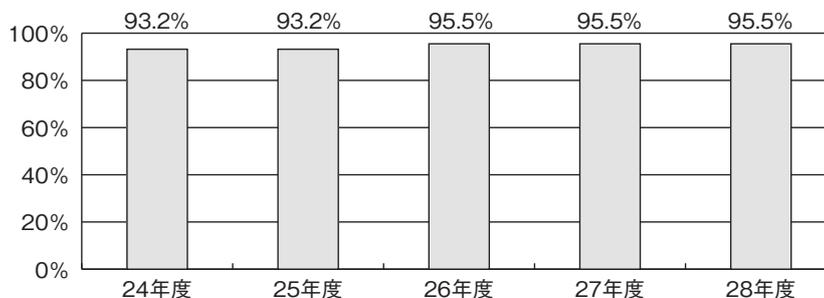
[実績及び成果]

区 分	平成27年度	平成28年度	
		規模等	学 校 名
(1) 校舎等改修事業費	45,408,317円		
非構造部材耐震対策工事 （外壁改修等）	11校	3校	前芝、章南、五並
長寿命化改良事業等 実 施 設 計	1	2	石巻、北部
防 犯 カ メ ラ 設 置	1	—	
電気設備改修工事等	8	3	青陵、南稜、石巻
計	17	7	
(2) プール施設整備事業費	19,606,320円		
ろ過機改修工事等	5校	3校	二川、羽田、牟呂
(3) 一般補修事業費	33,797,606円		
	22校	22校	全校

[指 標]

指 標 名：中学校施設整備事業進捗率

指標説明：(耐震化進捗率+強化ガラス化整備率+校内LAN整備率+トイレ改造整備率)÷4



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4項 社会教育費	1,552,579,920	61,592,000	0	132,936,521	1,358,051,399
2目 生涯学習機会充実費 <生涯学習機会の充実>	339,099,267	0	0	28,066,741	311,032,526

1 生涯学習推進事業費 5,101,571 円 (生涯学習課)

[総括]

多様化する市民の学習ニーズに対応するため、引き続き市内3大学や東三河市町と連携した講座を開催するとともに、地域の課題解決に向け、防災などをテーマとした講座を開催した。また、生涯学習情報紙の発行などを通して、生涯学習の普及・啓発を図るとともに、活動者の発表機会を設けるなど、生涯学習活動の振興に努めた。今後も、多彩な学習機会の提供に向けた取組みを図っていく。

[実績及び成果]

(1) 生涯学習市民大学事業費 4,536,570 円

区 分	平成27年度			平成28年度			
	事業数	参加者	回数	事業数	参加者	回数	開催場所
一 般 コ ー ス	83	2,233人	451回	63	2,133人	297回	地区市民館ほか
高 齢 者 コ ー ス	23	1,833	163	23	1,684	156	〃

(2) 生涯学習活動事業費 565,001 円

(ア) 生涯学習情報紙等発行事業費 432,000 円

発 行 部 数	平成27年度	平成28年度
		年2回 (公共施設等配布) 延 20,000部

(イ) 大清水まなび交流館活動発表等 45,456 円

参 加 者	平成27年度	平成28年度
		700人

(ウ) 生涯学習推進大会開催事業費 87,545 円

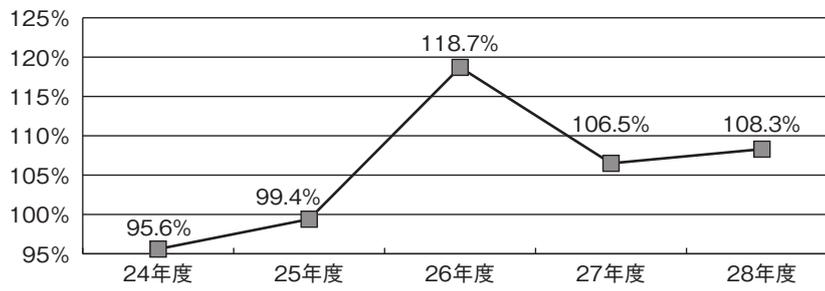
参 加 者	平成27年度	平成28年度
		400人

(エ) 企業内生涯学習活動事業費 0 円

実 施 企 業 数・回 数	平成27年度	平成28年度
		1企業 1回

[指 標]

指 標 名：生涯学習市民大学定員充足率  
指 標 説 明：参加者数／募集定員



2 地区市民館管理運営事業費 252,551,656 円（生涯学習課）

〔総括〕

市民の生涯学習施設として利用されている地区市民館を指定管理者とともに適切に管理・運営を行い、利用促進に努めた。今後も市民ニーズを把握しながら施設や設備等の充実を図っていく。

〔実績及び成果〕

(1) 地区市民館管理運営事業費（22 館） 252,551,656 円

〔利用状況〕

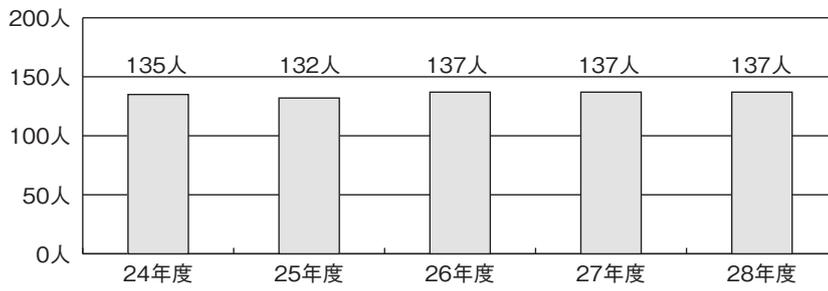
区 分	平成 2 7 年度			平成 2 8 年度			比 較 (延利用人員)
	延件数	延利用人員	延図書貸出	延件数	延利用人員	延図書貸出	
二川地区市民館	件 2,030	人 75,989	冊 48,436	件 1,962	人 73,565	冊 43,695	% △ 3.2
豊岡 〃	1,365	31,053	2,507	1,337	30,470	2,030	△ 1.9
東陽 〃	1,604	44,179	5,196	1,501	42,967	4,561	△ 2.7
南稜 〃	1,463	33,386	—	2,107	50,544	—	51.4
青陵 〃	2,212	80,853	52,444	2,240	81,639	52,905	1.0
杉山 〃	1,115	25,529	1,130	1,016	23,621	896	△ 7.5
石巻 〃	1,549	54,669	21,162	1,467	52,945	18,501	△ 3.2
羽根井 〃	1,798	29,639	518	1,800	29,197	586	△ 1.5
吉田方 〃	1,471	25,790	635	1,288	25,145	867	△ 2.5
五並 〃	548	15,606	1,002	483	15,327	698	△ 1.8
牟呂 〃	1,550	56,748	10,923	1,583	54,018	11,641	△ 4.8
高豊 〃	688	15,739	424	698	16,099	485	2.3
北部 〃	1,693	34,184	8,000	1,638	34,241	7,699	0.2
南部 〃	1,772	64,105	28,831	1,737	63,899	27,362	△ 0.3
豊城 〃	1,912	47,766	1,893	1,985	47,490	2,079	△ 0.6
中部 〃	1,387	31,855	1,544	1,390	30,292	2,014	△ 4.9
高師台 〃	1,737	40,231	2,758	1,756	38,870	3,139	△ 3.4
東部 〃	1,296	32,864	1,372	1,282	32,405	1,459	△ 1.4
東部地区市民館飯村分館	3,731	77,498	2,169	3,810	76,153	2,626	△ 1.7
南陽地区市民館	1,641	26,439	1,309	1,444	24,702	825	△ 6.6
本郷 〃	1,262	30,266	1,247	1,365	30,854	864	1.9
東陵 〃	1,703	55,834	3,743	1,662	53,484	3,845	△ 4.2
計	35,527	930,222	197,243	35,551	927,927	188,777	△ 0.2

〔施設整備〕

内 容	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度
		防犯カメラ設置(21館) 冷暖房機設置(南陽、本郷)

[指 標]

指 標 名：地区市民館 1 館 1 日当たりの利用者数  
指標説明：利用者数 / (開館日数 × 地区市民館数)



3 青少年教育施設管理運営事業費 81,446,040 円（生涯学習課）

〔総括〕

青少年センターは指定管理者による適正な管理運営を行うとともに、出張形式の防災啓発事業などの自主事業を実施した。少年自然の家と野外教育センターは施設の一体運営管理の推進による効率化を図った。今後も、青少年団体等の活動拠点として、施設の利用促進に努める。

〔実績及び成果〕

(1) 青少年センター管理運営事業費 42,458,507 円

〔利用状況〕

区 分	平成27年度	平成28年度	比 較
遊 戯 室	延 1,974人	延 1,740人	△11.9%
展 示 室	延 2,532	延 2,426	△ 4.2
研 修 棟	延 12,157	延 6,425	△47.1
宿 泊 棟	延 954	延 487	△49.0
運 動 広 場	延 4,183	延 4,989	19.3
体 育 室	延 15,388	延 15,171	△ 1.4
音 楽 室	延 4,979	延 4,273	△14.2
大 研 修 室	延 7,932	延 6,840	△13.8
そ の 他	延 10,630	延 10,776	1.4
計	60,729	53,127	△12.5

〔施設整備〕

内 容	平成27年度	平成28年度
	高圧受変電設備修繕 非常用発電装置修繕	

(2) 少年自然の家管理運営事業費 12,315,806 円

〔利用状況〕

区 分	平成27年度	平成28年度	比 較
管 理 棟（日帰り）	延 6,026人	延 6,463人	7.3%
宿 泊 棟	延 3,793	延 3,813	0.5
キ ャ ン プ 場	延 373	延 446	19.6
計	10,192	10,722	5.2

〔施設整備〕

内 容	平成27年度	平成28年度
	—	

(3) 野外教育センター管理運営事業費 12,101,901 円

〔利用状況〕

区 分	平成27年度	平成28年度	比 較
本 館（日帰り）	延 5,919人	延 5,988人	1.2%
宿 泊 室	延 5,791	延 5,974	3.2
計	11,710	11,962	2.2

〔施設整備〕

内 容	平成27年度	平成28年度
	本館給湯設備改修工事	集会室床改修工事

(4) 神田ふれあいセンター管理運営事業費 3,369,826 円

〔利用状況〕

内 容	平成27年度	平成28年度	比 較
利 用 者 数	延 3,287人	延 2,812人	△14.5%

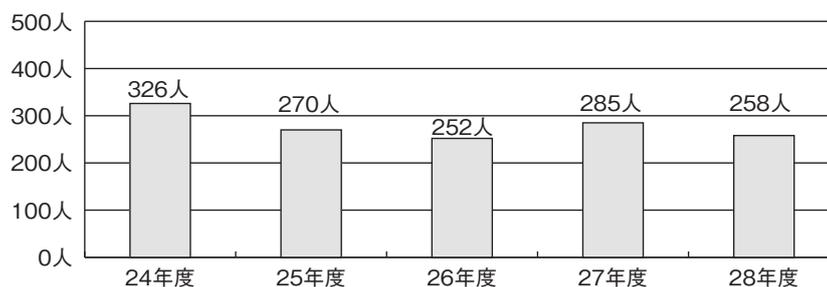
(5) 江比間野外活動センター管理負担金 11,200,000 円

〔利用状況〕

区 分	平成27年度	平成28年度	比 較
宿 泊 利 用	延 2,049人	延 2,043人	△ 0.3%
日 帰 研 修	延 5,144	延 5,308	3.2
キ ャ ン プ 利 用	延 921	延 1,716	86.3
内 豊 橋 市 利 用 人 数	延 1,669	延 994	△40.4

〔指 標〕

指 標 名：青少年教育施設1日当たりの利用者数  
 指標説明：利用者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 地域教育・家庭教育等推進費 ＜地域における生涯学習活動への支援＞	18,837,880	1,523,000	0	631,360	16,683,520

1 地域教育推進事業費 10,191,149円 (生涯学習課)

[総括]

大清水まなび交流館をはじめ、地区・校区市民館において、地域の大人が子どもに対し多様な体験活動を行う講座を開催するなど、市民が自ら学んだ成果を地域での様々な教育活動に還元できるよう努めた。今後も地域の教育力の向上のため、地域において生涯学習活動が活発に行われるよう支援していく。

[実績及び成果]

(1) 地域教育活動事業費 5,210,329円

(ア) 土曜日の教育活動モデル事業費 1,240,923円

内 容	平成27年度			平成28年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
土曜日の教育活動モデル事業	—	—	—	12	703人	40回	大清水まなび交流館

(イ) 地域教育リーダー養成事業費 11,677円

内 容	平成27年度			平成28年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
地域教育リーダー養成事業	1	110人	4回	1	39人	3回	大清水まなび交流館

(ウ) 豊橋魅力発見講座事業費 884,731円

内 容	平成27年度			平成28年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
知っトク!豊橋ゼミナール	—	—	—	22	1,364人	80回	地区市民館ほか

(エ) 生涯学習推進セミナー事業費 336,998円

内 容	平成27年度		平成28年度		
	延参加者	回数	延参加者	回数	開催場所
生涯学習推進セミナー	2,367人	28回	2,155人	29回	校区市民館ほか

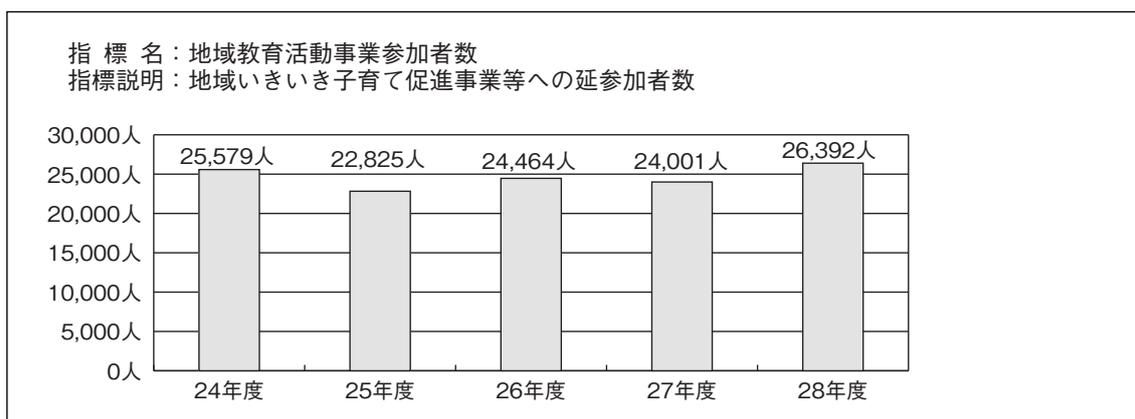
(オ) 地域いきいき子育て促進事業費 2,736,000円

内 容	平成27年度			平成28年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
地域いきいき子育て促進事業	52	21,524人	731回	52	22,131人	739回	校区市民館ほか

(2) 成人式開催事業費 4,980,820円

内 容	平成27年度			平成28年度			
	校 区	参加者	開催か所	校 区	参加者	開催か所	開催場所
成 人 式	51	3,819人	46か所	51	3,799人	46か所	小学校体育館ほか

[指 標]



2 家庭教育事業費 649,864 円（生涯学習課）

[総 括]

家庭教育に関する学習支援を充実させるため、家庭教育講座等を実施するとともに、学校、地域と連携した子育て学習講座等を開催した。今後も学校や家庭、地域の連携を図り、地域ぐるみで子どもを育てる活動を支援するなど、保護者への効果的な学習機会を提供していく。

[実績及び成果]

(1) 家庭教育講座事業費 649,864 円

内 容	平成27年度			平成28年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
家庭教育講座	6	136人	26回	3	138人	11回	地区市民館
家庭教育セミナー	—	—	—	15	341	15	地区市民館ほか
子育て学習講座	45	3,290	45	45	2,776	45	小学校
思春期家庭教育講座	1	600	1	3	1,300	3	豊岡中学校ほか

3 青少年交流活動促進事業費 1,095,347 円（生涯学習課）

[総 括]

親子や家族の交流、自然体験活動の充実を図るため「くろしおチャレンジプログラム」を実施したほか、同年代の子ども同士の交流、体験活動の機会として、青少年センターや自然史博物館等と連携し、防災・自然環境学習キャンプを実施した。また、中学生が柔軟な創造性や主張を正しく伝える力を身に付ける機会として「少年の主張」愛知県大会を開催した。今後も青少年の体験活動機会を充実し、交流活動の促進を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 青少年交流活動促進事業費 550,979 円

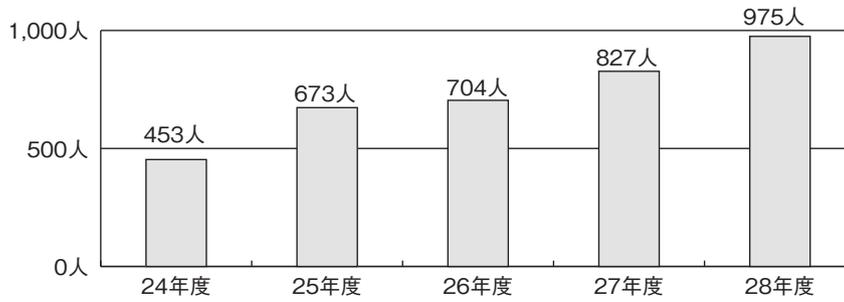
内 容	平成27年度		平成28年度		
	回数	参加者	回数	参加者	開催場所
自然体験プログラム遊びイベント21	21回	733人	18回	851人	少年自然の家
くろしおチャレンジプログラム	4	94	5	124	野外教育センター
キャンプ指導員養成講座	3	8	3	16	少年自然の家
出張講座	3	600	3	600	〃

(2) 少年の主張開催事業費 544,368 円

内 容	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度
少年の主張作文応募者数	—	53,006人

[指 標]

指 標 名：青少年交流活動促進事業への参加者数  
指 標 説 明：参加者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 図書館費 < 図書館の充実 >	471,997,316	106,000	0	1,360,644	470,530,672

1 中央図書館事業費 336,835,186 円 (図書館)

[総括]

データベースや Web 資料など電子化された情報資源活用のために、百科事典系データベース「ジャパンナレッジ・プラス NRK」導入により、紙と電子媒体による図書館サービスのハイブリッド化を推進した。また、新たに DAISY 図書（デジタル録音された音声図書）を導入し障害者サービスの向上に努めたほか、「片身のスズキ」の再版や図書館が所蔵する拓本の資料集の刊行により、郷土の貴重な資料を市民に提供した。さらに、豊橋市と田原市の図書館が連携した資料展や研修会を開催し、知識と相互理解を深めた。今後も貴重な資料や有益な図書の収集に努めるとともに、多様化・高度化する図書館へのニーズに対応するため、適切なサービスの提供や環境の整備に努める。

[実績及び成果]

[利用状況等]

区 分	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	比 較
開 館 日 数	291日	291日	0.0%
入 館 者 数	延 386,698人	延 379,420人	△ 1.9
館 外 貸 出 人 数	延 204,191	延 189,215	△ 7.3
館 外 貸 出 冊 数	延 992,213冊	延 933,111冊	△ 6.0
館外貸出人数 (C D)	延 5,418人	延 8,594人	58.6
館外貸出点数 (C D)	延 10,066点	延 16,005点	59.0
蔵 書 冊 数	665,574冊	674,947冊	1.4
( ) 内は司文庫で再掲	(34,459)	(34,566)	(0.3)
視 聴 覚 資 料 所 蔵 数	6,298点	6,383点	1.3

[資料購入状況]

区 分	内 容	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	比 較
図 書	一 般	7,893冊	9,131冊	15.7%
	児 童	2,601	2,791	7.3
	参 考	376	290	△22.9
	郷 土	121	81	△33.1
	計	10,991	12,293	11.8
逐次刊行物	雑 誌 等	243種	244種	0.4
	新 聞	22	22	0.0
	追 録	8	8	0.0
視 聴 覚 資 料	C D、 D V D 等	52点	72点	38.5

- (1) 施設管理費 33,799,636 円
- (2) 児童図書業務費 11,232,882 円
- (3) 一般図書業務費 39,510,840 円
- (ア) 障害者サービスの充実 40,000 円
- (4) レファレンス業務費 3,281,174 円

(5) 郷土・司文庫等図書業務費 3,024,079 円

(ア) 司文庫図書等購入費 752,522 円

区 分	平成27年度	平成28年度	比 較
図 書 購 入	97冊	107冊	10.3%

(イ) 和装本整備事業費 652,567 円

(ウ) 図書館所蔵拓本資料集の発行 569,310 円

(エ) 民話集「片身のスズキ」の再版 375,000 円

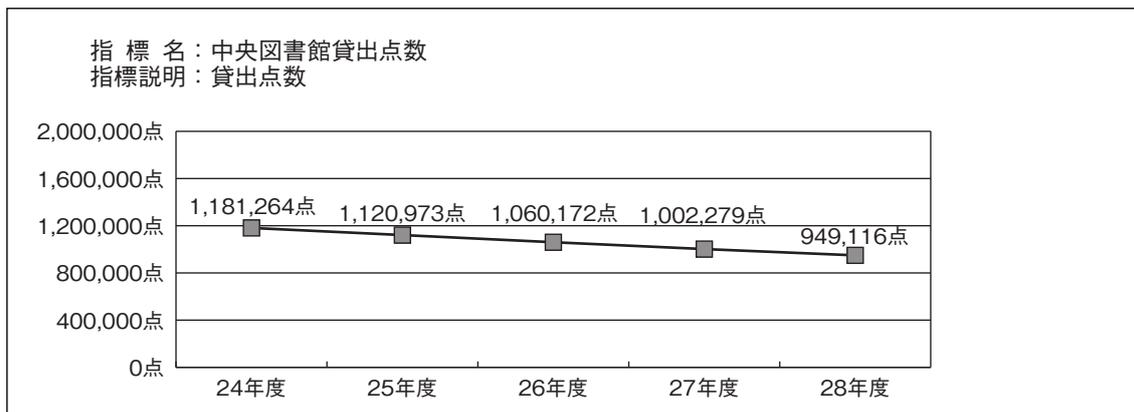
(6) AV・CD電子図書業務費 1,782,698 円

(7) 行事開催業務費 9,896,616 円

区 分	平成27年度		平成28年度	
資 料 展 (司文庫展、「平和を求めて」展等)	8回	延 17,012人	8回	延 14,803人
資 料 展 関 連 行 事	9回	延 752	8回	延 397
市 民 向 け 講 座	6講座	延 365	6講座	延 231
ボランティア等育成講座、研修	7講座	延 376	9講座	延 437
講 演 会 、 コ ン サ ー ト	1回	延 180	—	
映 画 上 映 会	5回	延 259	9回	延 240
図 書 館 子 ども フェ スタ	4~5月	延 1,329	4~5月	延 1,448
夏 休 み 子 ども フェ ス テ ィ バ ル	7月	延 253	7月	延 283
図 書 館 ま つ り	12月	延 3,699	11・12月	延 3,752
初めての絵本との出会い事業 (豊橋版ブックスタート)	48回	配付人数 3,340人 (絵本等)	49回	配付人数 3,243人 (絵本等)
初めての絵本との出会い事業 (豊橋版ブックスタート) 赤ちゃん広場	36回	延 2,968人	36回	延 3,377人
お は な し の へ や	439回	延 7,370	435回	延 7,732
図 書 館 へ 行 こ う	9校	延 448	10校	延 617
調 べ 学 習 コ ン ク ー ル	24校	307	18校	305
本 の リ サ イ ク ル フェ ア	2回	延 875	2回	延 1,013
本 の フ リ ー マ ー ケ ッ ト	—		1回	延 871

(8) カウンター窓口業務費 20,832,826 円

[指 標]



2 向山図書館事業費

39,534,840 円（図書館）

[総括]

市民がより身近で図書館サービスを利用できるよう、ネットワーク館（図書館システム設置分室）と連携した配本業務に努めた。また、利用者が興味を引くテーマごとに選書したセット本を循環させる図書交換業務を充実させ、市民館等での図書室利用促進を図った。配本機能に加え図書館機能の充実にも努め、今後もネットワーク館の拡大など、広範な市域の利用者への充実した図書館サービスの提供に努める。

[実績及び成果]

[利用状況等]

区 分		平成27年度	平成28年度	比 較
開 館 日 数		291日	291日	0.0%
入 館 者 数		延 149,856人	延 146,961人	△ 1.9
館外貸出人数	向 山 図 書 館	延 73,550	延 69,599	△ 5.4
	分 室	延 85,906	延 82,069	△ 4.5
	計	延 159,456	延 151,668	△ 4.9
館外貸出冊数	向 山 図 書 館	延 323,382冊	延 296,346冊	△ 8.4
	分 室	延 287,983	延 269,869	△ 6.3
	計	延 611,365	延 566,215	△ 7.4
蔵 書 冊 数		267,349	267,948	0.2

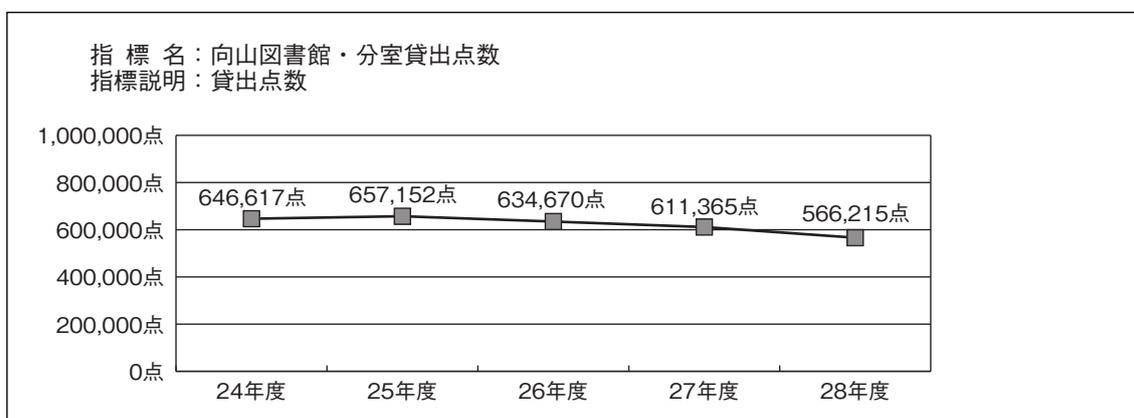
[資料購入状況]

区 分	内 容	平成27年度	平成28年度	比 較
図 書	一 般	4,744冊	4,689冊	△ 1.2%
	児 童	3,509	3,409	△ 2.8
	参 考	3	3	0.0
	郷 土	9	13	44.4
	計	8,265	8,114	△ 1.8
逐次刊行物	雑 誌	49種	49種	0.0
	新 聞	10	10	0.0

(1) 配本業務費 34,339,749 円

(2) カウンター窓口業務費 5,195,091 円

[指 標]



3 大清水図書館事業費

47,000,702 円（図書館）

[総括]

開館2年目となり、地域の図書館として市民に定着したことのほか、充実した図書館サービスを提供したことで、多くの市民に利用された。

また、より多くの市民が図書に触れ、親しむためのきっかけになるような講演会等を開催し、市民の読書活動推進を図った。

[実績及び成果]

[利用状況等]

区 分	平成27年度	平成28年度	比 較
開館日数	288日	291日	1.0%
入館者数	延 278,792人	延 290,182人	4.1
館外貸出人数	延 60,052	延 60,585	0.9
館外貸出冊数	延 288,719冊	延 298,264冊	3.3
館外貸出人数(CD)	延 476人	延 632人	32.8
館外貸出点数(CD)	延 786点	延 1,034点	31.6
蔵書冊数	55,808冊	61,023冊	9.3
視聴覚資料所蔵数	319点	390点	22.3

[資料購入状況]

区 分	内 容	平成27年度	平成28年度	比 較
図 書	一 般	4,184冊	3,322冊	△ 20.6%
	児 童	1,271	1,592	25.3
	参 考	15	0	皆減
	郷 土	18	15	△ 16.7
	計	5,488	4,929	△ 10.2
逐次刊行物	雑 誌 等	130種	132種	1.5
	新 聞	10	10	0.0
視聴覚資料	C D、D V D 等	77点	64点	△ 16.9

(1) 施設管理費 6,207,665 円

(2) 図書業務費 12,435,395 円

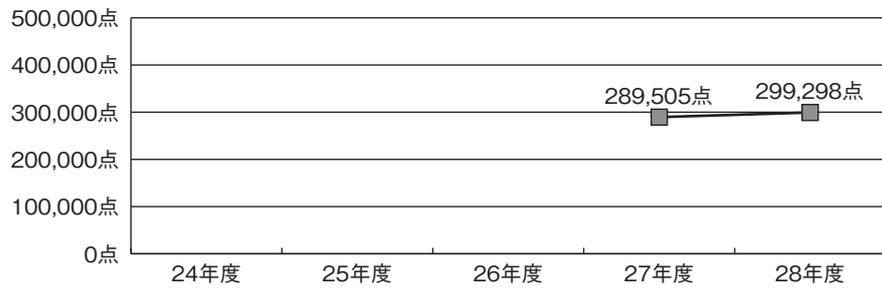
(3) 行事開催業務費 128,638 円

区 分	平成27年度	平成28年度
開館記念イベント	3回 延 283人	—
市民向け講座	1回 延 39	—
講演会	1回 延 105	1回 延 95人
ミナクルまつり	11月(1日間) 延 257	11月(1日間) 延 167
おはなしのへや	46回 延 1,182	71回 延 1,653

(4) カウンター窓口業務費 28,229,004 円

[指 標]

指 標 名：大清水図書館貸出点数  
指 標 説 明：貸出点数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5日 美術博物館費 <美術博物館の充実>	311,363,250	0	0	42,761,146	268,602,104

1 美術博物館事業費 278,464,269円 (美術博物館)

[総括]

戦後から現代までの革新的な日本画をテーマとした「NIHON画」展を開催したほか、収蔵品展では没後10年となる平川敏夫の画業を回顧し、アンドリュウ・ワイエス展やヴォルフスブルグ交流展では海外作家の貴重な作品を紹介した。「描く!マンガ展」や「放浪の天才画家 山下清展」など知名度の高い作家の展覧会を開催し、家族連れや、幅広い年齢層のファンなど多くの来館者を得た。また、展覧会に合わせて講演会やワークショップ、ギャラリートークなど普及事業を実施した。

増築した収蔵庫・展示室をオープンし、資料保存や展示機能を向上するとともに、従来の喫茶店をカフェレストランとしてリニューアルし、来館者に快適な時間を提供した。

今後も、郷土ゆかりの美術・歴史資料の研究、優れた芸術作品の紹介、市民に幅広く受け入れられる展覧会の開催に努める。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 78,769,407円

(ア) 喫茶室改修費 33,839,859円

名 称	カフェレストラン「ポール ダール」
内 容	厨房面積の拡大・充実、屋外テラス席・照明設備新設、出入口移設 等
延 床 面 積	99㎡ (室内32席、屋外テラス16席)

平成28年9月22日 リニューアルオープン

(イ) 施設管理事業費 44,929,548円

[利用状況]

区 分	平成27年度		平成28年度		比 較
開 館 日 数	285日		308日		8.1%
企 画 展	10件	延 68,224人	11件	延110,177人	61.5
共 催 展	6	延 12,439	5	延 7,081	△43.1
一 般 展	69	延 74,728	71	延 78,513	5.1
公 開 講 座 等	33	延 9,209	24	延 2,850	△69.1
計	164,600		198,621		20.7

(2) 展覧会事業費 59,544,447 円

(ア) 展覧会開催事業費 56,356,154 円

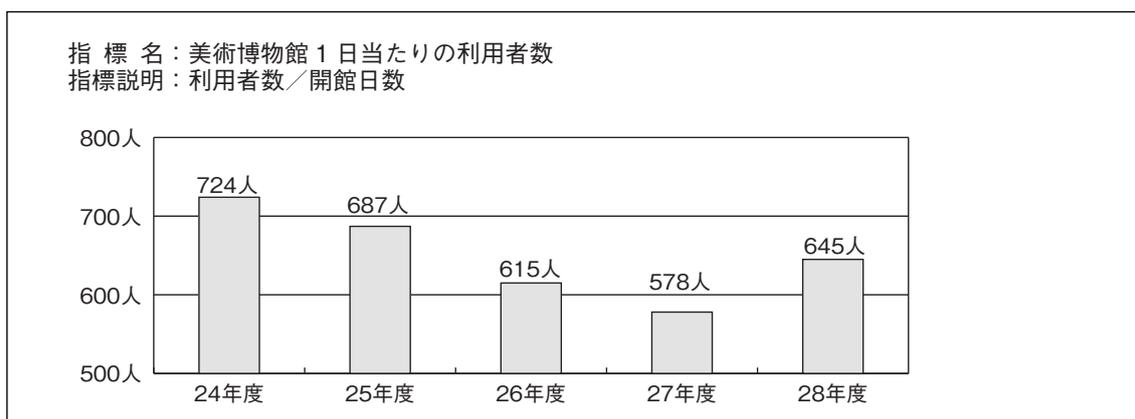
平成 27 年度		平成 28 年度		入場者数 比較
展覧会名	延入場者数	展覧会名	延入場者数	
豊橋市美術博物館 「新」収蔵品展	4,308人	豊橋市美術博物館 「新」収蔵品展	2,925人 (1回 15人)	△32.1%
第 37 回 豊 橋 美 術 展	3,945	第 38 回 豊 橋 美 術 展	3,153	△20.1
第 65 回 豊 橋 市 民 展	3,530	第 66 回 豊 橋 市 民 展	4,378	24.0
岡本太郎と中村正義「東京展」	10,113 (1回 80人)	市制施行110周年・美術博物 館リニューアル記念展 「NIHON画～新たな地平を求 めて」	4,833 (4回120人)	—
「軍隊と豊橋」展	4,844 (1回104人)	描く！マンガ展～名作を生む 画技に迫る	9,683 (7回430人)	—
生誕120年 武井武雄の世界 展	5,310 (2回 50人)	丸沼芸術の森所蔵 アンドリュウ・ワイエス水彩・素描展	7,637 (6回328人)	—
模型の魅力展 —タミヤとファインモールド—	13,607 (1回141人)	市制施行110周年記念 放浪の天才画家 山下清展	28,359 (4回1,707人)	—
収蔵品展 color rooms	4,213	収蔵品展 没後10年 平川敏夫展	3,452	—
大般若経展	3,685 (2回130人)	市制施行110周年記念 普門寺と国境のほとけ展	14,369 (2回250人)	—
		市制施行110周年記念 豊橋・ヴォルフスブルグ交流展	4,049	—
常 設 展	14,669	常 設 展	27,339	86.4
延396日	68,224 (7回 505人)	延535日	110,177 (24回2,850人)	61.5

※ ( ) は記念講演会等の開催回数及び参加人数で外書き

(3) 資料収集事業費 9,980,940 円

区 分	平成 27 年度	平成 28 年度
美 術 資 料	戸谷成雄作 彫刻 「(森)シリーズ湿地帯」等 3点	岡村桂三郎作 日本画 「獄龍」等 3点
歴 史 資 料	「工女約定証綴」等 6件	「三河国八名郡乗本菅沼 家文書」等 8件

[指 標]



2 民俗資料収蔵室運営事業費 3,683,255 円（美術博物館）

[総 括]

民俗資料収蔵室として活用する旧多米小学校は、昭和 19 年に建てられた市内に残る唯一の木造校舎で、当時のたたずまいを思い起こさせる歴史的な価値を備えており、民俗資料を活用した小学生の体験教室にも利用されている。また、映画「早咲きの花」のロケ地として使用されたことをきっかけとして、当時の教室の様子を再現している。今後、将来に向けての保存及び活用方法を検討し、利用者の拡大を図る。

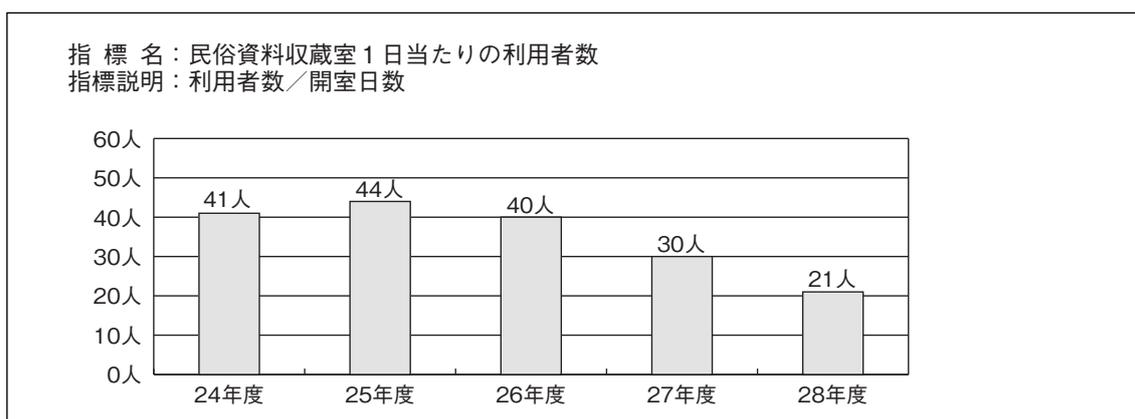
[実績及び成果]

(1) 民俗資料収蔵室運営事業費 3,683,255 円

[利用状況]

区 分	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	比 較
開 室 日 数	164日	164日	0.0%
延 入 室 者 数	4,955人	3,452人	△30.3

[指 標]



3 美術博物館収蔵庫等整備事業費 24,544,698 円（美術博物館）

[総括]

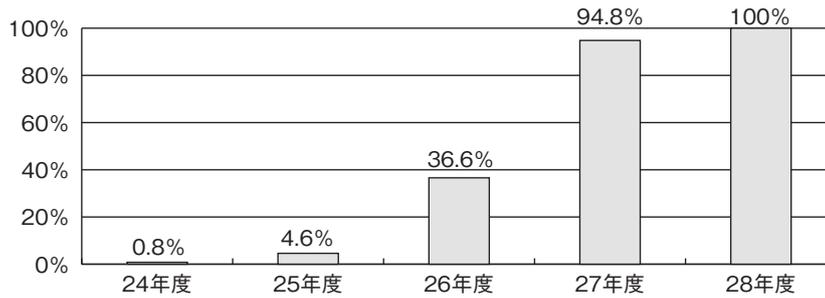
平成 26 年度から 2 か年で収蔵庫及び展示室の増築工事を実施し、平成 28 年秋に供用開始した。

[実績及び成果]

(ア) 備品購入費等 24,544,698 円

[指標]

指標名：美術博物館収蔵庫等整備事業進捗率  
指標説明：実施事業費／総事業費(平成24年度～平成28年度)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 歴史資源保存活用費 <歴史資源の保存と活用>	95,512,555	0	0	11,118,738	84,393,817

1 二川宿本陣資料館事業費 76,617,542円 (美術博物館)

[総括]

東海道を中心とした江戸時代の交通、地域の歴史や文化を紹介するため、常設展示をはじめ、「伊豆守が行く」、「判じ絵の世界」、「申年から酉年 干支と新春の遊び展」などの企画展、「体験講座」、「ひなまつり」などを開催したほか、地元住民が主体となって開催する「大名行列」への助成、展示資料収集、調査研究活動に取り組んだ。

今後、より多くの市民に来館してもらえよう魅力的な企画展の開催に努めるとともに、イベント等開催にあたって地域住民との更なる連携に努める。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 30,023,267円

[利用状況]

区 分	平成27年度	平成28年度	比 較
開 館 日 数	312日	312日	0.0%
延 入 館 者 数	50,732人	45,208人	△10.9

(2) 展覧会事業費 9,696,625円

(ア) 展覧会開催事業費 8,000,434円

平成27年度		平成28年度	
区 分	延入館者数	区 分	延入館者数
東「貝」道五十七次展	5,203人	伊豆守が行く	4,367人
本陣に泊まった大名たちⅡ	7,487	判じ絵の世界	10,682
忠臣蔵浮世絵展	3,664	申年から酉年 干支と新春の遊び展	1,982
常設企画展 2回	6,146	常設企画展 2回	6,854
記念講演会等 3	123	記念講演会等 2	113
計	22,623	計	23,998

(イ) 琴のしらべ開催等事業費 615,202 円

平成27年度		平成28年度	
区 分	延入館者数等	区 分	延入館者数等
五月人形展－端午の節句－	会期中入館者 2,350人	五月人形展－端午の節句－	会期中入館者 3,435人
琴のしらべ・本陣茶会	入館者 326	琴のしらべ・本陣茶会	入館者 366
ほんじん講座	受講者 43	ほんじん講座	受講者 36
七夕の節句	会期中入館者 843	七夕の節句	会期中入館者 773
本陣体験講座「ゆかたを着よう」	参加者 16	本陣体験講座「ゆかたを着よう」	参加者 13
本陣体験講座「和本を作ろう」	参加者 36	本陣体験講座「和本を作ろう」	参加者 17
菊の節句－重陽－	会期中入館者 1,346	菊の節句－重陽－	会期中入館者 724
本陣古文書講座	参加者 158	本陣古文書講座	参加者 281
春の七草展－人日の節句－	会期中入館者 1,252	春の七草展－人日の節句－	会期中入館者 930
ひなまつり	会期中入館者 21,644	ひなまつり	会期中入館者 14,556
本陣句会	応募者 122	本陣句会	応募者 144

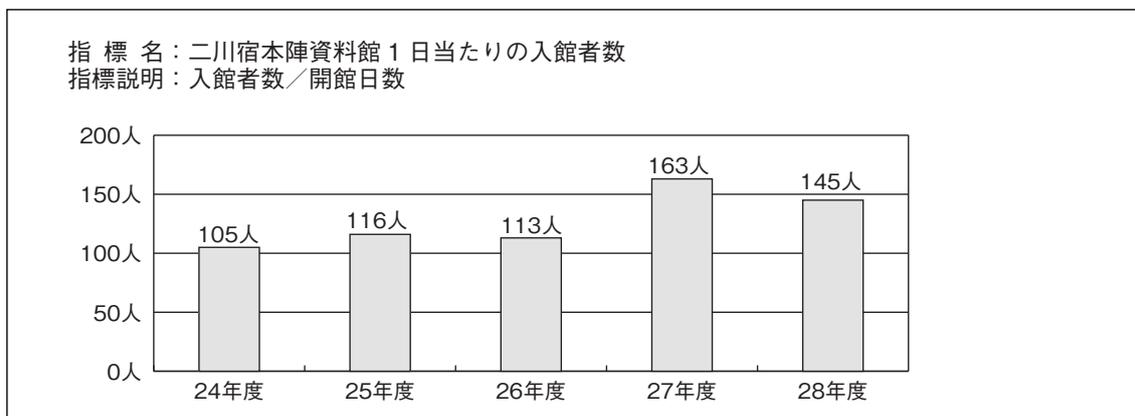
(3) 資料収集事業費 969,160 円

内 容	平成27年度	平成28年度
	美人東海道 三島等 9点	ひな飾り 等 9点

(4) 二川宿本陣まつり（大名行列）開催事業補助金 4,500,000 円

補 助 金	平成27年度	平成28年度
	4,500,000円	4,500,000円

[指 標]



2 商家「駒屋」事業費

18,895,013 円（美術博物館）

〔総括〕

商家「駒屋」を生涯学習、地域の交流、観光の拠点となる体験型施設とし、二川宿本陣資料館と連携して五節句などのイベントを開催した。カフェでの飲食提供や、ショップでの土産物などの物品販売を行うとともに、各種イベントを開催した。今後、地域資源を活用し、住民と行政が協働して魅力ある施設として入館者増に努める。

〔実績及び成果〕

(1) 施設管理事業費

18,895,013 円

〔利用状況〕

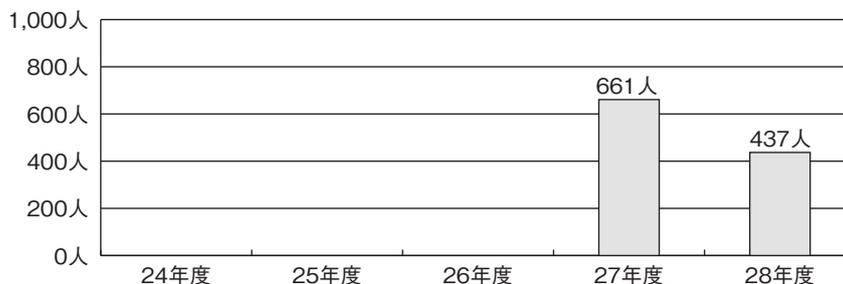
区 分	平成27年度	平成28年度	比 較
開 館 日 数	128日	312日	2.4倍
延 入 館 者 数	84,620人	136,272人	61.0%

〔主なイベント開催状況〕

平成27年度		平成28年度	
区 分	延入館者数	区 分	延入館者数
懐かしの二川写真展	会期中入館者 15,219人	二川宿写真展	会期中入館者 2,870人
人日の節句	入 館 者 498	インテリア書道展	入 館 者 2,115
ひなまつり	会期中入館者 38,087	ひなまつり	会期中入館者 24,452

〔指 標〕

指 標 名：商家「駒屋」1日当たりの入館者数  
 指標説明：入館者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 文化財保護活動費 <文化財保護活動の担い手の育成>	192,519,365	59,963,000	0	48,968,132	83,588,233

1 文化財保護事業費 192,519,365 円 (美術博物館)

[総括]

市内に所在する埋蔵文化財の発掘調査や指定・登録文化財に関する各種調査、指定文化財の修理費等に対する助成や普及・活用のための事業を行った。また、文化財センターを活用した展示や講座の開催、国史跡瓜郷遺跡の用地購入に取り組んだ。さらに、新たに国指定史跡となった馬越長火塚古墳群の保存活用計画策定に着手した。今後、発掘調査事業や指定文化財の修理等に適切に対応し、文化財保護活動を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 文化財調査事業費 172,884,027 円

(ア) 市内遺跡発掘調査

内 容	平成27年度	平成28年度
	小浜貝塚・市場遺跡・瓜郷遺跡ほかの緊急発掘調査及び普門寺旧境内の総合調査	

(イ) 牛川西部地区緊急発掘調査

内 容	平成27年度	平成28年度
	西側遺跡・眼鏡下池北遺跡の発掘調査	

(ウ) 牟呂坂津地区緊急発掘調査

内 容	平成27年度	平成28年度
	境松遺跡・若宮遺跡ほかの発掘調査	

(エ) 報告書作成業務

内 容	平成27年度	平成28年度
	埋蔵文化財調査報告書第136・137・138・139・140・141集の作成	

(オ) 埋蔵文化財緊急発掘調査

内 容	平成27年度	平成28年度
	橋良遺跡・中村遺跡ほかの試掘確認調査	

(カ) 指定天然記念物植生調査

内 容	平成27年度	平成28年度
	葦毛湿原・ナガバノイシモチソウ自生地の植生調査や回復作業	

(キ) 史跡瓜郷遺跡公園整備用地購入費

内 容	平成27年度	平成28年度
	26年度繰越事業として、史跡瓜郷遺跡の指定地内の土地を3か所購入	

(ク) 史跡馬越長火塚古墳群保存活用計画策定

内 容	平成27年度	平成28年度
	—	国指定史跡馬越長火塚古墳群の保存活用計画の策定（1年目）

(2) 文化財保存事業補助金 7,144,000円

内 容	平成27年度	平成28年度
	玉泉寺のナギの樹勢回復及び臨濟寺所蔵文化財の保存修理	賀茂神社本殿の建物修理、玉泉寺のナギの樹勢回復、赤岩寺収蔵庫の修理

(3) 文化財保存活用事業費 12,491,338円

(ア) 文化財センター展示公開等事業費

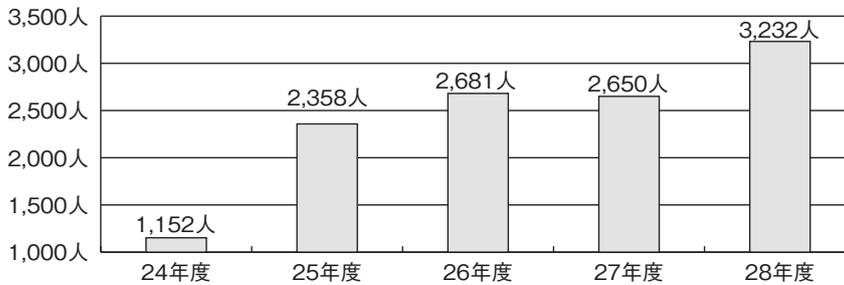
内 容	平成27年度	平成28年度
	「発見 発掘 豊橋考古速報展」をはじめ、4回の企画展を開催	「橋良遺跡の土器たち展」をはじめ、4回の企画展を開催

(イ) とよはし歴史探訪等開催事業費

内 容	平成27年度	平成28年度
	文化財めぐりや史跡めぐりなど現地見学、勾玉づくりなど体験講座を開催	文化財めぐりや史跡めぐりなど現地見学、勾玉づくりなど体験講座を開催

[指 標]

指 標 名：文化財保護事業参加者数  
 指標説明：文化財調査事業（発掘調査現地説明会等）参加者＋文化財保存活用事業（保護講演会・とよはし歴史探訪等）参加者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5項 保健給食費	3,414,819,979	0	22,800,000	1,515,256,585	1,876,763,394
2目 子どもの健康増進費 <子どもの心と体の健康増進>	3,324,346,631	0	22,800,000	1,515,256,585	1,786,290,046

1 学校保健事業費 173,886,503 円 (保健給食課)

[総括]

児童生徒及び教職員の健康状態を把握し、疾病の早期発見に努めるとともに、児童生徒が安全かつ健康的な学校生活を送れるよう学校環境の衛生管理を行った。今後も各学校や関係機関と連携し、効率的・効果的な健康診断の実施や、学校環境調査後、基準超過校への事後措置の徹底を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 学校健康診断事業費 139,411,528 円

(ア) 学校医、学校歯科医、学校薬剤師報酬 102,125,471 円

区 分		人 員	
		平成27年度	平成28年度
学 校 医	内 科	77人	78人
	耳 鼻 科	15	15
	眼 科	14	14
学 校 歯 科 医		82	82
学 校 薬 剤 師		39	39
計		227	228

(イ) 健康診断費 37,286,057 円

区 分	対 象	平成27年度	平成28年度	比 較
検 便	児 童	31,420人	10,643人	△66.1%
検 尿	児 童 生 徒	34,091	33,458	△ 1.9
心 電 図 検 査	小中高各1年・小4年・その他	10,813	10,905	0.9
就 学 時 健 診	入 学 予 定 児	3,541	3,375	△ 4.7
教 職 員 健 診	全 員	8,222	8,092	△ 1.6

(2) 学校保健会補助金 648,411 円

補 助 金	平成27年度	平成28年度
	649,700円	648,411円

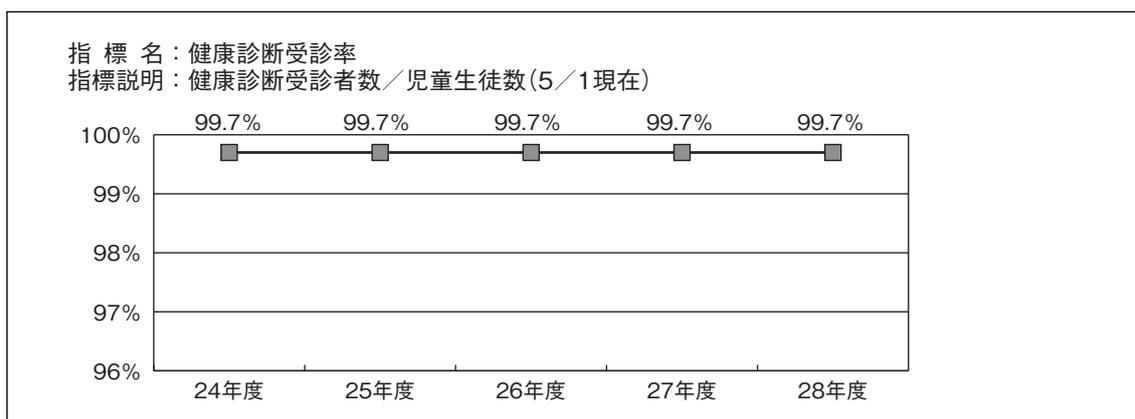
(3) 学校事故災害給付金等請求事業費 31,858,654 円

(ア) 日本スポーツ振興センター共済掛金負担金 30,850,150 円

(4) 学校結核予防事業費 1,967,910 円

区 分	児 童 生 徒			教 職 員		
	平成27年度	平成28年度	比 較	平成27年度	平成28年度	比 較
ツベルクリン反応検査	0人	0人	0.0%	—	—	—
間 接 撮 影	287	280	△ 2.4	1,829人	1,850人	1.1%
直 接 撮 影	236	275	16.5	6	6	0.0
事 後 措 置	1	7	7.0倍	0	2	皆増

[指標]



2 共同調理場運営事業費 1,260,626,581 円（保健給食課）

[総括]

小学校 52 校、中学校 22 校、特別支援学校 1 校の児童生徒に安全な給食を提供するため、衛生管理に十分配慮した調理を行うとともに、施設設備の充実改善に努めた。今後も給食物資について、生産者の顔が見える安全・安心で新鮮な地場産物の活用を推進するとともに、栄養価を考慮しながらおいしい給食を提供するよう努める。

[実績及び成果]

(1) 共同調理場運営事業費（南部） 215,202,783 円

平成 27 年度				平成 28 年度				食数比較
小学校	13校	5,736人	延1,632,916食	小学校	13校	5,677人	延1,619,248食	
中学校	5	3,009		中学校	5	2,961		
特別支援学校	1	328		特別支援学校	1	340		

(2) 共同調理場運営事業費（北部） 490,135,223 円

平成 27 年度				平成 28 年度				食数比較
小学校	13校	4,783人	延1,392,492食	小学校	13校	4,818人	延1,397,675食	
中学校	6	2,901		中学校	6	2,872		

(3) 共同調理場運営事業費（西部） 127,859,078 円

平成 27 年度				平成 28 年度				食数比較
小学校	11校	5,567人	延1,446,980食	小学校	11校	5,527人	延1,450,005食	
中学校	5	2,406		中学校	5	2,391		

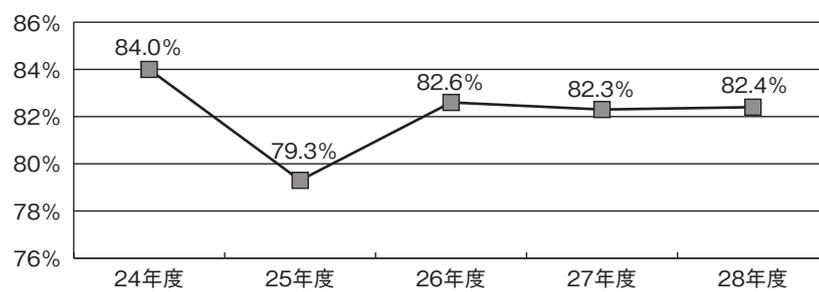
(4) 共同調理場運営事業費（東部） 173,442,863 円

平成 27 年度				平成 28 年度				食数比較
小学校	15校	6,246人	延1,766,156食	小学校	15校	6,283人	延1,768,043食	
中学校	6	3,578		中学校	6	3,511		

[指 標]

指 標 名：学校給食の豊橋産食材使用率

指標説明：豊橋産食材使用日数／給食実施日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6項 市民体育費	888,480,655	106,371,360	99,000,000	23,102,098	660,007,197
2目 スポーツ活動促進費 <スポーツ活動への参加促進>	121,269,155	0	0	18,268,940	103,000,215

1 地域スポーツ推進事業費 10,058,260円 (「スポーツのまち」づくり課)

[総括]

市民一人ひとりが生涯を通じてスポーツ活動を行うための体制づくりと生涯スポーツに対する意識高揚を図った。今後もスポーツ推進委員活動、スポーツ少年団活動及び総合型地域スポーツクラブの連携を進め、地域スポーツ活動の推進を図っていく。

[実績及び成果]

(1) スポーツ推進委員活動事業費 7,469,260円

スポーツ推進委員	平成27年度		平成28年度	
		112名	6,710,000円	112名

(2) スポーツ少年団活動事業補助金 900,000円

補助金	平成27年度		平成28年度	
		134団体	900,000円	134団体

(3) 総合型地域スポーツクラブ支援事業費 1,689,000円

内 容	平成27年度		平成28年度	
		新規クラブ設立支援		新規クラブ自立支援

[指標]

指標名：地域スポーツ行事参加者数

指標説明：スポーツ推進委員活動行事参加者数＋スポーツ少年団活動事業参加者数  
＋総合型地域スポーツクラブ行事参加者数



2 一般体育振興事業費 111,210,895 円 (「スポーツのまち」づくり課)

[総括]

スポーツの普及発展を図るための各種大会の開催や学校体育施設の開放事業のほか、豊橋市体育協会への活動支援を行った。今後も各種スポーツ行事の内容を検討し、より一層のスポーツ振興を図る。

[実績及び成果]

(1) スポーツ活動推進事業費 11,142,570 円

(ア) 行事開催

区 分	平成27年度			平成28年度		
	開催日	会 場	参加人数	開催日	会 場	参加人数
スポーツフェスタ	7月～12月	陸上競技場ほか	延8,358人	6月～11月	陸上競技場ほか	延8,157人
体育の日記念行事 (ウエルネス)	27.10.12	総合体育館	2,000	28.10.10	総合体育館	2,500
豊橋みなの シティマラソン	27.11.8	総合スポーツ公園 - 神野西町一丁目	3,000	28.11.6	総合スポーツ公園 - 神野西町一丁目	3,155
渥美半島駅伝競走大会	休止			休止		
穂の国・豊橋ハーフマラソン	28.3.27	豊橋公園発着 (市内周回)	4,574	29.3.26	豊橋公園発着 (市内周回)	4,566

(イ) 生涯スポーツ推進市民会議

開 催 回 数	平成27年度	平成28年度
		3回

(2) 市民スポーツ祭事業補助金 500,000 円

補 助 金	平成27年度		平成28年度	
		32種目	500,000円	32種目

(3) 学校体育施設開放運営事業費 43,640,248 円

開放施設 市立小・中学校、県立高校 計 81 校

[利用状況]

区 分	平 成 2 7 年 度			平 成 2 8 年 度		
	体育館	運動場	計	体育館	運動場	計
バレーボール	延190,301人	—人	190,301人	延162,223人	—人	162,223人
剣 道	延 72,893	—	72,893	延 60,930	—	60,930
空 手	延 35,926	—	35,926	延 33,775	—	33,775
野 球	—	延157,299	157,299	—	延129,743	129,743
ソフトボール	—	延 33,658	33,658	—	延 28,914	28,914
卓 球	延 20,314	—	20,314	延 9,468	—	9,468
バドミントン	延 33,125	—	33,125	延 31,328	—	31,328
サ ッ カ ー	—	延222,844	222,844	—	延217,664	217,664
バスケットボール	延113,026	—	113,026	延102,249	—	102,249
ソフトバレー	延115,393	—	115,393	延 97,533	—	97,533
インディアカ	延 31,811	—	31,811	延 22,681	—	22,681
そ の 他	延123,029	延 29,474	152,503	延 99,365	延 30,911	130,276
計	735,818	443,275	1,179,093	619,552	407,232	1,026,784

(4) 豊橋市体育協会補助金 48,628,077 円

補 助 金	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度
		47,788,076円

(5) 日本港湾福利厚生協会補助金 7,000,000 円

補 助 金	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度
		プール延利用者数 56,956人 7,000,000円

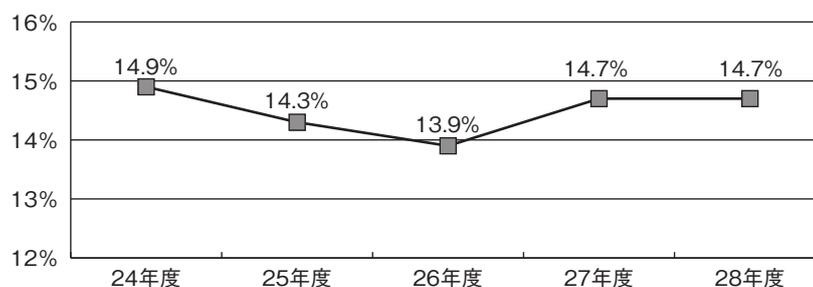
(6) 市町村対抗駅伝競走大会参加補助金 300,000 円

補 助 金	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度
		300,000円

[指 標]

指 標 名：市・体育協会主催スポーツ活動参加率

指標説明：市・体育協会主催スポーツ活動参加者数／10月1日現在豊橋市人口



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 競技スポーツ推進費 <競技者を支える環境づくり>	2,806,722	0	0	290,820	2,515,902

1 スポーツ活動顕彰事業費 1,940,418円 (「スポーツのまち」づくり課)

[総括]

スポーツの普及発展に貢献した市民を顕彰することで、競技者・関係者の意欲や市民のスポーツへの関心を高めることに寄与している。

[実績及び成果]

(1) スポーツ活動顕彰事業費 1,940,418円

	平成27年度	平成28年度
ス ポ ー ツ 賞	2名	2名
ス ポ ー ツ 奨 励 賞	4名	1名・1団体
ス ポ ー ツ 特 別 賞	—	4名

2 競技力向上事業費 866,304円 (「スポーツのまち」づくり課)

[総括]

競技者や指導者の能力向上のため、トップアスリート等を活用した強化育成支援及び広域的なスポーツ交流を図る。

[実績及び成果]

(1) 競技力向上事業費 866,304円

区 分	平成27年度			平成28年度		
	開催日	会 場	参加人数	開催日	会 場	参加人数
三遠南信スポーツ 交流事業	27.11.28 27.12.23	浜松球場 武道館	525人	28.11.26 28.12.23	市民球場 武道館	537人
競技力向上対策事業	28.2.21	新栄 地区体育館	130	28.6.25	アクアリーナ 豊橋	118

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 スポーツ環境整備費 ＜スポーツ環境の整備充実＞	687,053,533	106,371,360	99,000,000	4,542,338	477,139,835

1 スポーツ施設管理運営事業費 687,053,533円 (「スポーツのまち」づくり課)

[総括]

各スポーツ施設は指定管理者により効率的、効果的な管理運営が行われた。また、陸上競技場本部スタンド改築工事に着手したなど、施設の整備充実を図った。今後も施設の改修、整備を計画的かつ効率的に行い、市民が手軽にスポーツに親しめるよう施設の充実を図る。

[実績及び成果]

(1) 総合運動場管理運営事業費 286,224,235円

[利用状況]

＜総合運動場＞

区 分	平成27年度		平成28年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
豊 橋 球 場	248日	52,987人	264日	56,485人	6.6%
東 田 球 場	222	24,506	223	22,566	△ 7.9
陸 上 競 技 場	271	64,399	291	55,882	△13.2
硬 式 庭 球 場	288	9,925	285	10,645	7.3
軟 式 庭 球 場	278	39,129	291	40,392	3.2
計	—	190,946	—	185,970	△ 2.6

＜市民プール＞

区 分	平成27年度		平成28年度		比 較 (延利用人員)
	延利用人員	1日平均	延利用人員	1日平均	
大 人	5,241人	77人	6,389人	95人	21.9%
小 ・ 中 学 生	5,827	86	6,357	95	9.1
幼 児	3,026	45	3,629	54	19.9
団 体	0	—	453	—	皆増
計	14,094	208	16,828	244	19.4

区 分	平成27年度	平成28年度	比 較
開 場 日 数	68日	67日	△ 1.5%
1日の最高入場者数	745人	738人	△ 0.9

<武道館>

区 分	平成27年度		平成28年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
柔 道 場	290日	18,477人	304日	23,559人	27.5%
剣 道 場	306	16,754	305	18,394	9.8
弓 道 場	305	14,623	306	18,867	29.0
相 撲 場	157	976	136	1,221	25.1
ト レ ー ニ ン グ 室	305	27,145	305	27,851	2.6
計	—	77,975	—	89,892	15.3

[施設整備]

内 容	平成27年度	平成28年度
		陸上競技場走路修繕工事 陸上競技場スタンド建設実施設計業務

(2) 地区体育館管理運営事業費 62,186,497 円

[利用状況]

区 分	平成27年度		平成28年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
前 田 南	308日	42,219人	308日	39,344人	△ 6.8%
新 栄	308	31,001	308	33,038	6.6
牛 川	308	36,946	308	38,879	5.2
草 間	308	42,951	308	43,198	0.6
飯 村	308	42,546	308	42,959	1.0
下 五 井	308	34,644	308	34,362	△ 0.8
浜 道	308	35,806	308	38,034	6.2
二 川	308	34,837	308	35,389	1.6
石 卷	308	34,652	308	35,116	1.3
大 清 水	308	44,362	308	53,307	20.2
計	—	379,964	—	393,626	3.6

[施設整備]

内 容	平成27年度	平成28年度
		飯村地区体育館屋根防水工事

## (3) トレーニングセンター管理運営事業費 8,467,199 円

〔利用状況〕

区 分	平成27年度		平成28年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
競 技 場	308日	21,064人	306日	21,507人	2.1%
ト レ ー ニ ン グ 室	244	815	277	1,068	31.0
和 室	100	1,078	97	874	△18.9
調 理 室	5	260	4	110	△57.7
研 修 室 ・ 集 会 室	281	5,782	287	6,542	13.1
テ ニ ス コ ー ト 等	198	4,891	243	5,348	9.3
計	—	33,890	—	35,449	4.6

## (4) グリーンスポーツセンター管理運営事業費 9,092,270 円

〔利用状況〕

区 分	平成27年度		平成28年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
テ ニ ス コ ー ト	281日	6,267人	282日	6,533人	4.2%
多 目 的 広 場	308	24,722	305	23,945	△ 3.1
キ ャ ン プ 場	30	422	22	313	△25.8
パ タ ー ゴ ル フ	163	1,426	149	1,339	△ 6.1
グリーンスポーツハウス	6	411	12	544	32.4
計	—	33,248	—	32,674	△ 1.7

## (5) 岩田総合球技場管理運営事業費 41,979,904 円

〔利用状況〕

区 分	平成27年度		平成28年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
市 民 球 場	212日	46,985人	159日	41,379人	△11.9%
市 民 球 技 場	79	31,480	86	33,640	6.9
市 民 庭 球 場	303	46,322	305	48,209	4.1
市 民 ク ラ ブ ハ ウ ス	194	6,231	159	5,705	△ 8.4
計	—	131,018	—	128,933	△ 1.6

〔施設整備〕

内 容	平成27年度	平成28年度
	豊橋市民球場耐震改修工事	

## (6) 運動広場管理運営事業費 26,986,281 円

〔利用状況〕

区 分	平成27年度		平成28年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
高師緑地青少年広場	330日	36,951人	316日	38,678人	4.7%
明 海 広 場	144	21,383	145	23,765	11.1
明 海 少 年 広 場	127	6,420	163	7,800	21.5
高 山 広 場	191	7,639	193	7,447	△ 2.5
向 山 運 動 広 場	279	17,402	252	16,206	△ 6.9
石 巻 運 動 広 場	268	84,818	274	80,268	△ 5.4
臨 海 運 動 広 場	167	21,970	164	21,628	△ 1.6
レクリエーション広場	236	21,246	208	18,645	△12.2
計	—	217,829	—	214,437	△ 1.6

〔施設整備〕

内 容	平成27年度	平成28年度
	石巻運動広場トイレ建設工事 羽根井スポーツ広場ネット修繕	

## (7) 総合体育館管理運営事業費 104,421,483 円

〔利用状況〕

区 分		平成27年度		平成28年度		比 較 (延利用人員)
		利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
競 技 場	スポーツ	281日	162,342人	271日	190,889人	17.6%
	そ の 他	12	4,205	32	28,395	6.8倍
卓 球 室		307	13,566	302	14,459	6.6%
会 議 室		140	5,143	128	3,725	△27.6
研 修 室		97	3,823	119	3,821	△ 0.1
計		—	189,079	—	241,289	27.6

〔施設整備〕

内 容	平成27年度	平成28年度
	総合体育館第1アリーナ照明制御システム修繕 神野新田ポンプ場中継ポンプ取替修繕	

## (8) 万場調整池庭球場管理運営事業費 1,676,618 円

〔利用状況〕

区 分	平成27年度		平成28年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
テニスコート	297日	14,731人	302日	15,345人	4.2%

(9) 屋内プール・アイスアリーナ管理運営事業費 143,664,646 円

〔利用状況〕

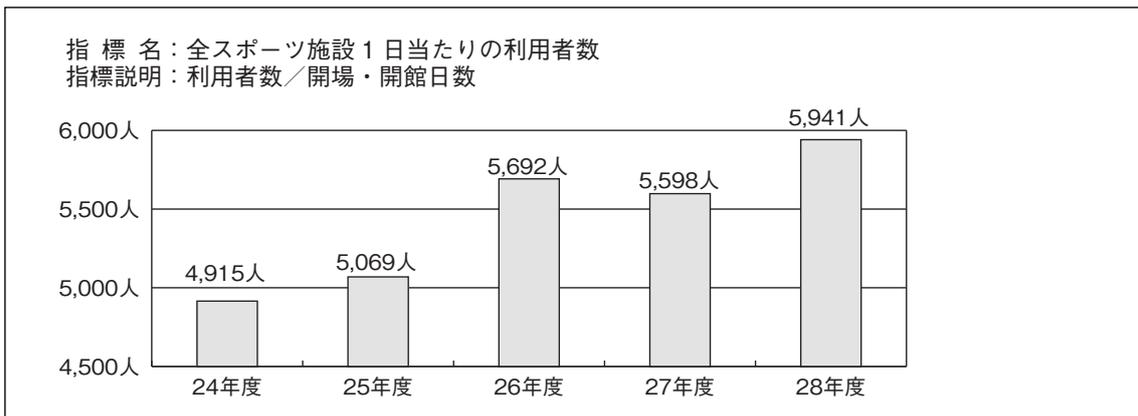
区 分	平成27年度		平成28年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
屋 内 プ ー ル	111日	31,057人	112日	33,421人	7.6%
アイ ス ア リ ー ナ	189	58,620	188	56,242	△ 4.1
ト レ ー ニ ン グ 室	308	43,647	307	45,900	5.2
計	—	133,324	—	135,563	1.7

〔施設整備〕

内 容	平成27年度	平成28年度
	50mプール可動床修繕 アクアリーナ冷凍機(RE-03号機)修繕	50mプール可動床修繕 競技用スターティングブロック整備

(10) 多目的屋内施設検討調査事業費 2,354,400 円

〔指 標〕



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 スポーツ大会誘致事業費 <スポーツ大会誘致の推進>	2,000,000	0	0	0	2,000,000

1 スポーツ大会誘致事業費 2,000,000円 (「スポーツのまち」づくり課)

[総括]

市民のスポーツへの関心を高めるとともに、競技力の向上を図るため全国規模の競技スポーツ大会を誘致した。今後も市民に感動を与えスポーツへの関心が高まる大会の積極的な誘致活動に取り組む。

[実績及び成果]

- (1) 各種スポーツ大会誘致促進事業補助金 2,000,000円
  - (ア) 日本女子ソフトボールリーグ1部豊橋大会開催補助金 200,000円

補 助 金	平成27年度	平成28年度
		200,000円

- (イ) プロ野球ウエスタンリーグ公式戦開催補助金 1,500,000円

補 助 金	平成27年度	平成28年度
		1,499,941円

- (ウ) バスケットボールWリーグ公式戦開催補助金 300,000円

補 助 金	平成27年度	平成28年度
		300,000円

[指 標]

指 標 名：誘致スポーツ大会1大会当たりの観客数  
指 標 説 明：観客数／誘致大会数

